

上田市文化財調査報告書 第91集

常入遺跡群

下町田遺跡Ⅲ

上田市産学官連携支援施設建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2003年3月

上 田 市

上田市教育委員会

上田市文化財調査報告書 第91集

常入遺跡群

下町田遺跡Ⅲ

上田市産学官連携支援施設建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2003年3月

上 田 市

上田市教育委員会

例 言

- 1 本書は、長野県上田市常田三丁目 15 番 1 号の信州大学繊維学部敷地内に所在する下町田遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 調査は上田市産学官連携支援施設(浅間リサーチエクステンションセンター)建設工事に先立ち、上田市単独事業として行った。また、調査及び調査に係る事務は上田市教育委員会事務局生涯学習課が行った。
- 3 現地調査は、平成 13(2001)年 2 月 15 日から同年 3 月 30 日にかけて実施し、整理・報告書作成作業は平成 14・15 年度に行った。
- 4 グリッド設置に係る各種測量、空測用及び空撮写真撮影は、株式会社協同測量社(長野市)に委託して実施した。遺構実測は、宮下容子、山本万里が行った。
- 5 整理・報告書作成作業は、饗場奈那江、井沢光子、石合好江、市村みつ子、大井敬子、田村まり子、田村雄二、丸田由紀子、山本万里が行った。また、遺物実測業務の一部は株式会社みすず総合コンサルタントに委託して行った。
- 6 本書に使用した写真のうち、遺構写真は小笠原、遺物写真は塩崎が撮影し、航空写真は株式会社協同測量社が撮影した。
- 7 石器石材の鑑定は、上田市誌編さん室の甲田三男先生をお願いした。
- 8 本書の執筆は、塩崎が行った。
- 9 本調査に関わる資料はすべて上田市教育委員会の責任下の上田市立信濃国分寺資料館において保管されている。その際に用いる遺跡の略号は、「SMDⅢ」である。
- 10 本書が上梓されるまでには、多くの方々や諸機関の御指導、御協力を賜った。以下、御芳名を記して深く感謝の意を表したい。(順不同・敬称略)

信州大学繊維学部・浅間リサーチエクステンションセンター・上田市商工観光部商工課

凡 例

遺 構

- 1 遺構の略号は、次のとおりである。番号は下町田遺跡第 1・2 次調査に後続しているが、飛び番となっているものもある。

竪穴住居址(SB-)、土坑(SK-)、集石遺構(SX-)、竪穴住居址内のピット(P)、同溝状遺構(SD)、試掘溝(Tr-)
- 2 遺構実測図については、次のとおりである。
 - (1) 平面位置の表示は、平面直角座標第Ⅳ系を座標変換して表示した。

- (2) 方位は、原則として第Ⅶ座標系の方眼北を頁の上とし、例外は方位で示した。
 - (3) 縮尺は、原則として竪穴住居址・築石遺構・土坑(1/60)、炉(1/30)である。ただし、周辺遺跡分布図、遺構配置図等の縮尺は任意である。各図版にはスケールを付した。
 - (4) 水系レベルに記した数値は、海拔高(単位:m)を示す。
 - (5) 平面図における網点は、焼土の範囲を表す。
- 3 遺構一覧表については、次のとおりである。
- (6) 規模の単位は、mである。
 - (7) 数値欄の()は推定値、〈 〉は調査範囲である。
 - (8) 竪穴住居址の主軸方向は、炉を奥壁側とする方向もしくは長軸と、第Ⅶ座標系の方眼北との角度で示した。
 - (9) 竪穴住居址の壁高、土坑等の深さは、検出面からの深さを示した。また、住居址内の土坑・ピット・周溝の深さは、住居址床面からの深さを示した。
- 4 土層の色調は、『新版標準土色帖』(農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修 1988 及び 1990)に準拠した。
- 5 遺構写真の縮尺は、任意である。

遺物

- 1 遺物実測図については、次のとおりである。
- (1) 縮尺は原則として1/3であるが、大型の遺物については例外もある。各図にはスケールを付した。
 - (2) 土器器面の網点は、赤色塗彩を施した範囲を表す。
 - (3) 石器の網点は、砥石の研磨面の範囲を表す。
- 2 遺物観察表については、次のとおりである。
- (1) 法量欄の単位は、cm、gである。
 - (2) 法量欄の()は残存値を示す。
 - (3) 土器の色調は、『新版標準土色帖』(前出)に準拠した。
- 3 遺物写真の縮尺は、任意である。
- 4 写真図版中の遺物番号は簡略化した(例第51号住居址10→SB-51 10)。

目 次

凡 例

例 言

目 次

第1章 調査の経緯	1
第1節 調査に至経過	1
第2節 調査の体制	1
第3節 調査日誌(抄)	3
第4節 調査の方法	3
第2章 遺跡の環境	5
第1節 自然的環境	5
第2節 歴史的環境	9
第3節 基本層序	16
第3章 調査の結果	17
第1節 遺 構	17
第2節 遺 物	55
写真図版	
報告書抄録	

第1章 調査の経緯

第1節 調査に至る経過

上田市は平成8年に第三次上田市総合計画を策定し、将来都市像に「創造・活力・ときめきのまち上田一学術研究都市を目指して一」を掲げ、新たな飛躍を目指している。これに基づき、平成11年には、「上田市中心市街地活性化計画」を策定し、総合的、計画的に中心市街地の活性化を図っていくこととし、大学等の地域ポテンシャルを最大限に活かして都市型産業の立地や既存中小企業の魅力化、個性化を促進して中心市街地の活性化を図ることとしている。

一方、信州大学繊維学部は、地域の強い要望により創設され、中心市街地区域内に立地し、古くから地域との連携が密で、長年にわたり、多くの人材、技術、研究成果等が当市の産業発展に寄与してきた。さらに、平成10年には、文部省(現;文部科学省)から繊維系大学としては唯一、先進繊維技術科学中核研究拠点(COE; Center of Excellence)として指定され、最先端の繊維の研究開発や人材育成を行っている。

このように、信州大学繊維学部では環境、医療・福祉、情報等の分野での最先端の高機能材料技術、バイオ系材料技術等の研究成果や人材が多く蓄積されており、当市では、これらのポテンシャルを基に、効率的かつ効果的に都市型新産業を創出して中心市街地の活性化を図る拠点施設として「上田市産学官連携支援施設」を設置することとした。

上田市産学官連携支援施設の建設予定地となった信州大学繊維学部構内は、周知の埋蔵文化財包蔵地である常入遺跡群下町田遺跡が所在しており、平成8年度と平成11年度に実施された施設建設に伴う発掘調査によって、弥生時代後期の集落跡が広範に展開していることが判明していた。これらの調査結果と今回の施設建設予定地の位置関係から、一連の遺跡が所在している可能性が極めて高いと判断されたため、建物建設に先立ち発掘調査を行い、遺跡の記録保存を図ることとなった。

発掘調査は、上田市の単独事業として上田市教育委員会事務局生涯学習課が直営で実施した。現地での調査は平成13年2月15日に着手し、同年3月30日に終了した。

第2節 調査の体制

下町田遺跡第3次発掘調査に係る調査の体制は以下のとおりである。調査事務は上田市教育委員会事務局生涯学習課文化財係が行った。

教 育 長 我 妻 忠 夫 (平成14年12月20日退任)

森 大 和 (平成14年12月21日着任)

教育次長	内藤政則	
生涯学習課長	塩野崎利英	(平成14年5月19日退任)
	宮下省二	(平成14年5月20日着任)
文化財係長	細川修	(平成14年5月19日退任)
	小林浩	(平成14年5月20日着任)
主査	平林裕蔵	(調査担当者・平成13年3月31日退任)
	中沢徳士	
	尾見智志	(平成13年4月1日着任)
	塩崎幸夫	(整理担当者)
	久保田敦子	
主事	小笠原正	(調査担当者・平成13年3月31日退任)
調査員	古野明子	

調査及び整理事業員（敬称略・五十音順）

巽場奈那江、赤羽利治、井沢光子、石合好江、市村みつ子、大井敬子、岡嶋庄平、尾崎平一、木本昭征、坂田昭二、滝沢章子、竹内和好、田中正美、田村まり子、田村雄二、塚田彦一、西沢貞雄、丸田由紀子、満木重雄、宮下容子、村田宣子、柳沢栄治、柳沢武志、藪一義、山崎玄太、山本万里、横沢生枝、横沢昇、和田和英



発掘調査参加者

第3節 調査日誌（抄）

平成12(2000)年度

平成13年

- 2月15日(木) 調査予定地の除雪作業を行う。
- 2月16日(金) 重機による表土除去とともに遺構検出作業に着手する。
- 2月23日(金) 本日より作業員を入れ、遺構検出作業と重複関係の精査を行う。
- 2月26日(月) 遺構の掘り下げを開始する。
- 3月12日(月) 遺構掘りに合わせて実測作業、写真撮影を進める。
- 3月29日(木) 遺構掘り作業終了。
- 3月30日(金) 測量用写真と全景写真の空撮を行う。機材撤収。現地調査を終了する。

現場調査終了後、遺物整理作業及び報告書作成作業を平成13・14年度に上田市埋蔵文化財整理室において行い、平成15年3月31日に報告書が刊行され調査は終了した。

第4節 調査の方法

1 遺跡名称・遺跡略号

今回調査された遺跡のある信州大学繊維学部の敷地は、上田市の埋蔵文化財包蔵地分布調査報告書である『上田市の原始・古代文化』（上田市教育委員会 1977）では、堀ノ内、上町田、西町田、下町田、中村などの小字に拠った遺跡名が与えられている。その後、埋蔵文化財包蔵地分布図の作成に際して、周辺の分布範囲の明らかでない遺跡も含めて一括して範囲指定し、「常入遺跡群」として総称した（『上田市文化財分布図』上田市教育委員会 1979）。

平成8年度に実施した信州大学繊維学部敷地内の大学院棟建設に伴う発掘調査に際して、上田市教育委員会は「常入遺跡群 下町田遺跡」として調査を行い、以降その名称を継続して使用している。

各種の記録や遺物の注記等に用いる遺跡略号は、下町田（SHIMO-MACHI-DA）の頭文字「SMD」と、第3次発掘調査を示すローマ数字「Ⅲ」を組み合わせて「SMDⅢ」とした。

2 調査座標とグリッドの設定

調査座標とグリッドは、下町田遺跡における従来の発掘調査で用いた座標原点と同一原点による連続したグリッドを設定した。座標原点は国土地理院の平面直角座標第Ⅷ系に属するX=43218.000、Y=-21096.000である。

調査グリッドは、座標原点を起点として平面直角座標軸に沿って3m×3mで設定した。グリッド

の番号は、座標原点からグリッド北東隅までの距離を次のように変換して用いた。すなわち座標原点を0として、方向を示すために東・西・南・北にE・W・S・Nを、距離を示すために3mを1単位として1・2・3・4…の数値を与え、この両者の組み合わせによって表した。例えば、座標原点から南へ90m、東へ126 mの地点を北東隅にもつグリッドはS30W42として表される。

3 調査方法

調査範囲は、産学官連携支援施設建設予定地の範囲とした。調査に際しては、桑園の表土をバックホーにより除去した後、遺構検出及び遺構掘り上げ作業を人力によって行った。

遺構実測は、前述のグリッドを基準とした簡易遺り方測量により行い、図化用の空中写真撮影も実施している。

第2章 遺跡の環境

第1節 自然的環境

太郎山や小牧山・城山・独鈷山・殿城山などの山々に囲まれた上田盆地には、千曲川や依田川・産川・浦野川などが流れ、河岸段丘も発達している。河岸段丘のほかには断層活動による段丘状の崖地形もみられ、また盆地を囲む山々の谷口や崖地形が発達しているところでは扇状地が広がっている。上田盆地の南では塩田平と呼ばれる平坦な地形が広がっていて、川筋などに湖成層が露出しているところもある。盆地内の地層や地形は、第四紀に湖や川・火山・断層・火砕流・火山泥流などによって形成されたものである。

1 上田盆地の湖に堆積してできた湖成層

第四紀に上田盆地には大きな湖が3回ほどできたと考えられる。これらに堆積した地層は古い順に古期上小湖成層・新期上小湖成層・上田原湖成層と呼ばれ、時代が古いものほど湖は大きい。古期上小湖成層は、標高の高い盆地の周辺に分布しているのに対して、新期上小湖成層はそれより低い場所に分布している。上田原湖成層は、千曲川に沿った染屋面の断丘下に細長く分布しており、千曲川の両岸に分布する染屋面の一部が活断層で大きく沈み、そこにできた湖と考えられる。

古期上小湖成層は、およそ90万年前に湖に堆積した地層であることがわかっている。新期上小湖成層は、東築地、八木沢及び室賀から採集された泥岩層や泥炭層に含まれている炭化木により、39,000年、51,000年、61,000年前という年代測定結果が出ている。上田原湖成層も炭化木の年代測定から28,000年前と報告されている。

また、上田泥流が盆地に流れ込み、太郎山系の河川をせき止めたためにできた湖泥性の堆積物を上田湿地性堆積物と呼び、市街地付近に分布している。

新期上小湖成層からは、ナウマンゾウやエゾシカ・ウマなどの化石が出土することから、この湖ができた頃にはたくさんの動物がこの周辺に棲んでいたことが知られる。

2 上田盆地を覆った火砕流

殿城山の南の鷲場火山から火砕流が発生し、上田盆地全体を火山灰で覆いつくしたことがわかっている。鷲場火山は60万年前から3万年前頃まで活動した火山で、特に6万年前から4万年前にかけて活動し、新期上小湖成層が堆積した湖に軽石流を出して平井寺軽石層として残っている。また、それとは別に新期上小湖成層が形成された以後にも活動しており、染屋層や新期上小湖成層の上に鷲場火砕流が堆積している。少なくとも二度にわたって火砕流が発生しており、下位を第1鷲場火山灰流、上位を第2鷲場火山灰流と呼んでいる。

3 台地をつくる河岸段丘と段丘崖地形

染屋面 礫岩層を主とする染屋層は千曲川上流や神川・依田川上流にあった岩石が川によって運ばれて堆積してきた地層である。この染屋層の堆積物からできている平坦な地形を染屋面という。染屋面は盆地の北東側の大部分を占めて広がっている。染屋層は千曲川左岸地域にも広く分布していて、平坦な地形を形成している。

上田原面 上田原湖成層からできている平坦な地形面を上田原面と呼ぶ。この面は染屋面より低く、上田城面より高い。千曲川右岸では国分の国露津穂神社から始まり、国分付近では染屋面の崖下を取り囲むように分布し、向きを変えて、信州大学繊維学部・科野大宮社・日輪寺方面に広がっている。千曲川左岸では、上田原、丸子町の狐塚の地形面が上田原面である。

上田城面 上田城面は、千曲川上流から上田盆地に流れ込んだ泥流の堆積物からできている。千曲川左岸は浸食されてしまったので現在は見ることはできない。右岸地域では塩尻の国道 18 号線と上田バイパスが分離する付近から始まり、上田城・信濃国分寺など千曲川に沿って見られる。千曲川との比高は 15~17m もあり、右岸地域はかなり隆起していることを示している。

下郷面 下郷面は、隆起する染屋面を神川が浸食した結果できた段丘で、上田盆地では数少ない浸食面である。この面の上には鷲場第 2 火山灰流が堆積している。

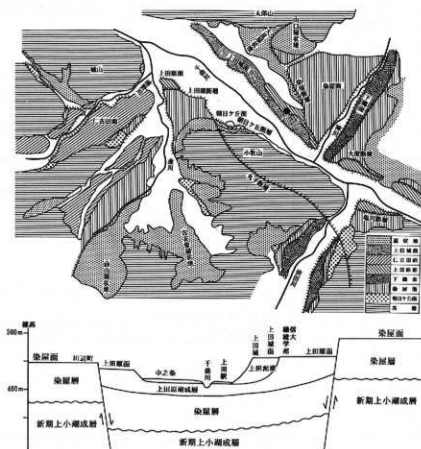
塩田平の段丘 産川沿いの左岸下流では比高 5m の段丘崖が上田交通別所線大学駅西方から神畑駅西方にかけて連なっている。しかし、追開沢川や尻無川などの川沿いには、歴史時代からの開墾やほ場整備事業などにより段丘崖が削られ、段丘地形が見られない。しかし調査により、ため池や産川の川底から鷲場火山灰流が観察された。この地域は段丘上にあり、下小島方面に半球状に伸びている。

産川のように比較的大きな川が段丘上を流れている例はほとんどない。本郷面上を産川が流れるようになったのは、新町から鈴子にかけて走る断層が活動した結果により塩田平側が大きく沈んだためと考えられている。それに加えて神戸川の押し出しにより、上本郷の染屋面との段差が無くなり染屋面下の尻無川に流れていた産川が段丘上を流れるようになったと考えられる。深い谷を染屋面上に形成していないことから、沖積時代にこのようになったものと考えられる。

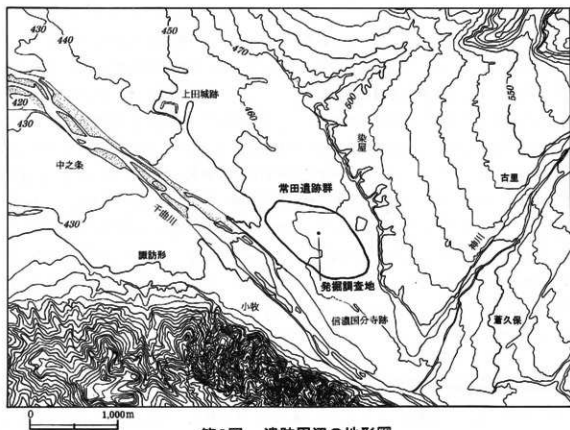
朝日ヶ丘・国分・大屋等の断層崖 朝日ヶ丘西方には染屋面・上田原面が形成されているのに対して、朝日ヶ丘付近には新期上小湖成層があるだけである。これはこの地域に東西に延びる断層が活動して北側が落ち込んだからである。ここの西から西北に延びる崖は断層崖と考えられる。

染屋面より下に位置する国分や上田東高等学校、大屋などの平坦な面は染屋面が落ち込んで、その上に上田原湖成層が堆積してきたものと考えられている。染屋台地を取り囲む崖は断層崖と考えられ、このほか川辺町の北側の段丘崖も同様な理由から断層崖と考えられている。

仁古田面 浦野川によって形成された段丘面が仁古田面で、仁古田層からできている。この層は、新期上小湖成層の上に堆積している。この層の上には粘土層が重なっているが、鷲場火山灰層に含まれる鉱物が入っていない。このことから、仁古田面は鷲場火山灰流が堆積した後形成された段丘面といえる。



第1図 地形区分図



第2図 遺跡周辺の地形図

年代区分		地層区分	主な火成活動	大型動物化石					
1700万年前 1500万年前 1400万年前 1100万年前 520万年前 170万年前 70万年前 13万年前 17万年前	新 四 紀	完 新 世	扇状地・崖線堆積物	湖 沼 の 堆 積 物 海 の 堆 積 物	ナウマンゾウ(下本郷・青木村当郷) アジアノロバ(上室賀)、エゾシカ(神畑)、ヤベ オオツノシカ(青木村当郷) アケボノゾウ(丸子町塩川)				
			古 弥 縄 文			上田湿地性堆積物	上田泥流		
		更 新 世	旧石器			上田原湖成層	鷺場火山灰流		
						新期上小湖成層	鳥帽子岳輝石安山岩		
		生 第 三 紀	鮮 新 世			古期上小湖成層	神科虚空蔵山輝石安山岩		
						大 杭 層	茂沢溶結凝灰岩		
						中 新 世	小 川 層	半湯岩 鼻角閃石石英ひん岩 太郎山天狗岩 流紋岩 弘法山石英安山岩	
							青 木 層	小泉凝灰岩 独結山玄武岩 貫安山岩 緑色凝灰岩	
							別 所 層		シナノイルカ(小泉)・グジラ(小泉・伊勢山)
							内 村 層		ホオジロザメ(丸子町和子)
漸 新 世									
始 新 世									
6500万年前	漸 新 世								

第1表 上田地域の地層区分表

4 上田をおそった火山泥流

上田泥流は、上田地域に最も厚く広く分布していることからそう呼ばれている。この泥流は、千曲川に沿って帯状に分布し、低い段丘を造っている。噴火で火口湖が壊されて泥流となって流れたものと考えられ、含まれている岩石や爆裂口の大きさ等から三方ヶ峰と高峰の間にある馬蹄形をした窪地の深沢爆裂火口が泥流の発生した場所と推測されている。泥流には軽石と赤岩が取り込まれている。軽石流は、小諸懐古園付近にある浅間軽石流といわれるもので、この上部は約 11,000 年前の噴出物と地質年代が測定されていることから、上田泥流はそれ以後に発生したことになる。また、赤岩は三方ヶ峰の監視小屋付近にも多く転がっており、噴火したときに飛ばされた岩石である。このことから、水ノ登の南側が火山活動を始めて赤岩を噴出し、大爆発により深沢爆裂口ができ、池の平火口湖跡の水が一気に流れ出て、深沢川を流れ下り浅間軽石流を泥流の中に取り込んで、千曲川の流れに沿って上田方面へ流れたものと考えられる。そして、泥流が流れ込んだ千曲川沿いの場所は周囲の土地より標高が高くなり、太郎山系の川が南へ向かって千曲川に流れ込むことができなくなり、風呂川へ注ぐようになったと考えられる。

5 上田ロームのふるさと

上田盆地に分布するローム層は、北アルプスにある古い地質時代に活動した火山や今も活動してい

る御嶽山の噴火によって、火山灰や軽石が地上に降ってきている。これらのローム層は古い方から古期下部ローム層、伊勢山ローム層、曙ローム層、古期上部ローム層、中期ローム層、新期ローム層と区分され、このうち上田市で観察できるのは伊勢山ローム層、古期上部ローム層、中期ローム層、新期ローム層である。

伊勢山ローム層 上田市では伊勢山で見られる。大変硬いローム層で、岩質は流紋岩質であるといえる。降った当時は軽石層があったと考えられる。古期上小湖成層に不整合に重なっている。この火山灰を降らせた火山は、約90万年前に北アルプスにあった火山で、現在は浸食されて無い。

古期上部ローム層 黄褐色のローム層に黒雲母軽石層が3層はさまれてきている。南安曇郡三郷村・松本市・長野市・北佐久郡等からさらに関東地方まで分布が広がっていて、上田では古安曾、穴平、長入で見られる。関東地方では多摩ローム層の中にはさまれている。30万年前から60万年前に噴火した火山のローム層であることが分かっている。

中期ローム層 別所温泉から野倉へ通じる道路で見られる。黒褐色をしたやや粘り気のある火山灰層である。

新期ローム層 最下位から立山軽石層、御岳第1軽石層、始良火山灰層等が積み重なってきている。立山軽石層は、立山カルデラが造られたときの噴火によって上田まで飛んできたものである。軽石と火山砂からできている。地質年代は、約12万年前とされている。御岳第1軽石層は、御嶽山が7万年前に大噴火し、伊那谷を中心に甲府盆地、関東平野の南部まで降らせている。分布範囲の北限に当たるのが上田市で、保福寺峠、別所温泉、独鈷山、室賀等に見られる。始良火山灰層は、鹿児島湾にかつてあった始良カルデラから約2.2万年前に飛んできた火山灰で、東北地方まで分布している。上田市では小泉にみられ、白色の火山灰でガラス片がたくさん入っている。

第2節 歴史的環境

常入遺跡群は、上田市の千曲川右岸地域の南東部に位置している。周辺を含めたこの地域の地形は、平坦面である上田城面、上田原面、染屋面のほか、大星及び山口扇状地、千曲川及び神川によって形成された複数の段丘崖等によって構成され、複雑な様相を呈している。その中で、この地域には上田・小県地方でも比較的規模の大きい遺跡が数多く存在している。これらの遺跡は、当地方が奈良時代から平安時代にかけて信濃の中心的な役割を果たす地域に発展した基盤として大きく関わっていたものと考えられる。

本遺跡群は、上田城面と上田原面にまたがって展開しているが、同じ面に南東に隣接して国分遺跡群がある。これの南に隣接して、国分寺周辺遺跡群がある。千曲川の形成した沖積地に立地し、上田城面より一つ及び二つ下位の平坦面に所在している。国分遺跡群と国分寺周辺遺跡群の範囲にまたがって、国指定史跡の信濃国分寺跡がある。僧寺と尼寺は、上田城面より下位の千曲川形成の沖



第3圖 周辺遺跡分布圖

番号	名 称	所 在 地	時 代	備 考
9	二子塚古墳	上田字秋葉裏	古	市史跡
12	信濃国分寺跡	国分字仁仁堂他	奈	国史跡
13	上田城跡	二の丸他	近	国史跡
44	熱泰寺遺跡	住吉字熱泰寺	縄	
52	染屋台条里水田跡遺跡	上野・住吉・古里・国分	弥～平	系統的に調査
53	向田古墳	古里字向田	古	
54	国分遺跡群	国分字古城・堂浦・屋敷	弥～平	1997・1999年調査
56	国分寺周辺遺跡群	国分字仁仁堂・明神前他	縄～平	1994・1995・2000年調査
57	常入遺跡群	常入字堀之内他	縄～平	下町田遺跡ほか7遺跡
58	金井裏遺跡	上田字金井裏・蟹原	弥～奈	1985・1996年調査
60	大星西遺跡	上田字大星西遺跡	縄・古	
62	雁堀遺跡	上田字雁堀	弥・古	
63	西丘遺跡	上田字西丘	古	
64	八幡裏遺跡群	上田字思川他	縄～平	1952・1994年～調査
65	海野遺跡	上田字海野	平	
66	上田城跡	中央・中央西・大手・北大手	近	
84	六句古墳	小牧字六句	古	
86	初太郎古墳	小牧字花水	古	
95	洩取田遺跡	諏訪形字洩取田・中堰	縄	
96	中沢遺跡	諏訪形字中沢	平	
423	小牧城跡	小牧字城山	近	
457	染屋城跡	古里字英	近	

第2表 周辺遺跡一覧表

積地に立地しているが、史跡範囲は、南西側は同じ面の段丘崖上まで、北側は上位上田城面の現国分寺の所在地まで、東は上田城面にある国分八幡神社までとされている。

その他、常入遺跡群の北東、一つ高位の染屋面には、染屋台条里水田跡遺跡がある。その北方の山口扇状地の端部には大星西遺跡、雁堀遺跡、西丘遺跡、金井裏遺跡等が存在する。大星扇状地には八幡裏遺跡群がある。第3図及び第2表に本遺跡群とその周辺遺跡を簡単にまとめて示した。

1 縄文時代

八幡裏遺跡群の思川遺跡は、上田地方を代表する縄文時代の遺跡の一つとして知られる。昭和27年に病棟の改築に伴って五十嵐幹雄氏によって発掘調査が行われた。調査では明確な遺構は確認されなかったものの、中期から後期にかけての土器や石器とともに、ニホンジカやイノシシを中心とする相当量の動物遺存体が出土した。その後平成6年に国立長野病院の建設工事に伴い約8,000㎡が調査された八幡裏遺跡第2次発掘調査では、柄鏡形敷石住居址を含む住居7軒と土壇、集石遺構などが検出された。中でも土壇から検出された屈葬人骨は、遺存状態もよく、貴重な調査例となった。出土した遺物は、中期の加曾利E式、後期の称名寺式、堀之内式、加曾利B式などの土器のほか、石器類、土偶、大珠、獣骨などがある。その後、平成8年度に行われた国立長野病院看護婦宿舎建設に伴う同遺跡の第3次発掘調査でも、中期後葉から後期前葉の土器を伴う3軒の敷石住居址が確認されている。そのほか、同年に市道緑ヶ丘1-3・1-4号線道路改良工事に伴って行われた第4次調査でも中期

から後期の遺物が僅かに出土した。

大星西遺跡は、中期の加曾利E式土器が表採されている。その他、山口扇状地と染屋面の間に位置する住吉の熱泰寺遺跡では、長島の矢出沢川右岸の畑地から縄文時代の石錐が採集されている。

また、国分寺周辺遺跡群の浦沖遺跡は、昭和 24 年に発掘調査が行われ、中後期に属すると思われる住居址が検出されている。平成 12 年度にしなの鉄道国分新駅駅前整備事業に伴って行われた発掘調査では、中期から後期に属する遺物と、期中葉から後葉の竪穴住居址等を検出している。また、それより段下の西沖遺跡は、(財)長野県埋蔵文化財センターによって平成6年度・7年度に市道踏入大屋線及び北陸新幹線建設に伴って発掘調査が行われ、前期から後期の土器片が多く出土した。

2 弥生時代

弥生時代の遺跡としては、上田盆地では前・中期の遺跡は僅かしか確認されていない。八幡裏遺跡は数少ない該期遺跡のひとつで、大正 14 年に上田温泉電軌北東線の敷設工事が行われた際に、中期栗林Ⅱ式期の壺形土器 2 点と大型蛤刃石斧が出土している。後期の遺跡としては、市道生塚新田線道路改良工事に伴い平成 11・12 年度に発掘調査された八幡裏遺跡群海禅寺裏遺跡において、後期後半の箱清水式期の竪穴住居址 1 軒が検出され、土器とともに金属器の研磨に使用したと推定される大型の砥石が出土している。また、北小学校の東方、黄金沢扇状地の扇央に位置する雁堀遺跡から箱清水式土器が表採されている。

昭和 60 年に国道 18 号上田バイパス改築工事に伴って発掘調査された金井裏遺跡からは、箱清水式期の住居址 1 軒とその直後に属すると見られる土師器の出土する住居址 1 軒が検出されている。平成 8 年に住宅展示場建設に伴い、その北側が調査され、箱清水式土器及びS字状口縁付甕が出土する竪穴住居址 2 軒が確認された。

国分寺周辺遺跡群の西沖遺跡は、平成 6 年度と 7 年度に(財)長野県埋蔵文化財センターによって発掘調査され、後期箱清水式期から古墳時代前期の集落と溝が確認された。平成 9 年、染屋台に立地する上沖遺跡が国分産業団地造成工事に伴って発掘調査され、箱清水式土器が多く出土している。

今回調査した常入遺跡群は、古くから豊富な土器を出土することが知られていた。大正時代から昭和初期には小山真夫氏や上小教育会の史料調査の委員によって弥生土器が採集、記録され、『上田市史』、『信濃史料』及び五十嵐幹雄氏の論考にも発見された土器の一部が掲載されるなど、上田・小県地方の弥生文化研究に重要な役割を果たしてきた。平成 8 年度の信州大学繊維学部構内における研究棟の建設に伴い、下町田遺跡第 1 次発掘調査において 1,000 ㎡の発掘調査が行われ、10 軒の竪穴住居址が確認されている。さらに平成 11 年には信州大学遺伝子実験施設の建設に伴って第 2 次発掘調査が行われ、弥生時代後期と古墳時代前期の竪穴住居址 25 軒が検出された。本報告書に掲載した第 3 次発掘調査は、平成 12 年度に信州大学繊維学部構内において上田市産学官連携支援施設の建設に伴うものである。平成 14 年度には、第 1 次調査地点の東邦において総合研究棟建設工事に伴い第 4 次発掘調査が行われ、後期の竪穴住居址 9 軒のほか、溝跡、土坑などが検出されている。これらの

調査により、上田盆地における千曲川流域最大規模の弥生時代後期から古墳時代前期の集落がここに存在していることが明らかとなりつつある。

3 古墳時代

古墳時代になると、太郎山麓に前方後円墳の二子塚古墳、方墳の大蔵京古墳が築造されている。二子塚古墳（上田市指定文化財）は、定型化した前方後円墳としては東信地方で唯一の古墳である。墳丘は後世の改変が激しいが、現在の規模は中軸の全長約 51m、前方部の長さ約 26m、最大幅約 25m、高さ約 5m、後円部の長さ約 25m、最大幅約 39m、高さ約 6m を測る。古墳の北側には周濠の一部とみられる窪みがあり、墳丘から表採された円筒埴輪片により 6 世紀前半の築造と推定されている。本古墳の周囲にはかつて 4～5 基の円墳が存在していたと伝えられるが、現存するのは北西部の円墳 1 基のみである。これらの古墳は、二子塚古墳の陪塚と言われていたが、時期的に異なるため現在では否定されている。

大蔵京古墳（上田市指定文化財）は、一辺が 32～35m の方墳で、高さは 5～8m を測る。墳丘上から表採された土師器により、4 世紀末から 5 世紀前半の築造と推定されており、現在確認されている県内最古の方墳で、上小地区では最古の古墳である。

風呂川古墳は、墳丘は失われていたが、平成 4 年に（財）長野県埋蔵文化財センターによって北側周濠の一部が調査された。周濠の幅は 4.0～5.5m、調査面からの深さは約 1.5m を測る。北東辺の北隅寄りには、掘り残しが一箇所設けられ、その西側から石組みとともに多数の土師器が出土した。古墳の規模は、一辺が 25～30m の方墳と推定され、築造年代は、一括出土した土師器により 5 世紀第 2 四半期と推定されている。

後期古墳についても、この山麓に 6 基ほど散見できるが、いわゆる群集墳的な古墳群は確認されていない。しかし、昭和 62 年に下水道工事の際に発見された豊原古墳のように、墳丘ごと太郎山から押し出した土砂によって埋もれている例もあり、地表では確認できない古墳の存在も想定できる。

また、神科地区には、染屋面の段丘端に向田古墳がある。これは、半壊しているが、墳丘の径 7.5m、高さ 1.6m の円墳と思われる。

集落遺跡としては、太郎山麓に多く分布しているが、発掘調査が実施された例は少なく、その様相は明確ではない。平成 8 年度に発掘調査された八幡裏遺跡群の第 4 次調査では、該期の住居址が 7 軒検出されたほか、国立長野病院の敷地の北側にある段丘の上面を調査した平成 6 年度の第 1 次調査でも古墳時代後期の住居址が 1 軒確認されている。また、前述した海禅寺裏遺跡からは古墳時代初頭期から後期にかけての竪穴住居址が多数検出され、数多くの出土遺物があった。

平成 6・7 年度に（財）長野県埋蔵文化財センターによって発掘調査された国分寺周辺遺跡群の西沖遺跡からは 130 軒の中・後期の住居址が検出された。特に 5 世紀後半から 6 世紀代の遺構密度は非常に高く、集落分布は短期で変容していることが確認された。平成 12 年度に調査が行われた浦沖遺跡及び仁王堂遺跡からは、古墳時代後期から奈良時代初めにかけての集落が検出された。

また、国分遺跡群の幾つかの遺跡からもこの期の土器が表採されている。

染屋台条里水田跡遺跡の範囲内に立地する西之手遺跡が平成8年・9年にやおふく新店舗建設に伴って発掘調査され、古墳時代中期と後期の掘立柱建物38棟と溝址9条等が確認された。同年、この東側に隣接した地域において、市道西野竹14号線代替地取得事業に伴い同遺跡の発掘調査を実施した。掘立柱建物と溝址等が確認され、遺跡の東側縁辺部が確認された。平成9年上沖遺跡の発掘調査において、古墳時代中期の竪穴住居址等が確認された。

また、今回調査した常入遺跡群には、この期の大きな集落があることが知られている。昭和41年に上田小県誌刊行事業推進のため、信州大学繊維学部の桑園の一部が発掘調査された。昭和45年の「信大繊維学部敷地内遺跡調査概報」（小林幹男・川上元『長野県考古学会誌』第9号）によると、古墳時代中期・後期に属する竪穴住居址2軒と未確認遺構が検出され、遺物は、18点もの完形品が出土するなど保存状態は良好で、この地方の標識的土器として今日に至っている。

4 奈良・平安時代

信濃国の国府が、松本平に移る以前は、信濃国分寺の所在する上田地域に存在したことは推論されてきたが、未だに結論を得られない状況である。本調査地周辺の信州大学繊維学部構内は、染屋台や塩田平と並び有力な候補地として注目を集めており、これまでに奈良、平安の各時代に属する遺物が多く採集されている。しかし、現在までの下町田遺跡における発掘調査では、国府関係の資料はもとより、奈良・平安時代に関わる遺構や物はほとんど出土していない。また、令制東山道も上田盆地を通過し、そのルートについて地名からの研究は深まっているが、考古学的な確証は得られていない。

この時代の集落遺跡については、当地域に数多く分布している。これまでの調査結果からはきわめて密度の薄い遺跡しか確認されていなかったが、近年の発掘調査により次第に明瞭となってきた。

染屋台条里水田跡遺跡は、条里水田跡として一括に括られた範囲の中にいくつかの集落址が存在していることがこれまでの発掘調査で確認されている。しかし、それらの範囲等については未だ明確ではない。昭和60年国道18号上田バイパス改築工事に伴って、染屋台グラウンド（旧県営上田野球場）の北東において発掘調査が行われたが、遺構及び遺物は検出されなかった。平成8年、上田市立第一中学校移転に伴ない古城遺跡が発掘調査され、平安時代の竪穴住居址7軒と土坑及びピット群が確認された。包含層からは、九葉単弁蓮華文軒丸瓦の一部が出土している。これは、『信濃国分寺跡 本編』に所収されている現国分寺本堂東南隅から出土したものと同范と考えられている。平成9年上沖遺跡の発掘調査で平安時代の竪穴住居址、掘立柱建物及び土坑墓等が確認された。また、染屋台条里水田跡遺跡が所在する染屋台は、国府跡推定地のひとつでもある。昭和57年度から61年度までに創置の信濃国府跡推定地確認調査が古里地区の西之手・東之手地籍を中心とした各所において行われた。しかし、残念ながら明確な手がかりは得られなかった。

八幡裏遺跡群からは、平成6年と8年に実施された調査で15軒の該期住居址を検出した。また、平成11・12年度に実施された八幡裏遺跡群海禅寺裏遺跡でも僅かながら該期の竪穴住居址が検出さ

れている。平成8年に調査された金井裏遺跡では、奈良時代の遺物が僅かに出土している。

平成9年及び11年に市道川辺町国分線建設工事に伴い国分遺跡群の発掘調査が行われ、現信濃国分寺の北方三ヶ所から道路状遺構、掘立柱建物跡、溝跡等の遺構と奈良時代から平安時代を主体とする土器、瓦、鋳鉄型等が検出された。(財)長野県埋蔵文化財センターによって平成6・7年度に発掘調査された国分寺周辺遺跡群の西沖遺跡からは、奈良時代の住居址が35軒、平安時代の住居址が27軒検出された。

5 中世以降

現在の市街地の常田付近にあったと推定されている常田荘の名が史料に初めて見えるのは、『山科家古文書』安元二年(1176)の「八乘院領目録」の中であり、文治二年(1186)『吾妻鏡』三月の条「乃具未済の庄々注文」にもその名がみられる。常入遺跡群の堀之内遺跡は、創置の信濃国府のほか、中世居館址の推定地となっている。また、嘉暦四年(1329)の『諏訪大社神社文書』の「諏訪上社造宮目録案」に記された上田庄の中心は、矢出沢川上流部の長島とその周辺と推定されている。しかし、残念なことにこれらに関する考古学的資料は今のところ極めて少なく、中心は千曲川左岸の堀田北条氏の仏教文化に移った感がある。

昭和60年に発掘調査された金井裏遺跡からは内耳土器、青磁、近世陶器等が出土しているが、これらは遺構との関連がつかない資料である。平成7年、パチンコ・バゴバゴ店舗建設に伴ない染屋台に立地する大畑遺跡が調査され、竪穴住居址1軒、掘立柱建物址1棟、溝跡7条と青磁蓮弁文碗の破片と宋銭「嘉祐通宝」等が検出された。平成9年上沖遺跡の発掘調査では、平安時代終末から鎌倉時代初頭の掘立柱建物とこれに伴う土坑等が確認され、土坑及びその周辺から12世紀代を中心にした陶磁器等が出土している。

天正11年(1583)に真田昌幸によって上田城の築城と城下町の形成が開始され、上田城面の様相は大きく変貌することとなった。真田氏の上田城は、徳川氏の攻撃を二度にわたって退けた名城であったが、関ヶ原合戦後に破却され一旦廃城となった。現在残る上田城は、真田氏の後に城主となった仙石忠政によって、寛永3～5年(1626～1628)にかけて新たに築き直された城郭である。

仙石氏とその後に入封した松平氏は、蚕糸業の育成に力を注ぎ、上田は江戸時代後期には国内屈指の良質な蚕種の生産地へと発展した。明治・大正期にも良質な蚕種・生糸の生産と、三吉米熊氏らによる人材育成によって「蚕都上田」と称され、近代日本の主要産業となった蚕糸業の発展に大きく貢献した。

常入遺跡群下町田遺跡の所在する信州大学繊維学部は、明治44年(1911)に我が国唯一の蚕糸専門の官立高等教育機関として設立された上田蚕糸専門学校の後身である。上田の地に弥生文化の黎明を告げ、養蚕技術を伝えた弥生時代の一大集落が存在しているのも歴史の奇縁といえよう。

第3節 基本層序

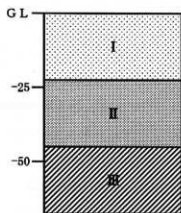
今回の発掘調査に係る部分の基本層序は、以下のとおりである。採集地は調査区域の東側の壁面を使用している。調査区域の地形は、南西から北東に向けて緩やかに傾斜しており、標高は約 770mを測る。

基本層序

I層 表土(桑園の耕作土)。層厚 20~25 cm。

II層 黒褐色土(10YR3/1)。指頭大~拳大の礫を多く含む。層厚約 20 cm。

III層 褐色砂質土(7.5YR4/4)。指頭大~拳大の礫を多く含む。上田泥流層。遺構検出面。



第4図 基本層序模式図

第3章 調査の結果

第1節 遺構

常入遺跡群下町田遺跡の第3次発掘調査で検出された遺構は、竪穴住居址 32 軒、築石遺構 1 基、土坑 9 基で、遺構の所産期は、すべて弥生時代後期後半の箱清水式期に比定されるものと考えられる。

今回の調査地点は、北方の第1次・第4次調査地点と、南方の第2次調査地点とのほぼ中間に位置している。第4次までの発掘調査では、全ての調査地点において弥生時代後期後半に比定される箱清水式期の竪穴住居址群が検出されており、広範囲にわたって該期の集落遺跡が展開していたことが明らかとなっている。

1 竪穴住居址

竪穴住居址は、南北方向に長軸をとる隅丸長方形の平面プランを呈し、4本の主柱穴を長方形に配し、北側主柱穴の中間に炉址、南壁沿いの中央部に入口施設の梯子穴と推定されるビット、南壁沿いの東側に貯蔵穴と推定されるやや大きめのビットを伴う例が標準的な住居址の形態として認められた。ただし、例外的に第51号住居址のみは、円形に近い隅丸長方形の平面プランを有している。

住居址は竪穴の規模によって、小型・中型・大型の三種類に大別できる。小型の住居址としては、第55・56・68号住居址の3軒があり、第55号住居址は長軸2.8m、短軸2.3mを測る。中型の住居址は、箱清水式期の一般的な住居址の規模を有する一群で、長軸が4.7~6.8m、短軸が3.1~5.6mを測る。今回の調査で検出された住居址の大部分がこの範疇に収まるものと考えられる。大型の住居址は、第47・50・71号住居址の3軒があり、長軸が7.7~9.2m、短軸が5.5~約6.2mを測る。

主柱穴は、4基の柱穴が長方形に配置されている例が多かったが、不規則な配置の例や、全く確認されなかった例もある。主柱穴の形状の特徴として、住居址の短軸方向を向いた長楕円形を呈する例が第43・46・49・53・58・61・65~67・69・71号住居址と数多く確認されている。また、主柱穴内に柱材の沈下を防ぐために礎石と推定される石が検出された例(SB-42)や、柱穴内に拳大の礫が多数詰められていた例(SB-50)がある。

副柱穴と考えられるものは、主柱穴の間、住居址奥壁沿いの中央部、壁際などから検出されているが、その位置、本数は一様ではない。

竪穴の南壁中央部付近に出入のための梯子を設置した痕跡と推定されるビットを1~2基有する例があり、第45・46・51・58・61・66・69・70号住居址で検出されている。

炉址は、住居址奥側にあたる北側あるいは西側主柱穴の間に設置されている例が多い。炉の形態としては、床面を浅く掘りくぼめた地床炉(SB-46・48~51・53~55・58・60・65・66・71)のほか、土器片を敷いた土器敷炉(SB-43・44・47・61)、甕の口縁部を埋設した土器埋設炉(SB-59)があり、炉址の手前に炉縁石を伴う例も3軒あった。これらの炉縁石には、凹石兼礎石(SB-43)、台石

状の砥石(SB-46)、棒状の礫(SB-66)が使用されていた。

貯蔵穴と推定されるピットは、第 43～51・53・58・61・66・71 号住居址で検出され、すべて住居址入口部の右側の壁沿いに設けられている。このうち、第 53 号住居址のピットの内部からは多量の土器が出土し、第 44 号住居址では、ピットに近い住居南東隅部に数個体の土器が集中して出土した。また、第 45 号住居址のピット内からは大型の砥石と、2 個体の土器が出土している。

周溝を有する住居址はあまり多くなかったが、住居址内を全周する例(SB-50・51)、一部のみに設けられる例(SB-47・53・60・62)があった。間仕切溝と推定される溝は、入口左側を区画する例(SB-47・51)、中央部右側を区画する例(SB-50・51・53)が認められた。

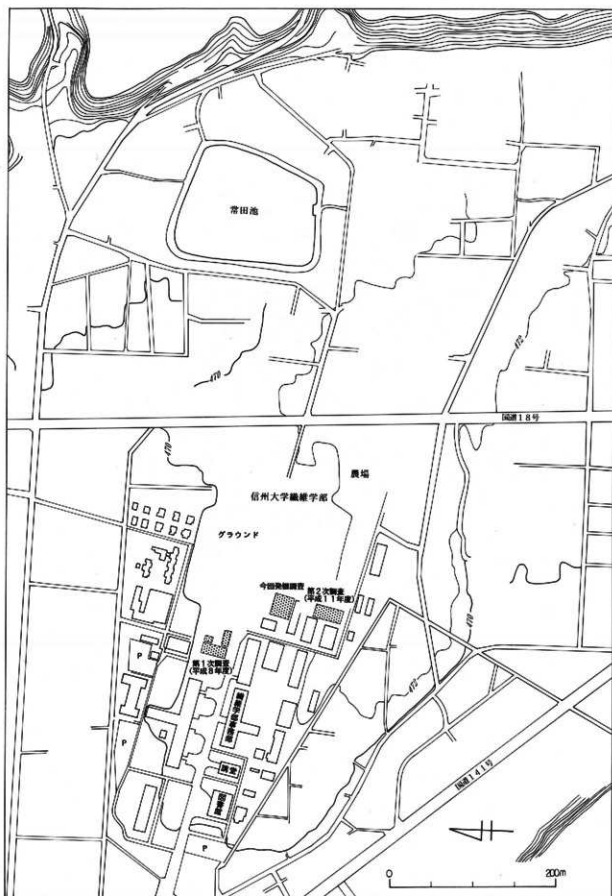
その他の屋内施設としては、ベッド状遺構が第 48 号住居址の北東隅部で検出された。

2 集石遺構

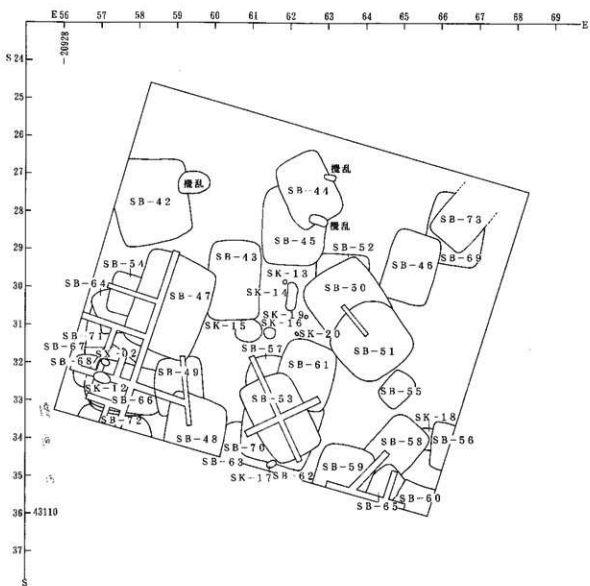
集石遺構は、1 基が第 66～68 号住居址を切って検出され、長軸 72 cm、短軸 42 cm を測る楕円形の土坑の上部に 3～15 cm 程度の礫による集石を伴うものであった。出土遺物は無かったが弥生時代後期の箱清水式期の所産と推定される。

3 土坑

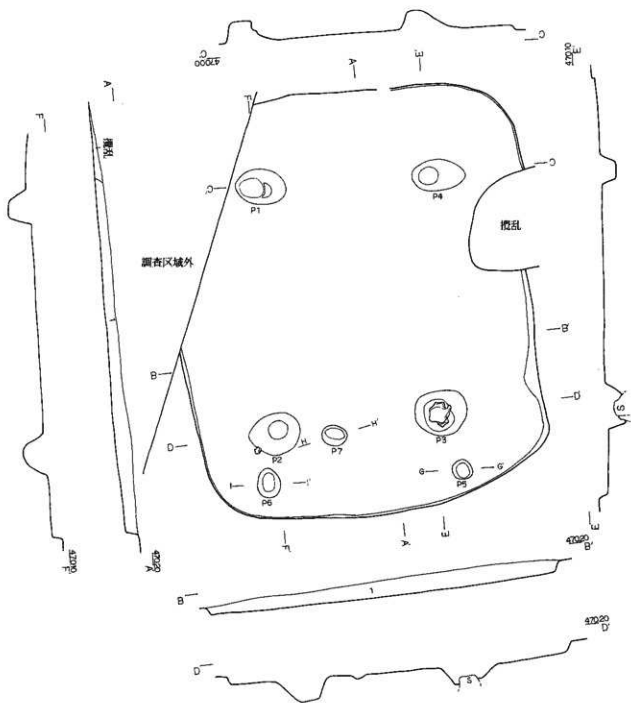
土坑は、柱穴状のものを含めて 9 基が検出された。検出位置や形態は様々である。出土遺物は第 12・17・19 号土坑で箱清水式期の弥生土器片が若干出土したほかは皆無であったが、重複関係等から弥生時代後期の箱清水式期の所産と推定できると考えられる。



第5図 調査位置図



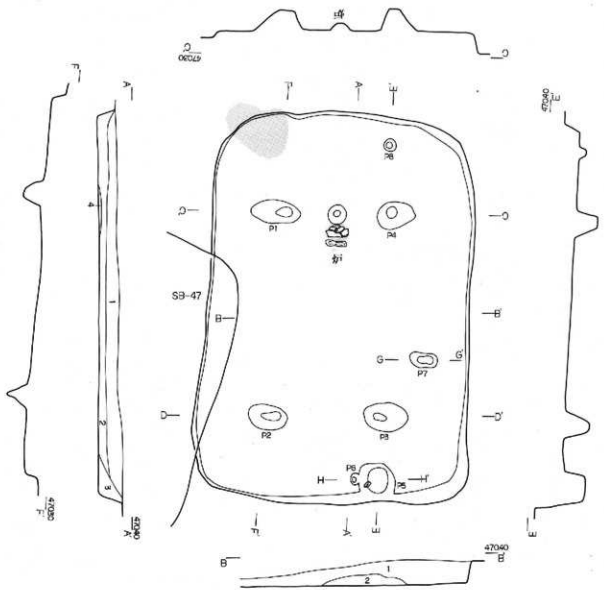
第6図 遺構全体図



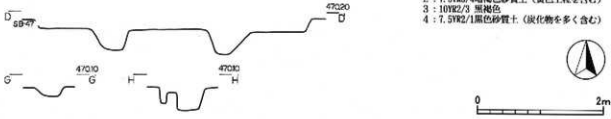
1 : 7.5TR3/4暗褐色砂質土 (華人の石を含む)



第7図 第42号住居址実測図



- 1 : 5YR3/1 黒褐色 (1 cm~ 拳大の礫を含む)
- 2 : 7.5YR3/4 暗褐色砂質土 (黄色土粒を含む)
- 3 : 10YR2/3 黒褐色
- 4 : 7.5YR2/1 黒色砂質土 (炭化物を多く含む)



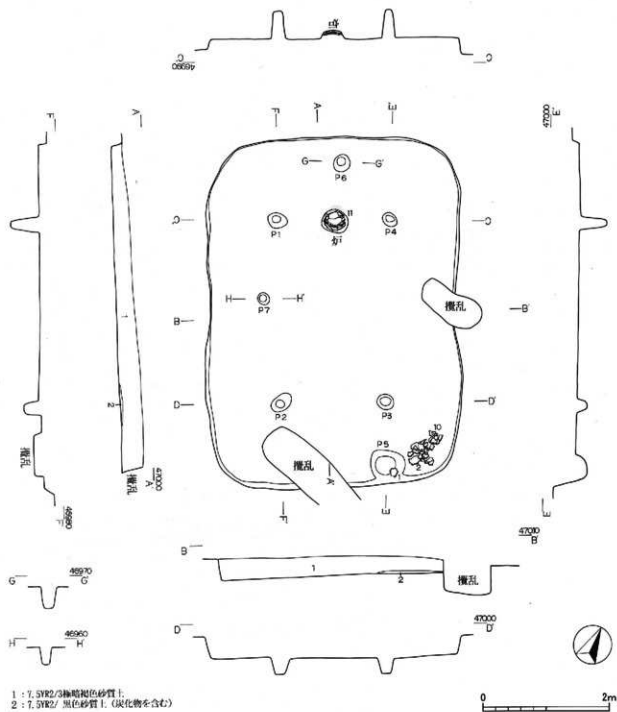
第8図 第43号住居址実測図



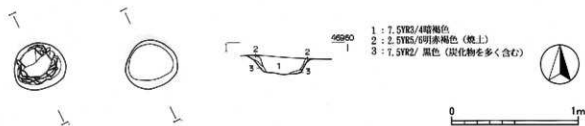
- 1 : 7.5YR3/4 暗褐色 (礫土と炭化物を含む)



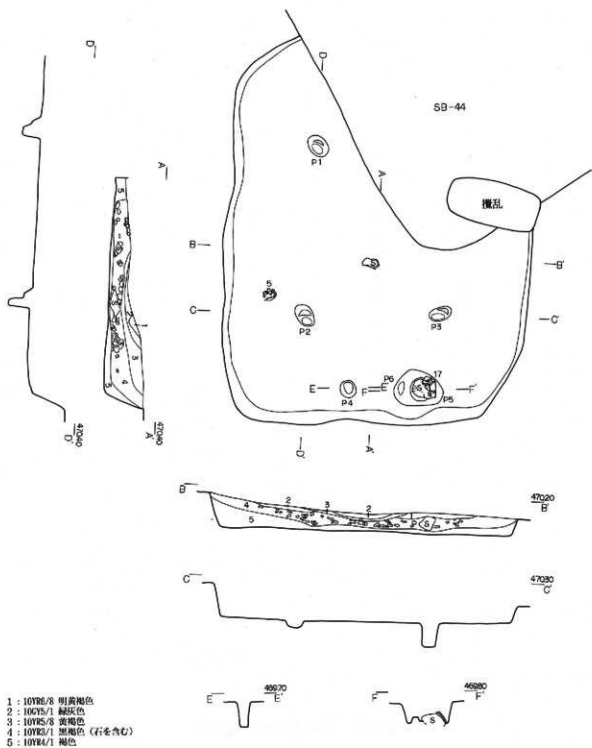
第9図 第43号住居址炉址実測図



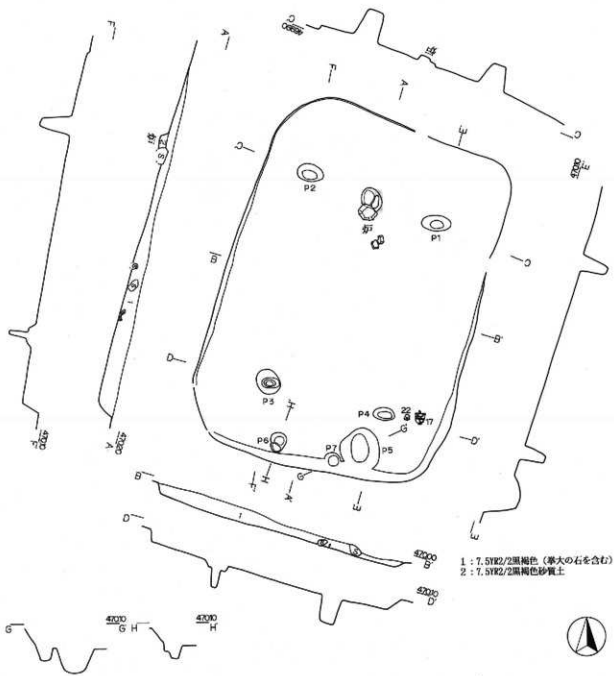
第10図 第44号住居址実測図



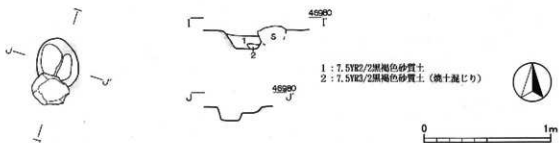
第11図 第44号住居址炉址実測図



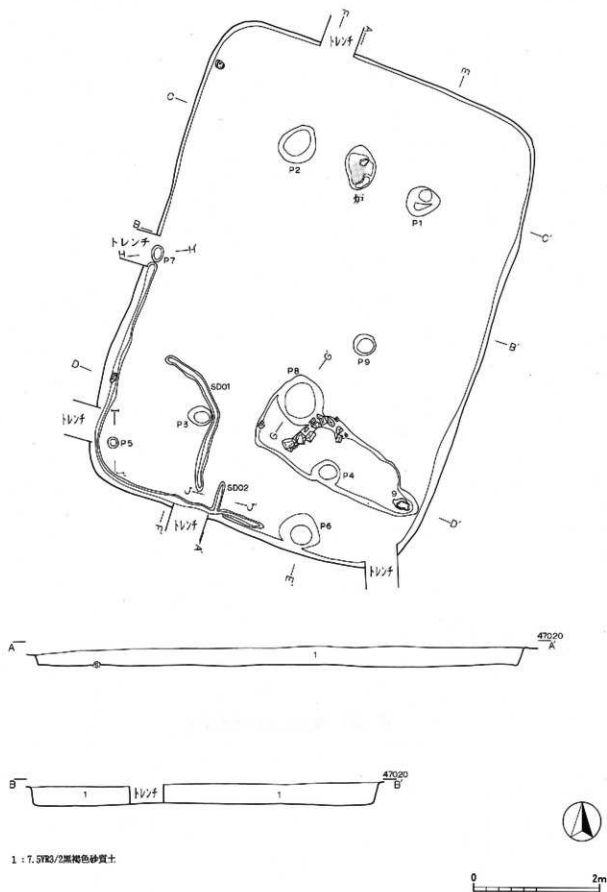
第12图 第45号住居址实测图



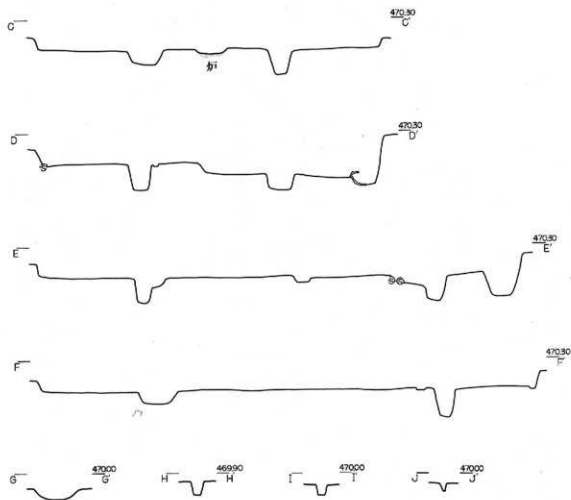
第13図 第46号住居址実測図



第14図 第46号住居址炉址実測図



第15図 第47号住居址実測図(1)



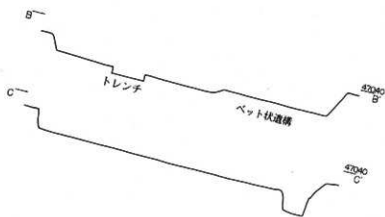
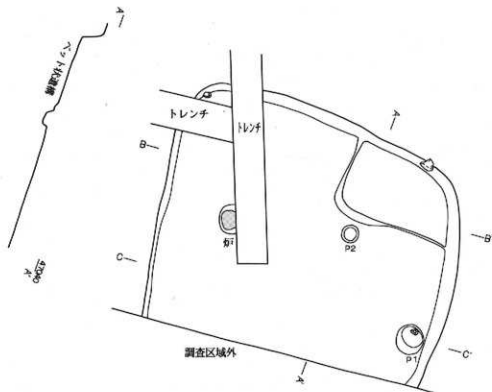
第16図 第47号住居址実測図(2)



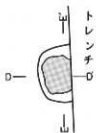
1 : 7.5YR3/1黒褐色砂質土
2 : 7.5YR2/2黒褐色砂質土 (焼1週じり)



第17図 第47号住居址炉址実測図

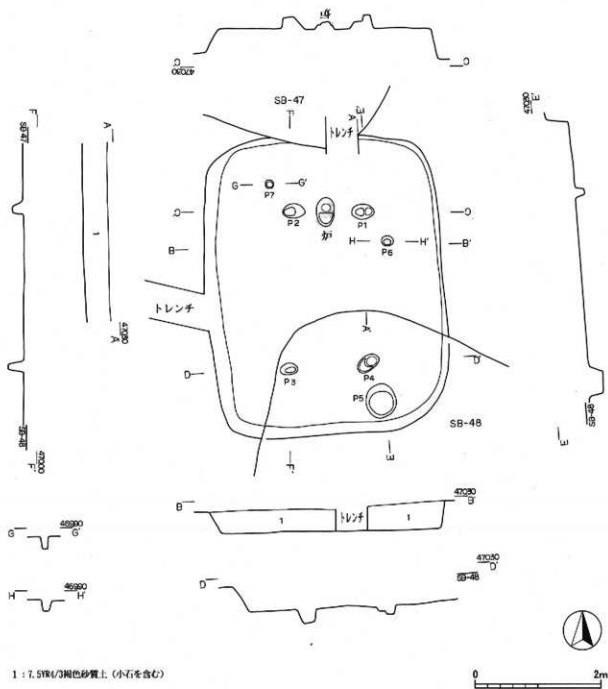


第18図 第48号住居址実測図



第19図 第48号住居址炉址実測図

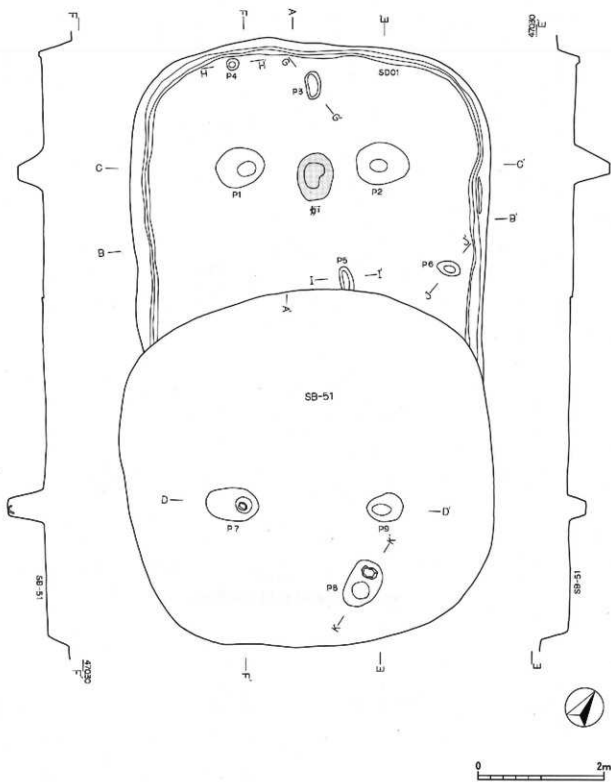




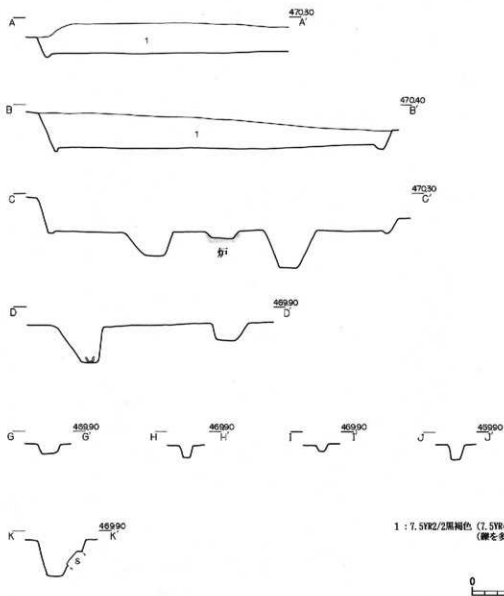
第20図 第49号住居址実測図



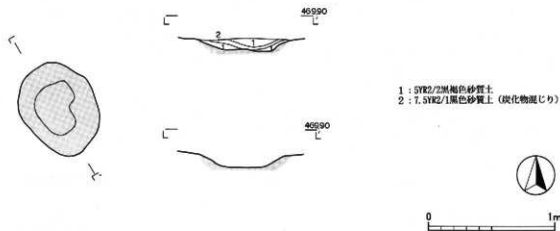
第21図 第49号住居址炉址実測図



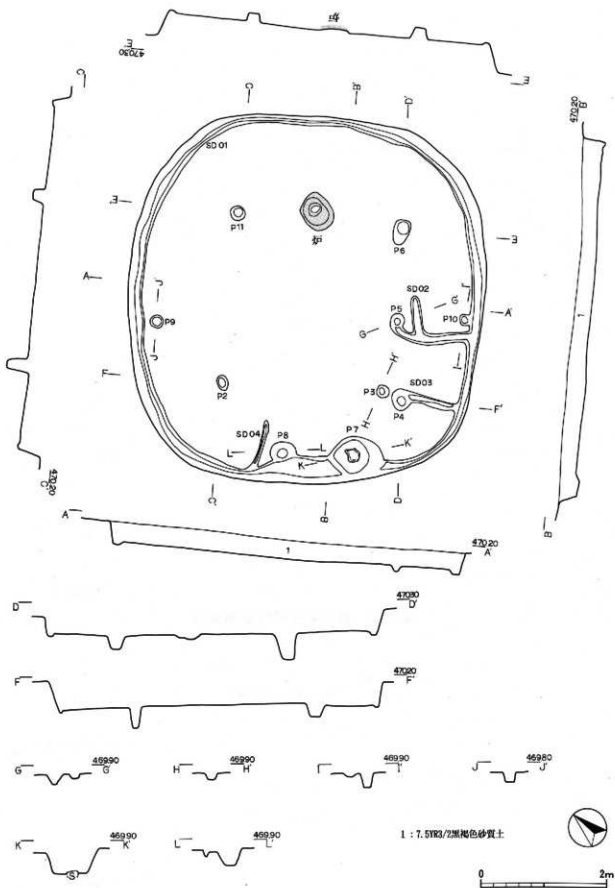
第22图 第50号住居址实测图(1)



第23図 第50号住居址実測図(2)



第24図 第50号住居址炉址実測図



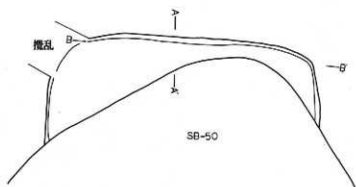
第25図 第51号住居址実測図



- 1 : SYR2/1黒褐色砂質土
2 : SYR2/2黒褐色砂質土 (粘土混じり)

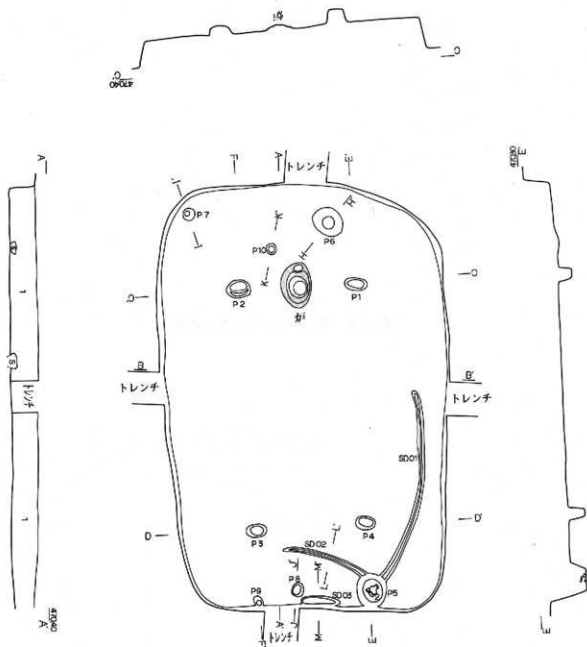


第26図 第51号住居址炉址実測図



1 : 7.5YR5/8明褐色

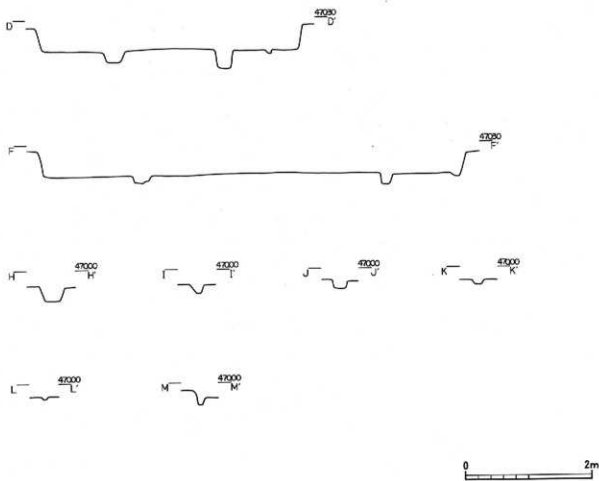
第27図 第52号住居址実測図



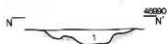
1 : 7.5KG/2黒褐色砂質土



第28図 第53号住居址実測図(1)



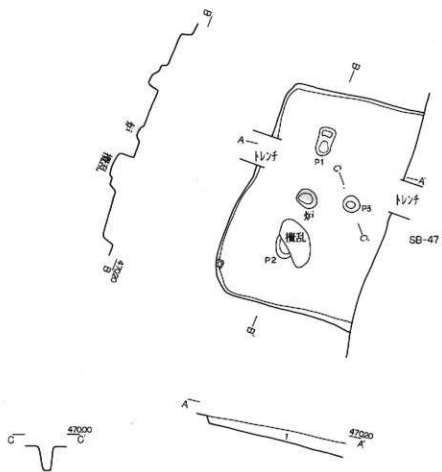
第29図 第53号住居址実測図(2)



1 : 7.5YR2/3極暗褐色砂質土 (鉄土・炭化物混じり)

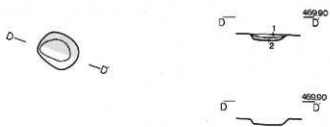
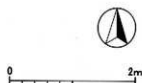


第30図 第53号住居址炉址実測図



1 : 7.5YR3/3暗褐色砂質土 (縦指大位の石を少量含む)

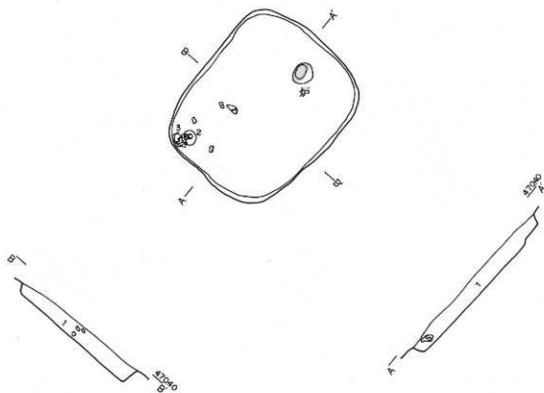
第31図 第54号住居址実測図



1 : 5YR2/2黒褐色砂質土
2 : 黄土

第32図 第54号住居址炉址実測図



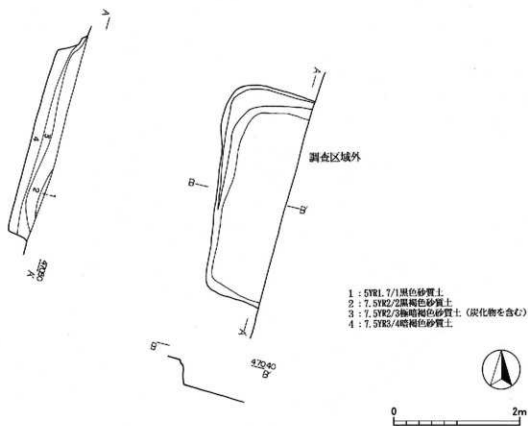


1 : 7.5YR2/2黒褐色シルト

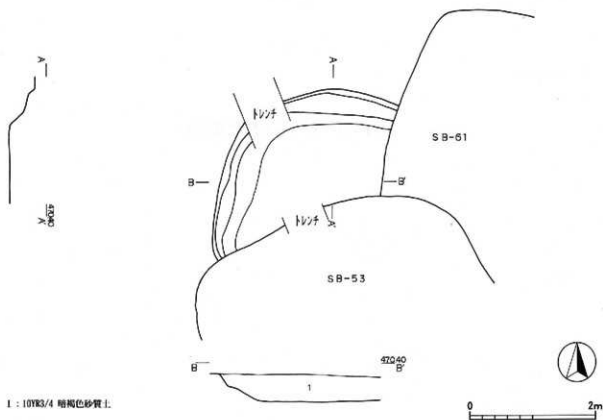
第33図 第55号住居址実測図



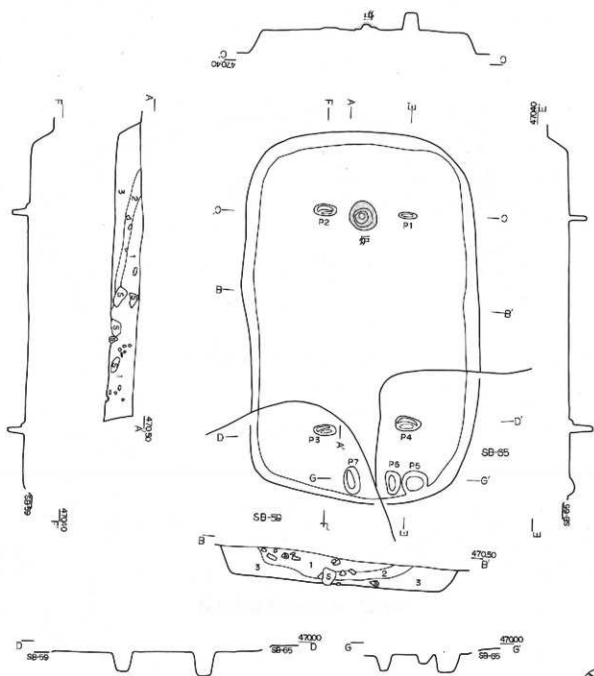
第34図 第55号住居址炉址実測図



第35图 第56号住居址実测图

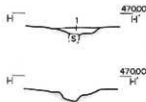
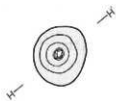


第36图 第57号住居址実测图

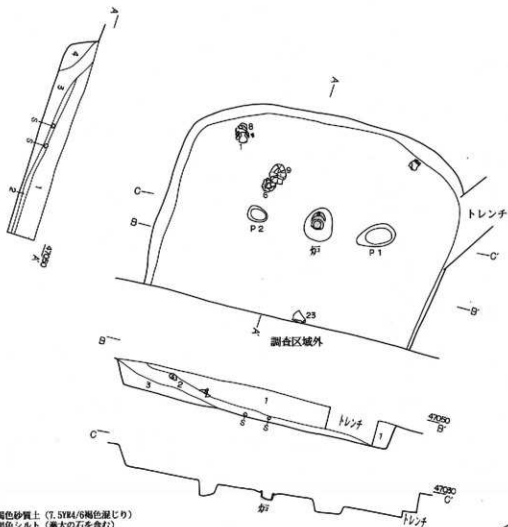


- 1 : 7.5YR2/2黒褐色砂質土 (準人の石を含む)
- 2 : 10YR3/3 暗褐色砂質土 (即ち7/3 明褐色の線指大の層を多く含む)
- 3 : 10YR2/3 黒褐色砂質土 (炭化物を少量含む)

第37図 第58号住居址実測図

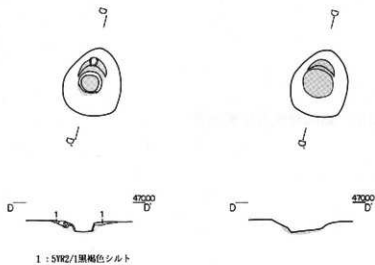


第38図 第58号住居址炉址実測図



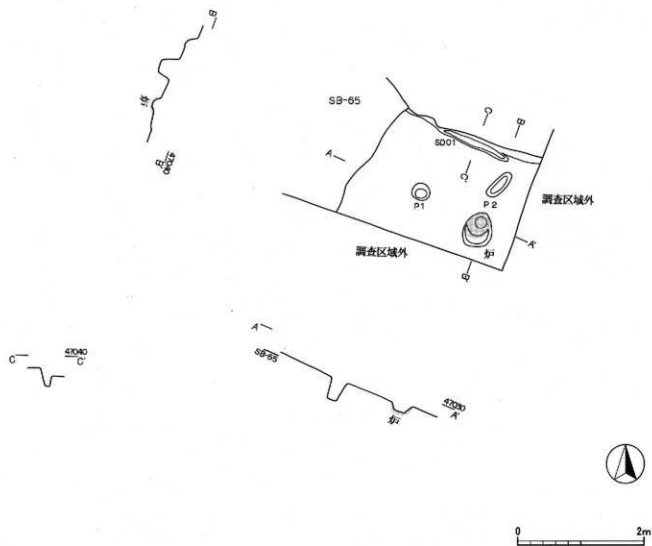
- 1 : T. SYK3/3暗褐色砂質土 (T. SYR4/6褐色泥じり)
- 2 : T. SYK3/1黒褐色シルト (準大の石を含む)
- 3 : T. SYK2/2黒褐色シルト (T. SYR4/4褐色泥じり)
- 4 : SYK2/2黒褐色シルト

第39図 第59号住居址実測図

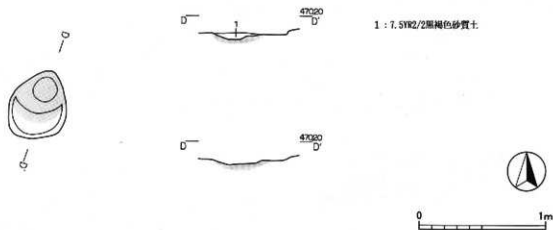


- 1 : SYK2/1黒褐色シルト

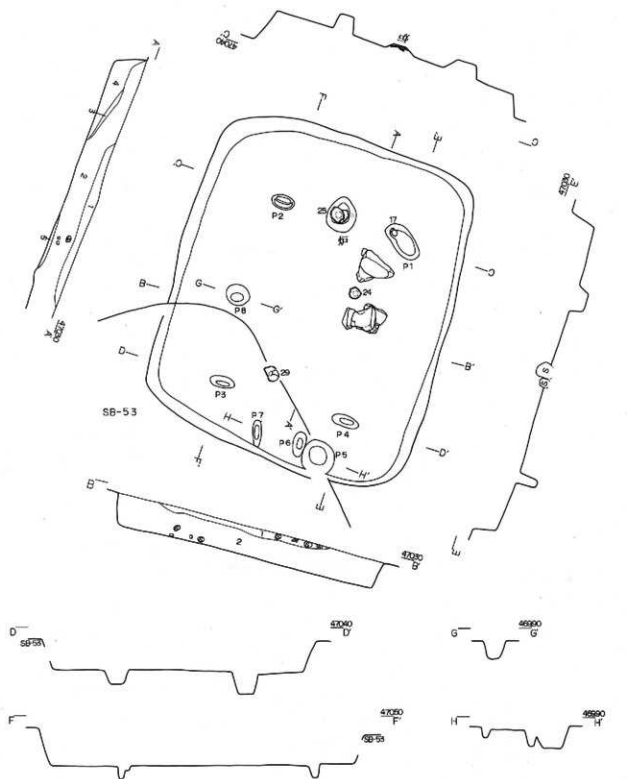
第40図 第59号住居址炉址実測図



第41图 第60号住居址实测图

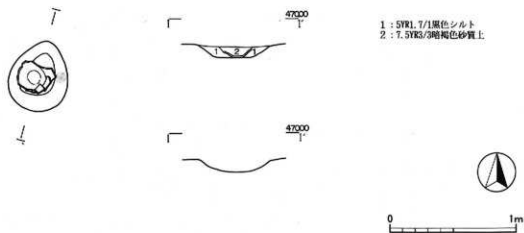


第42图 第60号住居址炉址实测图

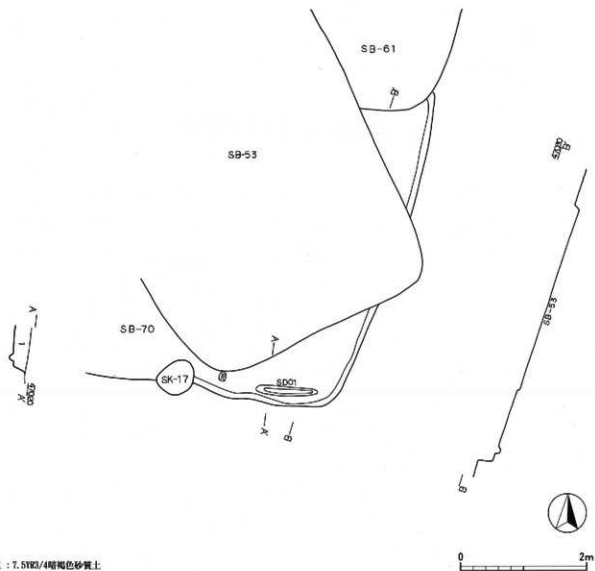


- 1 : 7.5VR2/1黒色砂質土 (炭化物混じり)
- 2 : 7.5VR3/3暗褐色砂質土
- 3 : 7.5VR3/3暗褐色砂質土 (炭化物を多量に含む)
- 4 : 10VR3/3 暗褐色砂質土 (7.5VR4/6褐色混じり)
- 5 : 7.5VR1.7/1黒色シルト (炭化物・焼土を多量に含む)

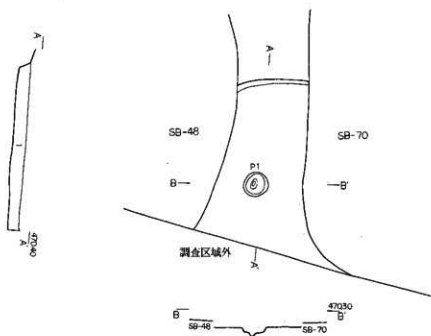
第43図 第61号住居址実測図



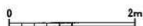
第44図 第61号住居址炉址実測図



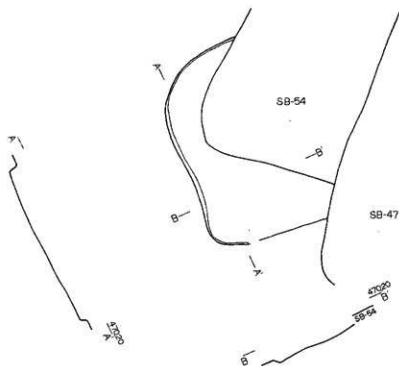
第45図 第62号住居址実測図



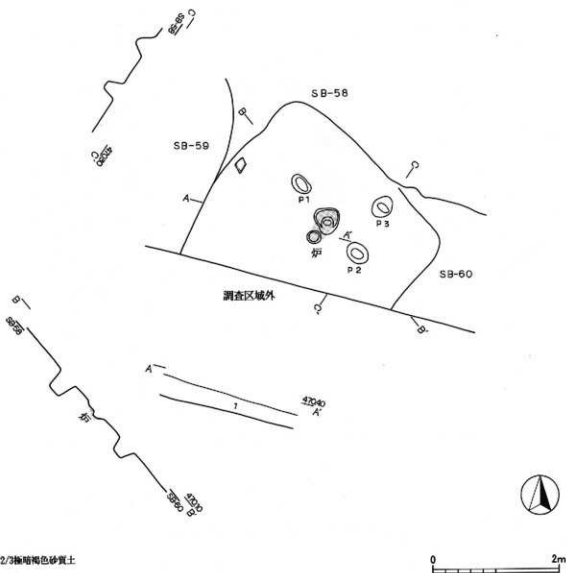
1 : 10YR3/4 暗褐色砂質L (7.5YR4/4褐色泥じり)



第46図 第63号住居址実測図

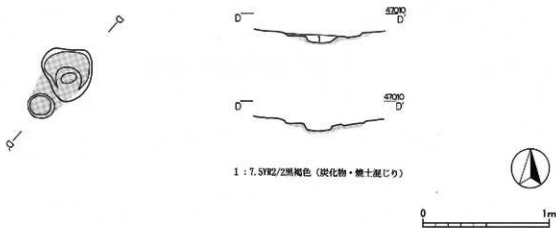


第47図 第64号住居址実測図



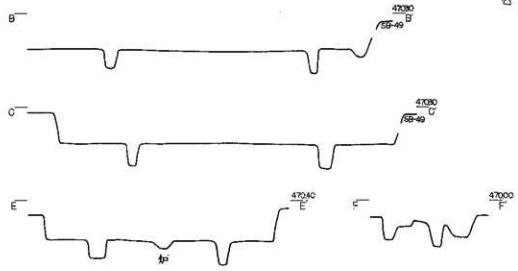
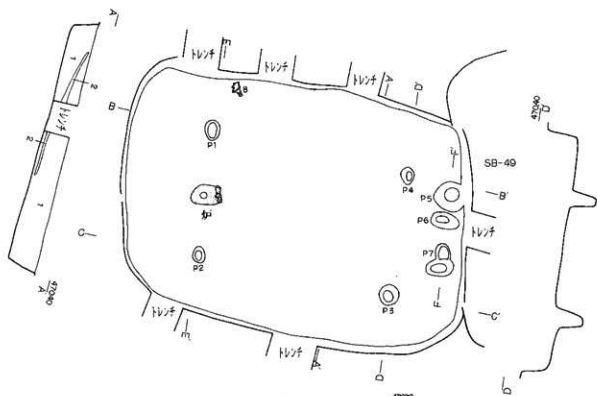
1 : 7.5TK2/3極暗褐色砂質土

第48図 第65号住居址実測図



1 : 7.5TK2/2黒褐色(炭化物・糞土混じり)

第49図 第65号住居址炉址実測図



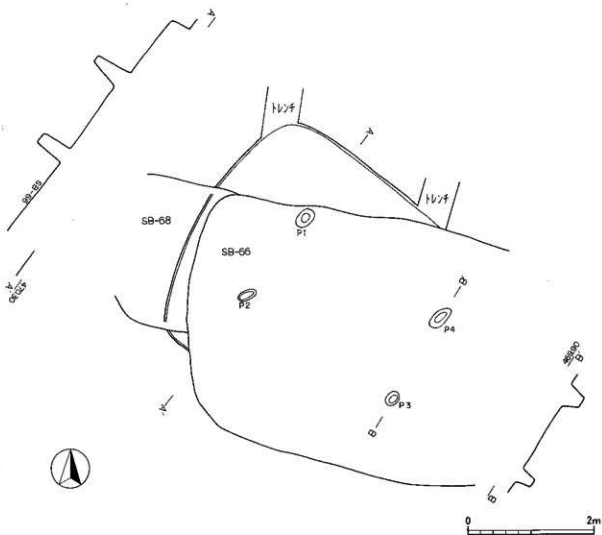
- 1: 7.5W2/3暗褐色砂質土
- 2: 7.5W2/3暗褐色砂質土 (炭化物を含む)

第50図 第66号住居址実測図

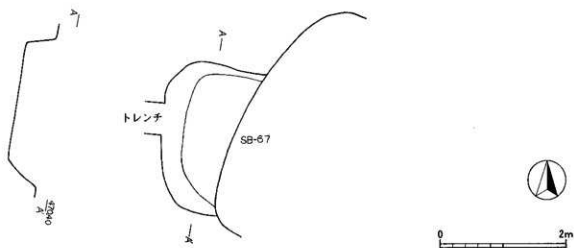


- 1: 7.5W3/3暗褐色シルト
- 2: 炭化物 (焼土混じり)

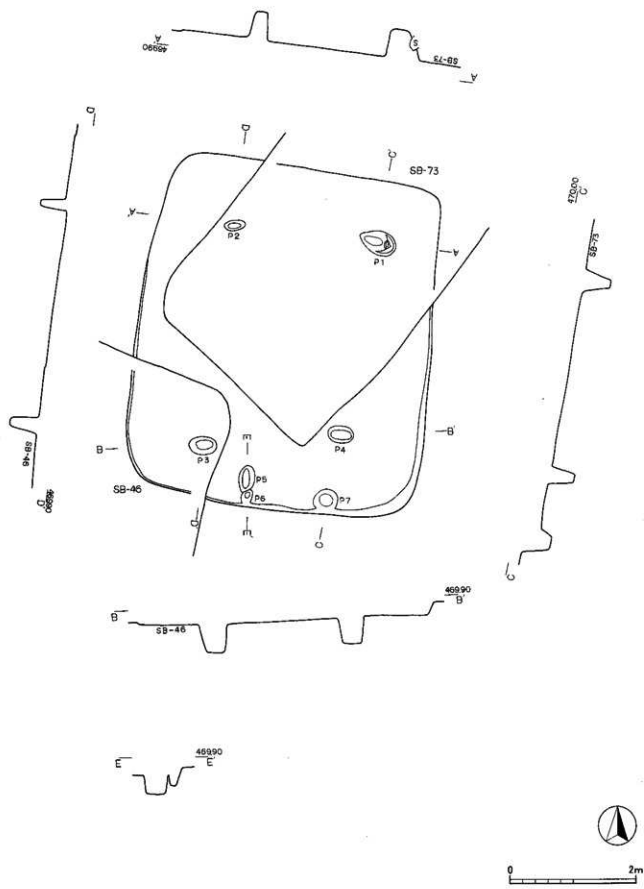
第51図 第66号住居址炉址実測図



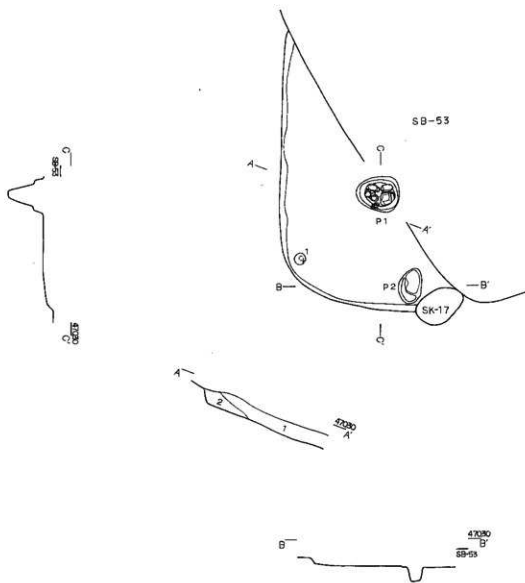
第52図 第67号住居址実測図



第53図 第68号住居址実測図

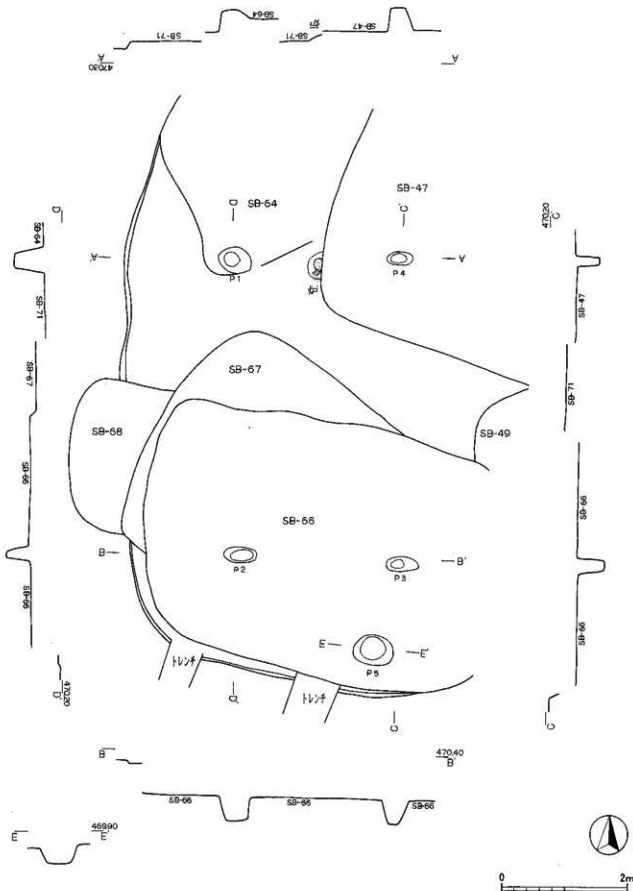


第54图 第69号住居址实测图

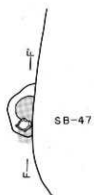


- 1 : 10YR3/3 暗褐色砂質土
 2 : 7.5YR2/3 暗褐色シルト (炭化物混じり)

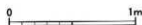
第55図 第70号住居址実測図



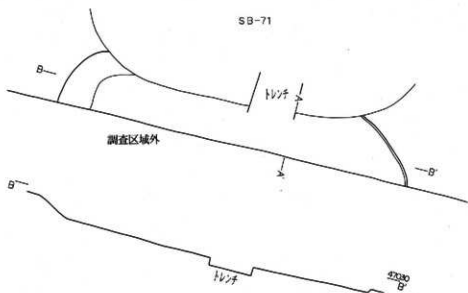
第56図 第71号住居址実測図



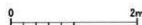
- 1: 10YR5/8 黄褐色
- 2: 10YR3/1 黒褐色
- 3: 2YR5/6 明赤褐色 (焼土)



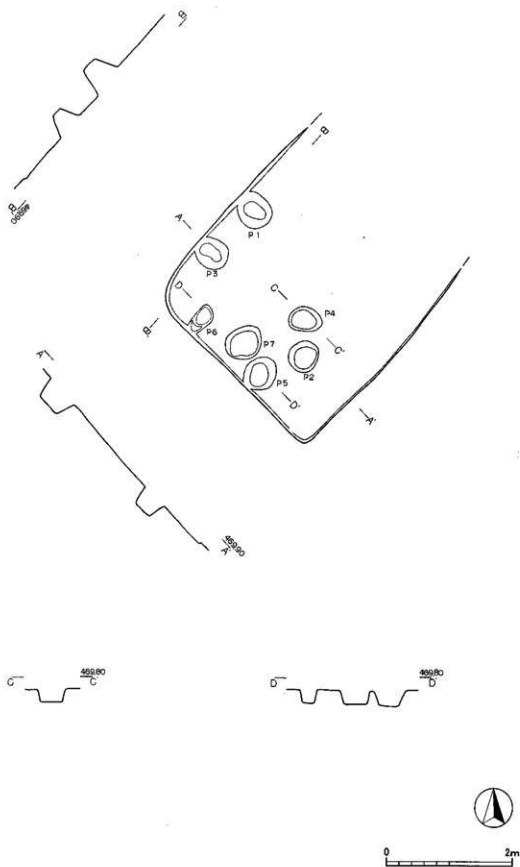
第57図 第71号住居址炉址実測図



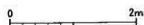
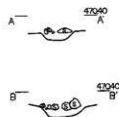
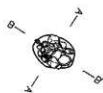
- 1: 7.5YR2/2 黒褐色シルト
- 2: 7.5YR3/2 黒褐色シルト (7.5YR4/6 褐色混じり)



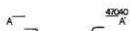
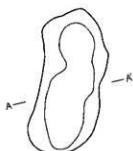
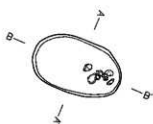
第58図 第72号住居址実測図



第59图 第73号住居址实测图



第60圖 第2号集石遺構実測図



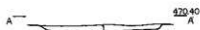
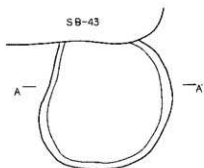
1 : 7.5YR3/3暗褐色砂質土 (7.5YR5/8明褐色混じり)

1 : 7.5YR3/2黒褐色砂質土 (小豆人の小石多く含む)

第 12 号

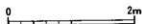
第 13 号

第 14 号



1 : 7.5YR5/8明褐色

第 15 号



第61圖 土坑実測図(1)



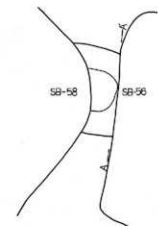
- 1 : 10YR5/6 黄褐色
- 2 : 5Y4/1 灰色
- 3 : 2.5YR5/9 明赤褐色 (炭化物を含む)
- 4 : 10YR5/8 黄褐色
- 5 : 7.5YR4/6 褐色

第 16 号



- 1 : 7.5YR3/3 暗褐色砂質土

第 17 号



- 1 : 10YR3/4 暗褐色砂質土
- 2 : 7.5YR2/1 黑色砂質土 (炭化物を含む)
- 3 : 7.5YR4/4 褐色砂質土

第 18 号



第 19 号



第 20 号



第62图 土坑実測図(2)

第3表 竪穴住居址一覽表

遺跡番号	平面形状	規模	遺構	位置	土層	地質	瓦葺	瓦葺規模	深さ	主柱穴	副柱穴等	内溝	溝	備考
SB-42	隅丸長方形	6.50	5.64	0.20	N-32'-W	不明				4(P1-P4)	3(P6-P7)			SB-41に切られる
SB-43	隅丸長方形	6.24	5.41	0.41	N-3'-E	北側主柱穴	土層焼酎	0.90	0.28	4(P1-P4)	3(P6-P8)			SB-45を切る
SB-44	隅丸長方形	5.60	3.06	0.31	N-30'-W	北側主柱穴	土層焼酎	0.42	0.31	4(P1-P4)	2(P6-P7)			SB-44に切られる
SB-45	隅丸長方形	5.20	4.90	0.56	N-5'-R	不明				3(P1-P2)				SB-44に切られる
SB-46	隅丸長方形	5.66	4.00	0.29	N-19'-E	北側主柱穴	地味土	0.36	0.31	4(P1-P4)				SB-69を切る
SB-47	隅丸長方形	7.70	5.50	0.34	N-15'-E	北側主柱穴	土層焼酎?	0.58	0.56	4(P1-P4)	4(P5-P7-P9)			SB-45・49・54・64・70を切る 内溝に多量の灰化物を含む
SB-48	隅丸長方形?	4.72	0.80	0.28	N-35'-W	西側中央部	地味土	0.46	0.05	1(P2)				SB-49・63を切る
SB-49	隅丸長方形	4.74	3.76	0.44	N-3'-W	北側主柱穴	地味土	0.46	0.30	4(P1-P4)	2(P6-P7)			SB-68を切る
SB-50	隅丸長方形	(3.20)	5.66	0.54	N-33'-W	北側主柱穴	地味土	0.76	0.58	4(P1-P2) P7-P9	4(P3-P6)			SB-47・48に切られる
SB-51	隅丸長方形	5.88	5.64	0.40	N-35'-W	北側主柱穴	地味土	0.56	0.48	4(P1-P2) P4-P6	4(P3-P5) P9-P10			SB-52を切る
SB-52	隅丸長方形?	0.40	4.32	0.15	N-3'-E	不明								SB-50を切る
SB-53	隅丸長方形	6.80	4.44	0.35	N-30'-W	北側主柱穴	地味土	0.72	0.46	4(P1-P4)	5(P8-P12)			SB-50に切られる
SB-54	隅丸長方形?	0.80	3.54	0.22	N-77'-W	西側主柱穴	地味土	0.33	0.28	2(P1-P2)	1(P3)			SB-57に切られる
SB-55	隅丸長方形	2.80	2.26	0.28	N-43'-E	北側中央部	地味土	0.36	0.30					SB-64に切られる
SB-56	隅丸長方形?	3.40	0.80	0.42	N-23'-E	不明								SB-47に切られる
SB-57	隅丸長方形?	0.80	0.80	0.39	N-53'-W	不明								SB-47に切られる
SB-58	隅丸長方形	5.90	3.76	0.43	N-48'-E	北側主柱穴	地味土	0.48	0.42	4(P1-P4)				SK-18を切る
SB-59	隅丸長方形?	0.80	4.14	0.44	N-59'-E	北側主柱穴	土層焼酎	0.54	0.44	2(P1-P2)				SK-18を切る
SB-60	隅丸長方形?	0.80	0.90	0.15	N-16'-E	北側主柱穴	地味土	0.57	0.45	1(P2)				SK-18を切る
SB-61	隅丸長方形	5.26	4.46	0.59	N-16'-E	北側主柱穴	土層焼酎	0.57	0.45	4(P1-P4)	1(P8)			SK-18を切る
SB-62	隅丸長方形	0.80	0.80	0.34	N-16'-E	不明								SK-18を切る
SB-63	隅丸長方形?	0.80	0.90	0.15	N-16'-E	不明								SK-18を切る
SB-64	隅丸長方形?	0.80	(3.30)	0.18	N-43'-E	不明								SK-18を切る
SB-65	隅丸長方形?	0.80	3.48	0.28	N-48'-E	北側主柱穴	地味土	0.64	0.45	2(P1-P2)	1(P3)			SK-18を切る
SB-66	隅丸長方形	5.60	4.00	0.35	N-78'-W	西側主柱穴	地味土	0.48	0.32	4(P1-P4)				SK-18を切る
SB-67	隅丸長方形	(5.20)	(4.90)	0.33	N-34'-W	不明								SK-18を切る
SB-68	隅丸長方形?	(0.80)	2.32	0.51	N-48'-W	不明								SK-18を切る
SB-69	隅丸長方形	5.40	4.60	0.19	N-19'-E	不明								SK-18を切る
SB-70	隅丸長方形?	(0.80)	0.80	0.22	N-5'-E	不明								SK-18を切る
SB-71	隅丸長方形	(0.80)	(0.80)	0.20	N-19'-E	北側主柱穴	地味土	0.44	(0.27)	4(P1-P4)				SK-18を切る
SB-72	隅丸長方形?	(0.80)	5.80	0.27	N-5'-E	不明								SK-18を切る
SB-73	隅丸長方形	(0.80)	3.50	0.05	N-45'-E	不明								SK-18を切る

遺構番号	平面形	規 模			断面形	所 産 期	出土遺物	備 考
		長 軸	短 軸	深 さ				
SX-02	楕円形	0.72	0.42	0.16	半球形	弥生時代後期		上部に拳大の集石を伴う
SK-12	長円形	1.43	0.86	0.25	鍋底状	弥生時代後期	弥生土器	
SK-13	略円形	0.40	0.36	0.20	柱穴状	弥生時代後期		
SK-14	長円形	2.28	0.93	0.23	鍋底状	弥生時代後期		
SK-15	略円形 (2.20)	2.00	0.14		皿 状	弥生時代後期		
SK-16	略円形	1.10	1.03	0.16	皿 状	弥生時代後期		
SK-17	長円形	0.76	0.48	0.26	柱穴状	弥生時代後期	弥生土器	
SK-18	略円形?	1.36		0.34	槽鉢状	弥生時代後期		
SK-19	略円形	0.46	0.28	0.31	柱穴状	弥生時代後期	弥生土器	
SK-20	楕円形	0.56	0.28	0.18	柱穴状	弥生時代後期		

第4表 集石遺構・土坑一覧表

第2節 遺物

常入遺跡群下町田遺跡の第3次発掘調査に伴い出土した遺物のほとんどは、弥生時代後期後半の所産と推定される弥生土器、土製品、石器である。

弥生土器は、弥生時代後期後半に千曲川流域を中心に広範に分布する箱清水式土器である。全体的に出土量はあまり多くなく、全器形の知られる資料は少なかった。器種としては、甕、壺、深鉢、高坏、蓋、鉢、甌等があり、大多数が箱清水式土器の標準的な器形と文様構成を具備している。

甕は、大方の住居址から出土している。口縁部から胴中央部にかけて櫛描波状文で充填し、頸部に櫛描簾状文を有するものが一般的で、小型のものには台付となるものもある。他の文様としては、胴部の波状文の施文を省略した例(SB-59-7、10)、櫛描格子状文を施文する例(SB-45-9)、櫛描斜走文を施文する例(SB-69-1)などがある。また、口縁部に折返しを持つ例(SB-43-1、46-5、47-5、49-2、53-6・7、59-10・11、61-3、68-1、遺構外-4)などがある。

壺は、2種に大別され、一つは箱清水式期の標準的な器形と文様構成を備えたもので、他方は無彩、無文の小型壺である。前者の壺は、頸部にT字文を持つ例が多いが、篋描羽状文を持つ例(SB-44-15)、ボタン状の貼付文を伴う例(SB-43-11、68-2)、頸部に2穴の緊結孔を焼成後に穿孔した例(SB-61-20)などがある。大型の壺には赤色塗彩を施さない無彩の壺が比較的多く見られ、小型の壺には台付のものもみられる。無彩、無文の小型壺は、胴の張りや口縁部の広がりやが乏しく、細長い器形を呈し、内外面に丁寧な篋磨きが施されている。口縁部に折返しを持つ例(SB-47-8)、頸部に断面三角形の鐫を伴う例(SB-43-9・10、44-6、48-10、遺構外-18~21)などがある。

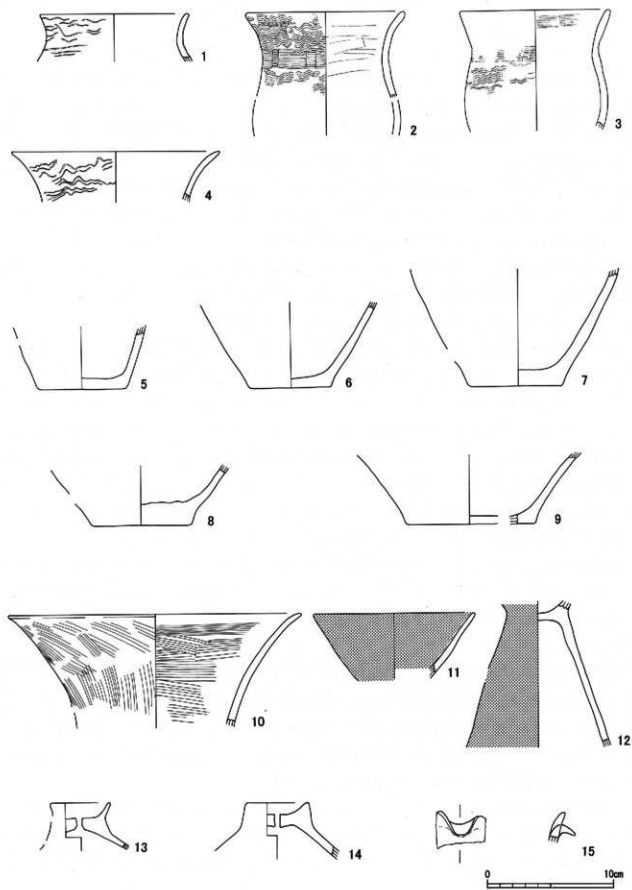
深鉢の出土は少なかった。いずれも箱清水式期に一般的に見られる深鉢である。

高坏は、大型と小型があり、大型高坏の脚部には三角形の透かし窓が3~4ヶ所に設けられているものがある(SB-44-10、47-10、50-11、53-24、66-8・9、遺構外-29)。また、脚部が欠損した状態で坏部の底に穿孔した例が2点(SB-53-19・20)あり、甌若しくは蓋として転用したものと推測される。

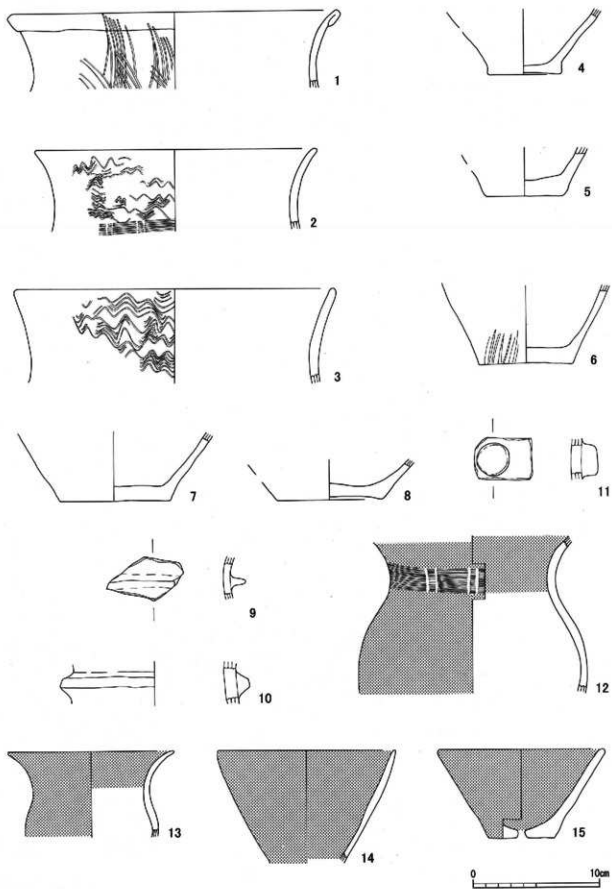
蓋、鉢、甌には、赤色塗彩されたものと無彩のものがあり、蓋の摘み部には蒸気抜きのために1孔ないしは複数孔が穿孔されているものがある。無彩の鉢には片口をもつものがある(SB-43-5、65-2)。また、甌は底部に1孔を持つものが大半を占めるが、9孔を持つ例(SB-66-18)もある。

土製品としては、第45号住居址から紡錘車1点が出土している。約1/2が欠損しているが、直径6.3cm、中央部の厚さ1.2cm、残存重量22.9gを測る。

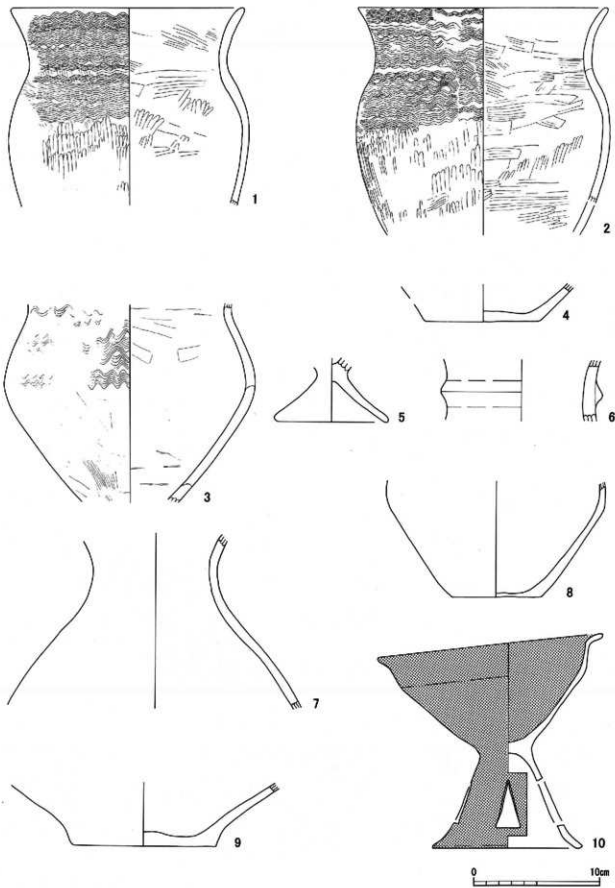
石器は、磨石、敲石、凹石、砥石が出土している。これらの中には、複数の機能を併せ持つ例や、第43・46号住居址のように炉縁石として使用されている例もある。石材としては、安山岩が最も多いが、玄武岩、流紋岩、砂岩、閃緑岩も使用されており、いずれも本遺跡周辺で得られる石材である。



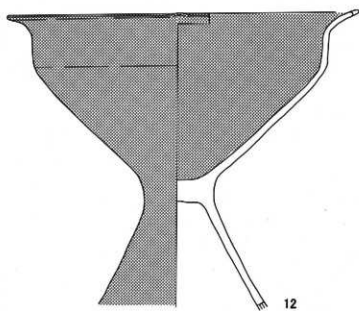
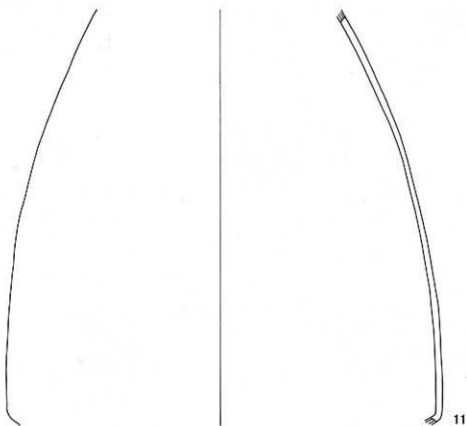
第63图 第42号住居址出土遗物实测图



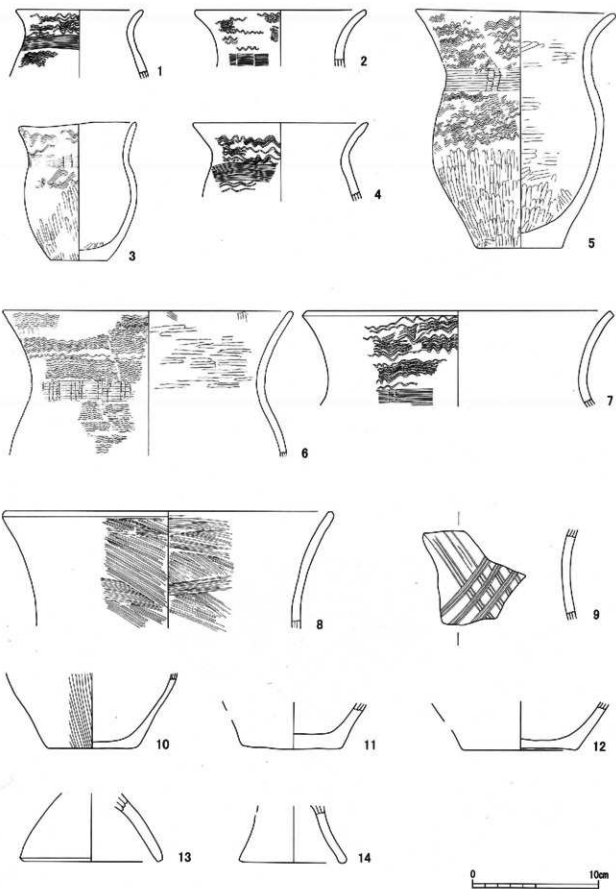
第64图 第43号住居址出土遺物実測图



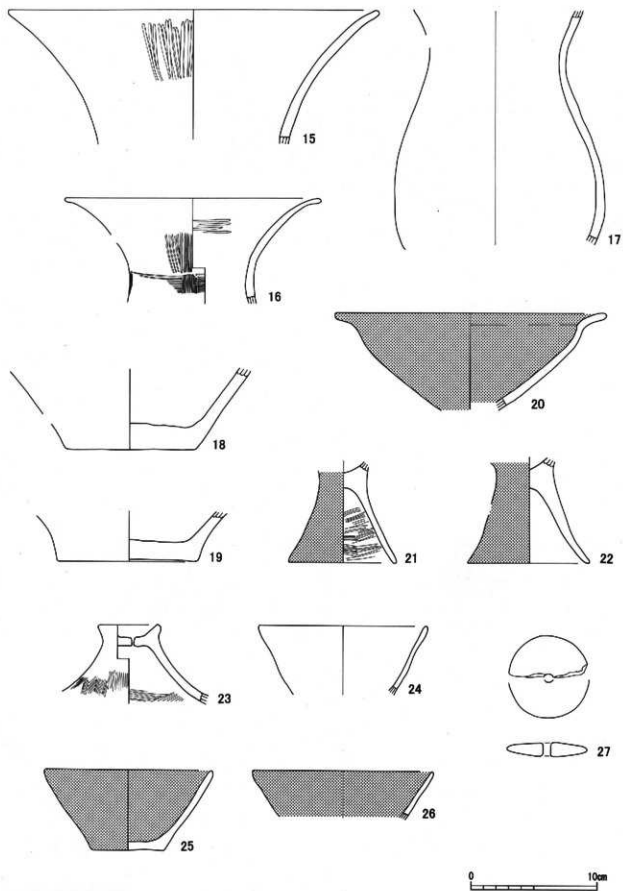
第65图 第44号住居址出土遺物実測图(1)



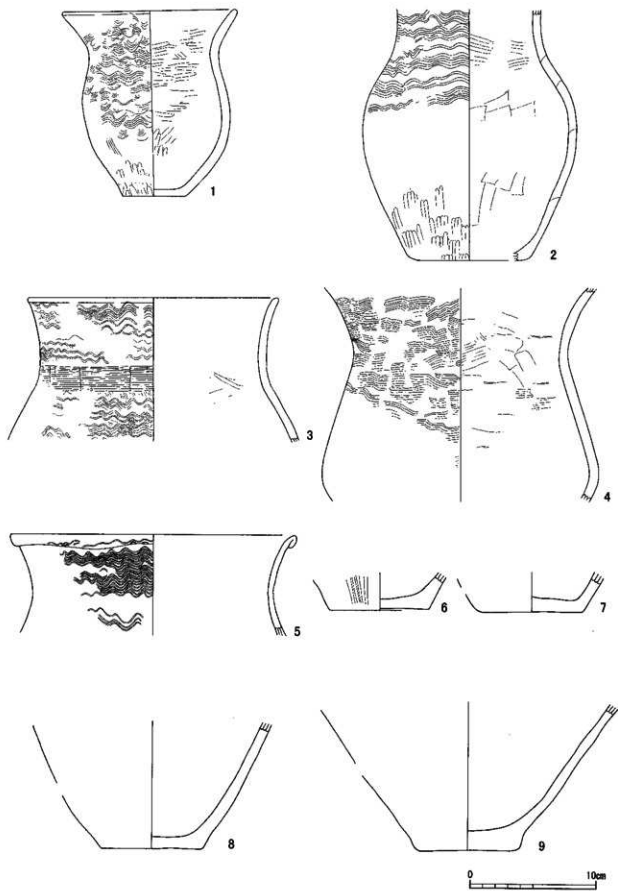
第66図 第44号住居址出土遺物実測図(2)



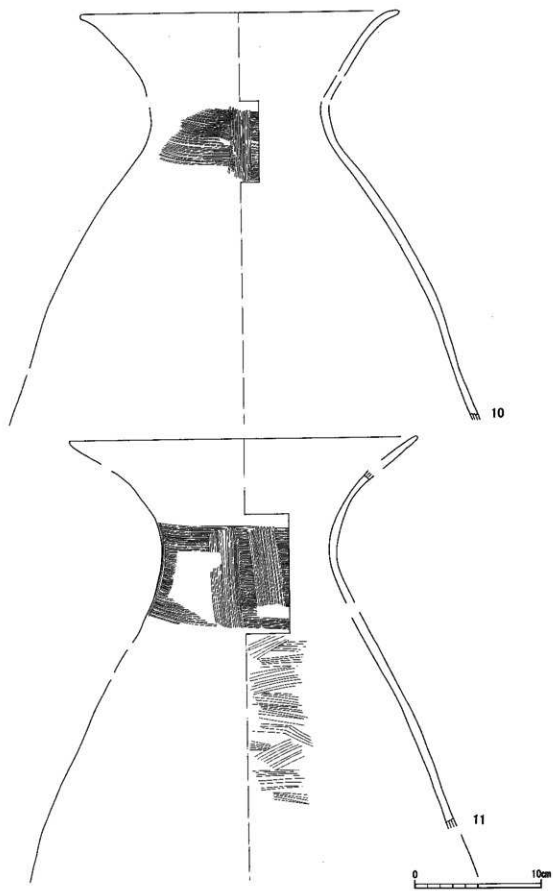
第67图 第45号住居址出土遗物实测图(1)



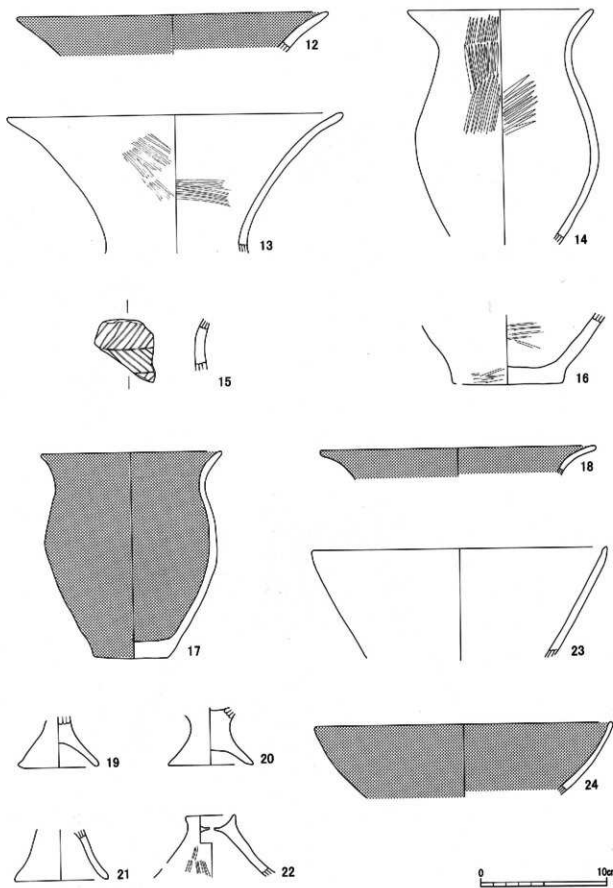
第68图 第45号住居址出土遗物实测图(2)



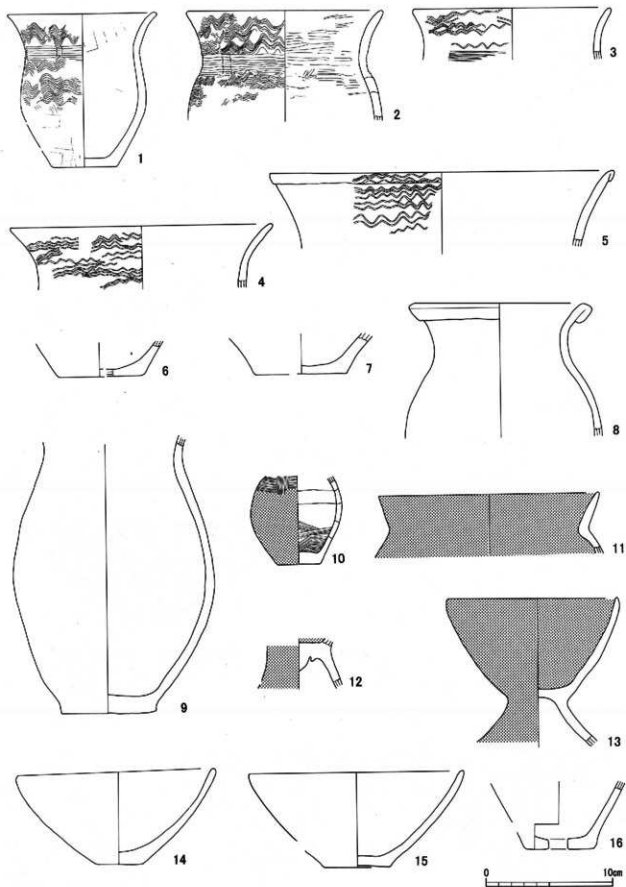
第69图 第46号住居址出土遺物実測图(1)



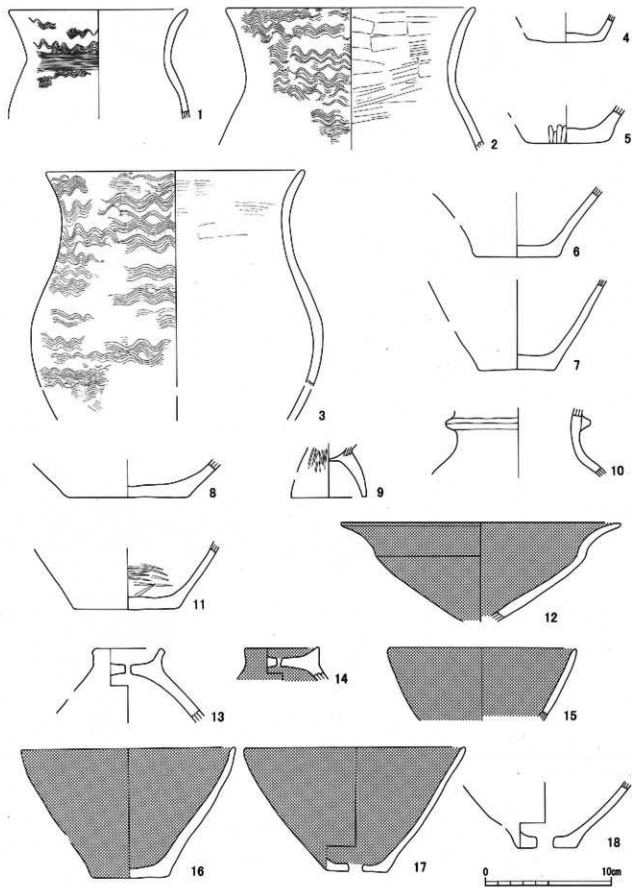
第70图 第46号住居址出土遺物実測図(2)



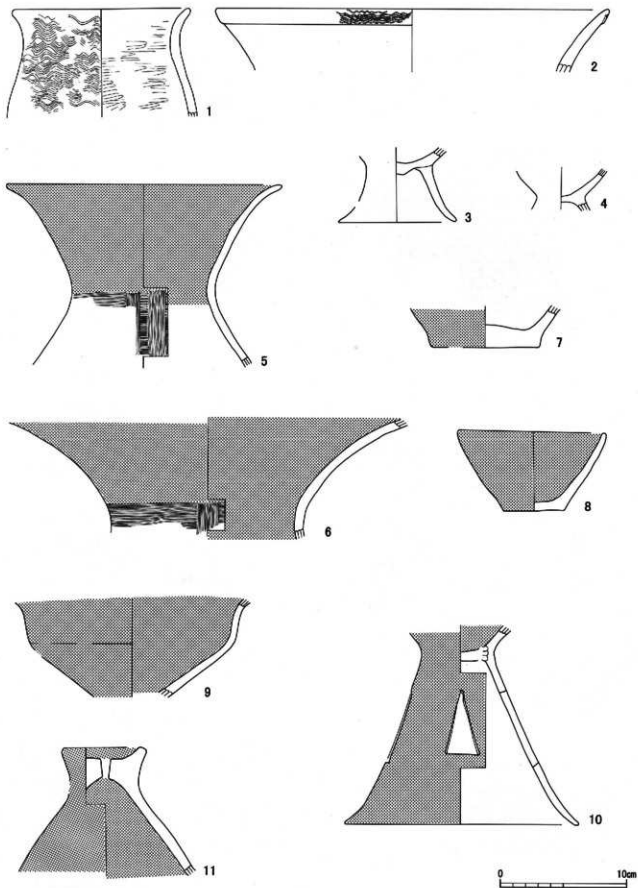
第71图 第46号住居址出土物实测图(3)



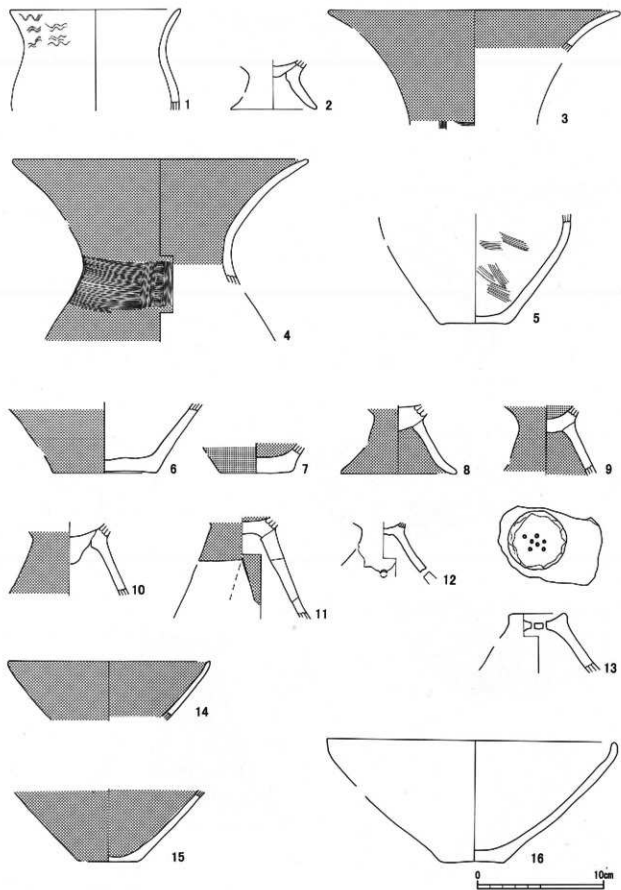
第72图 第47号住居址出土遺物実測図



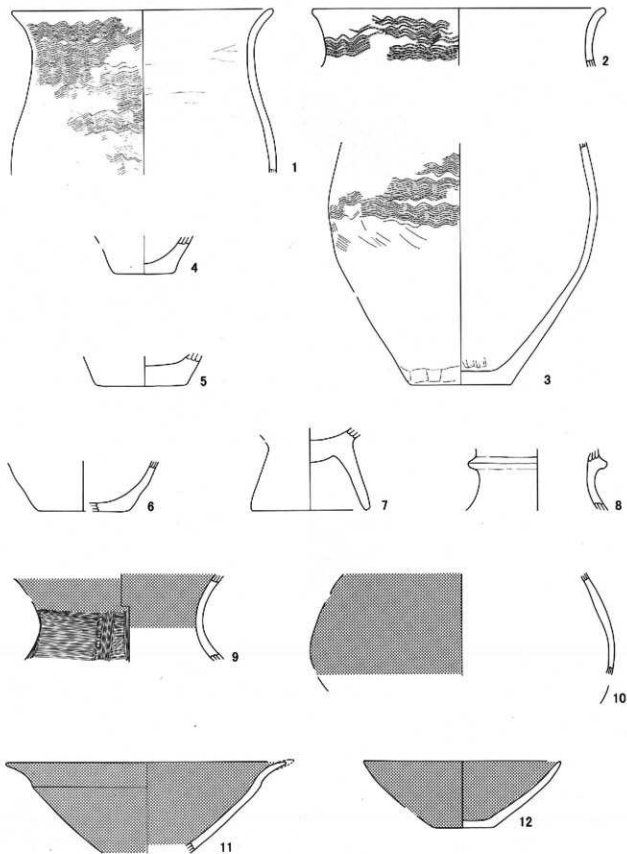
第73图 第48号住居址出土遺物実測図



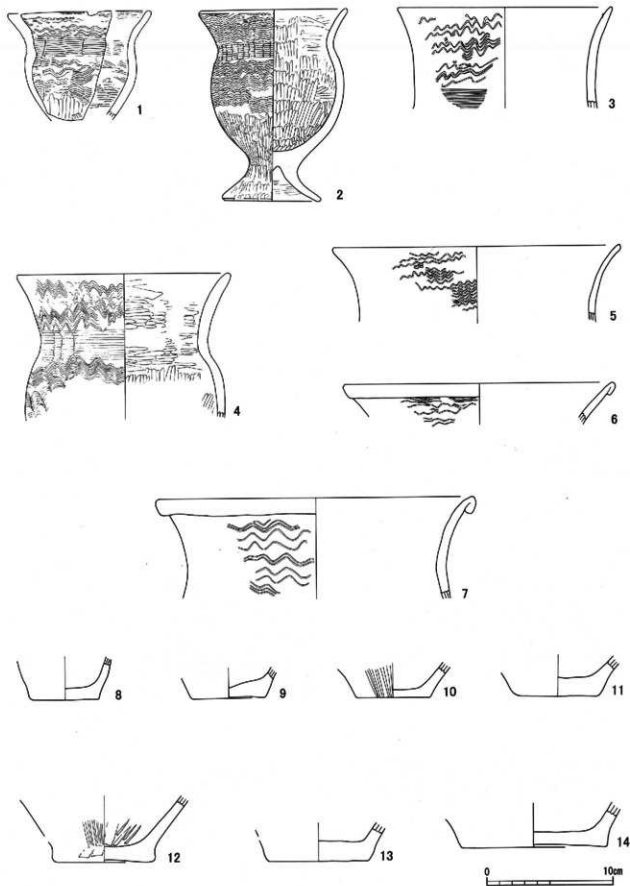
第74图 第49号住居址出土遗物实测图



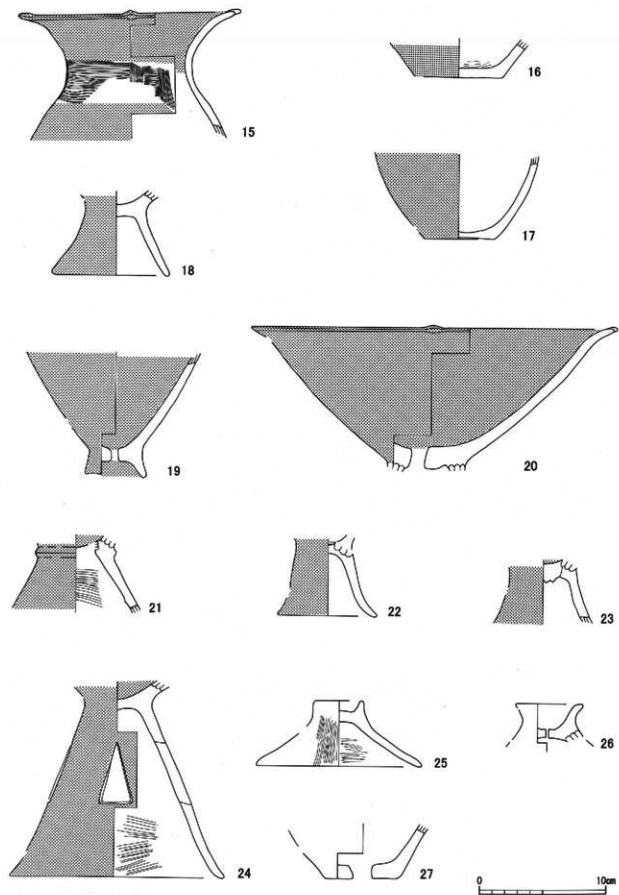
第75図 第50号住居址出土遺物実測図



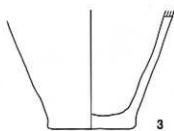
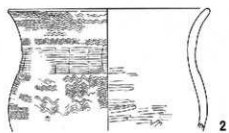
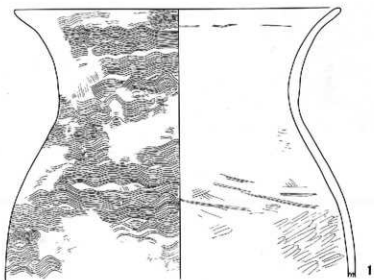
第76図 第51号住居址出土遺物実測図



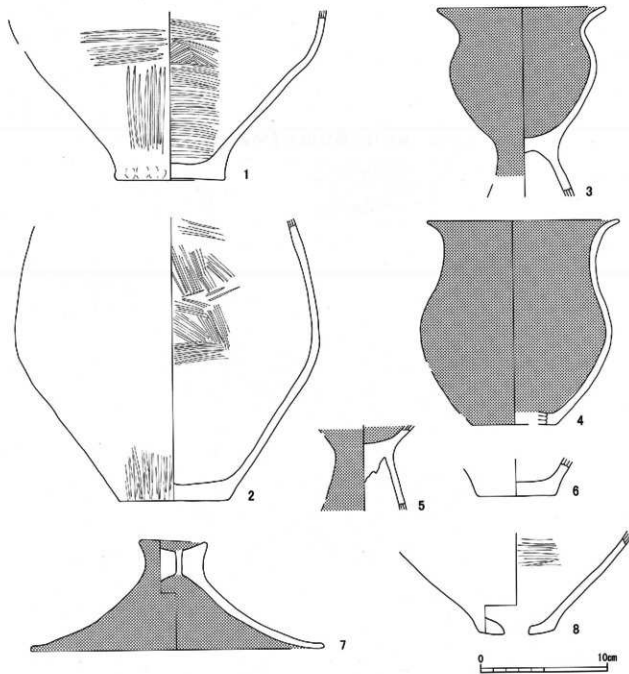
第77图 第53号住居址出土遺物実測圖(1)



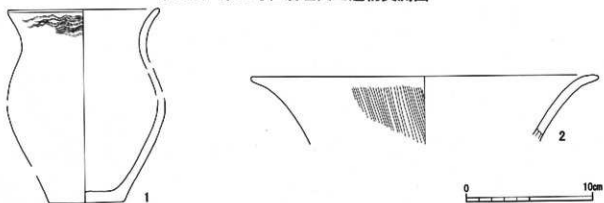
第78图 第53号住居址出土遺物実測図(2)



第79图 第54号住居址出土遺物実測図



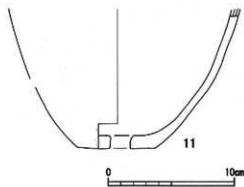
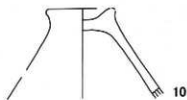
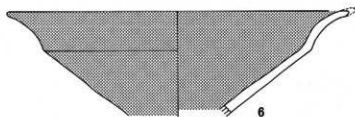
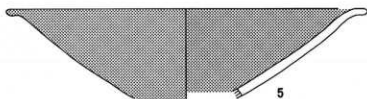
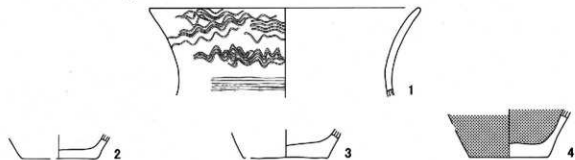
第80图 第55号住居址出土遺物実測図



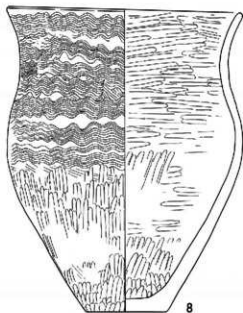
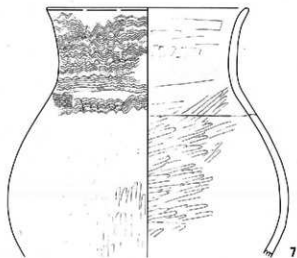
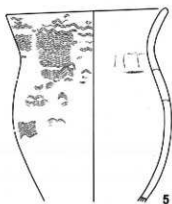
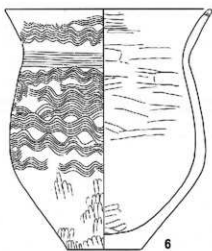
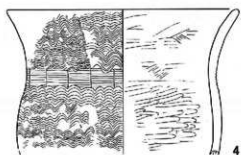
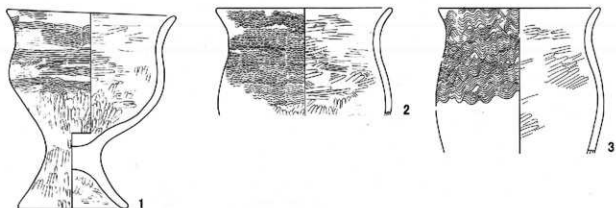
第81图 第56号住居址出土遺物実測図



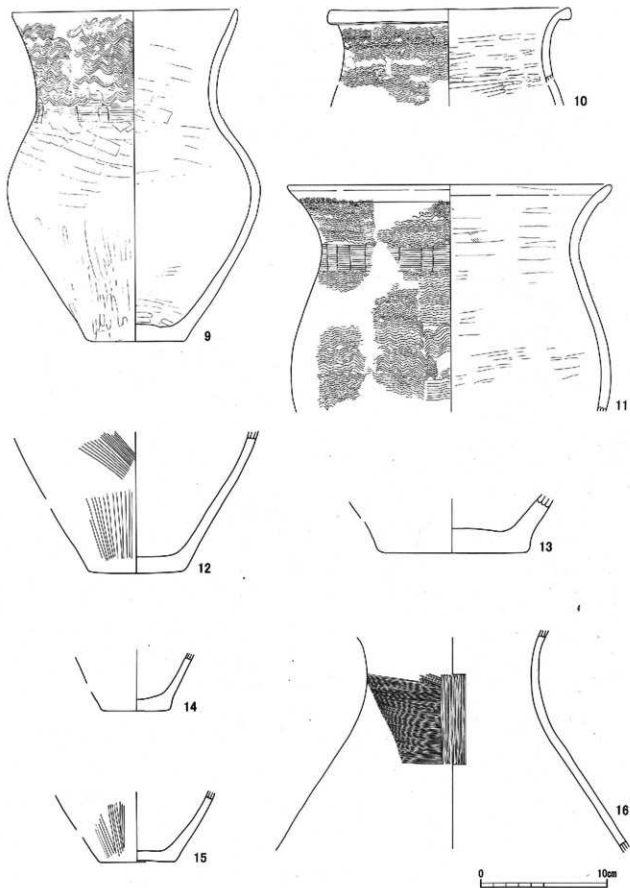
第82图 第57号住居址出土遺物実測図



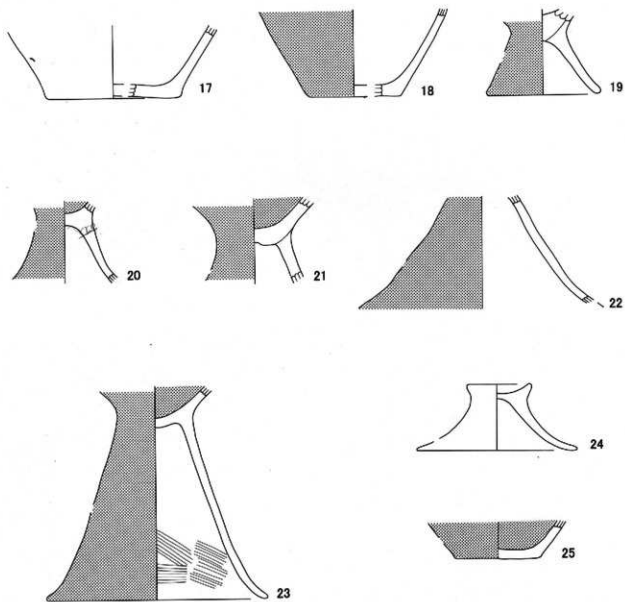
第83图 第58号住居址出土遺物実測図



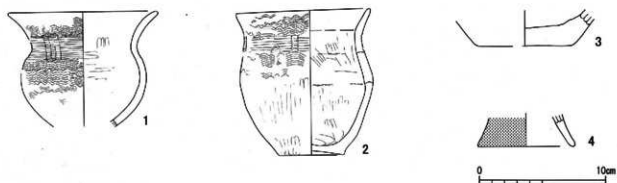
第84图 第59号住居址出土遺物実測図(1)



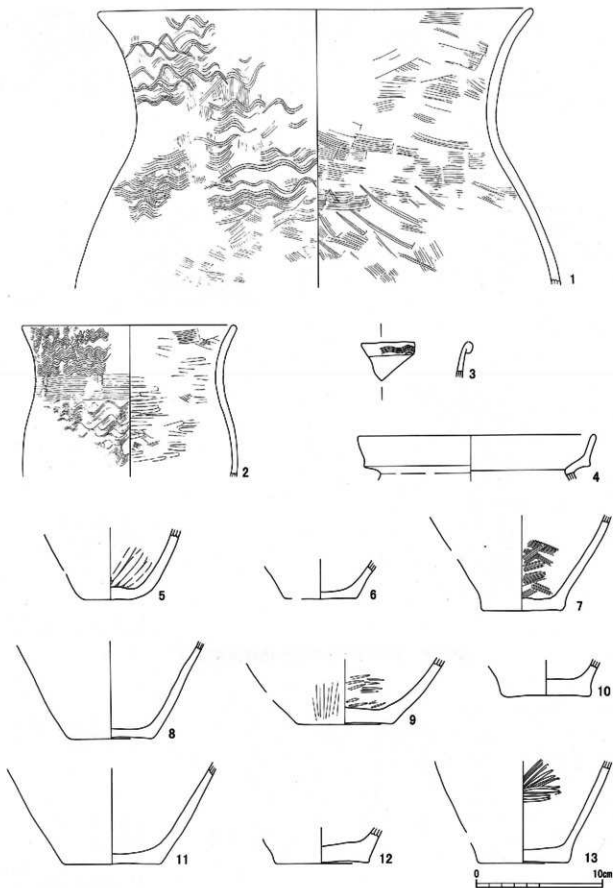
第85图 第59号住居址出土遗物实测图(2)



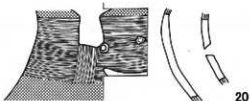
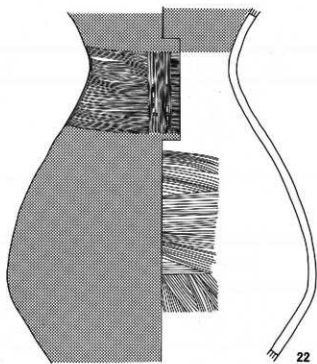
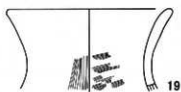
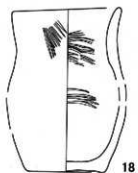
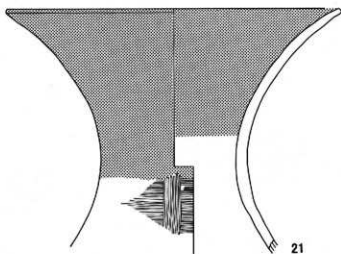
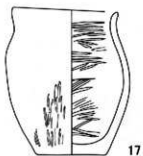
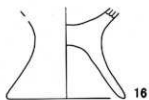
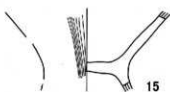
第86图 第59号住居址出土遗物实测图(3)



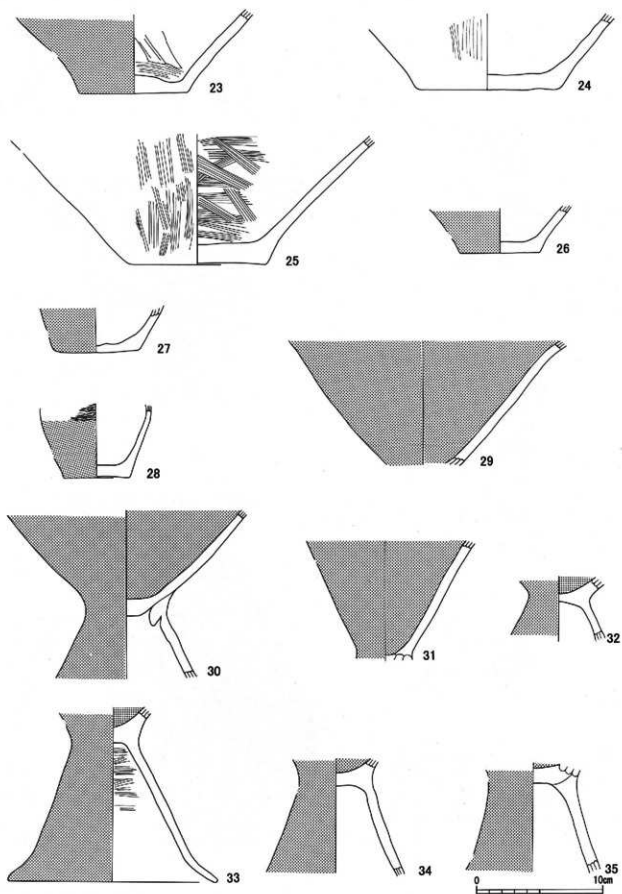
第87图 第60号住居址出土遗物实测图



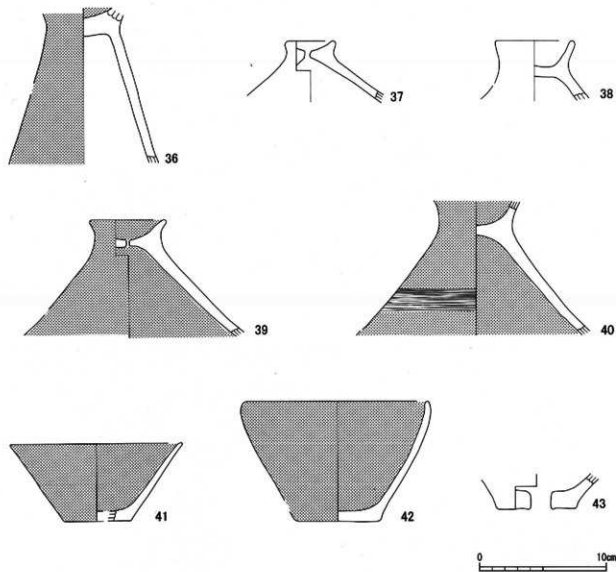
第88图 第61号住居址出土遗物实测图(1)



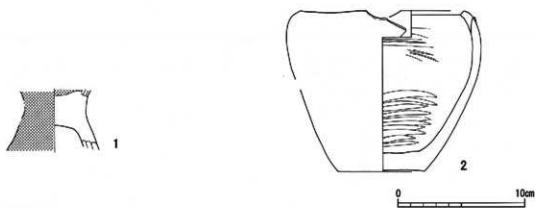
第89圖 第61号住居址出土遺物実測圖(2)



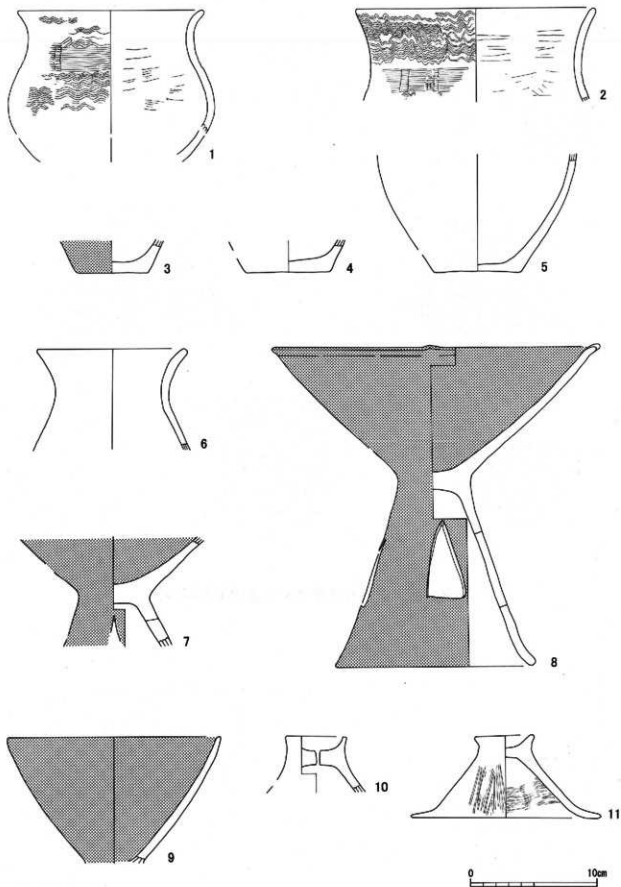
第90图 第61号住居址出土遺物实测图(3)



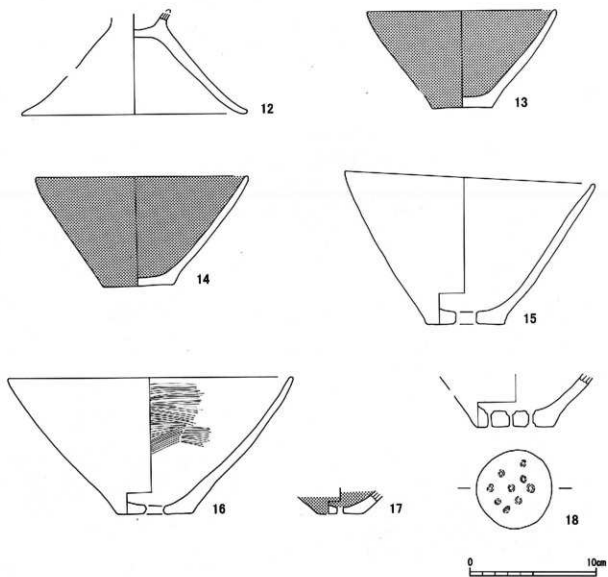
第91图 第61号住居址出土遺物实测图(4)



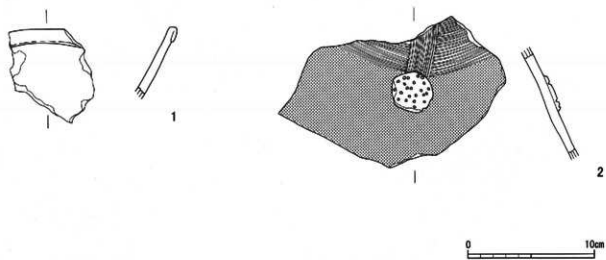
第92图 第65号住居址出土遺物实测图



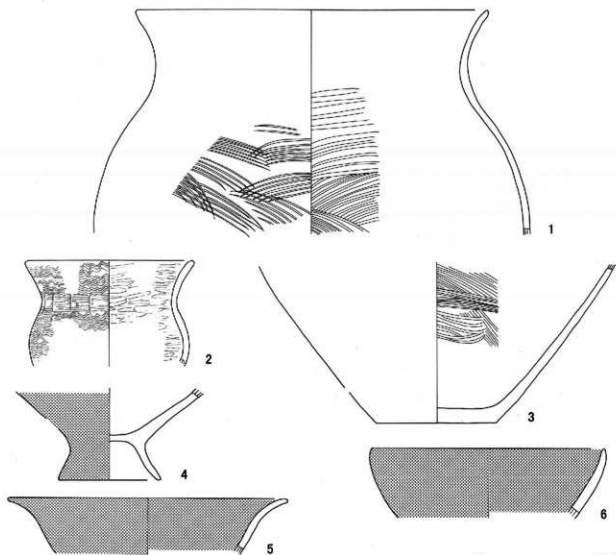
第93圖 第66号住居址出土遺物実測圖(1)



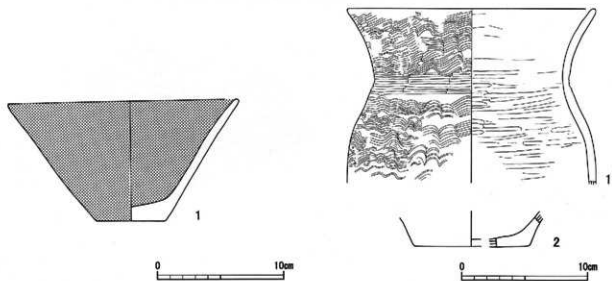
第94图 第66号住居址出土遺物実測図(2)



第95图 第68号住居址出土遺物実測図

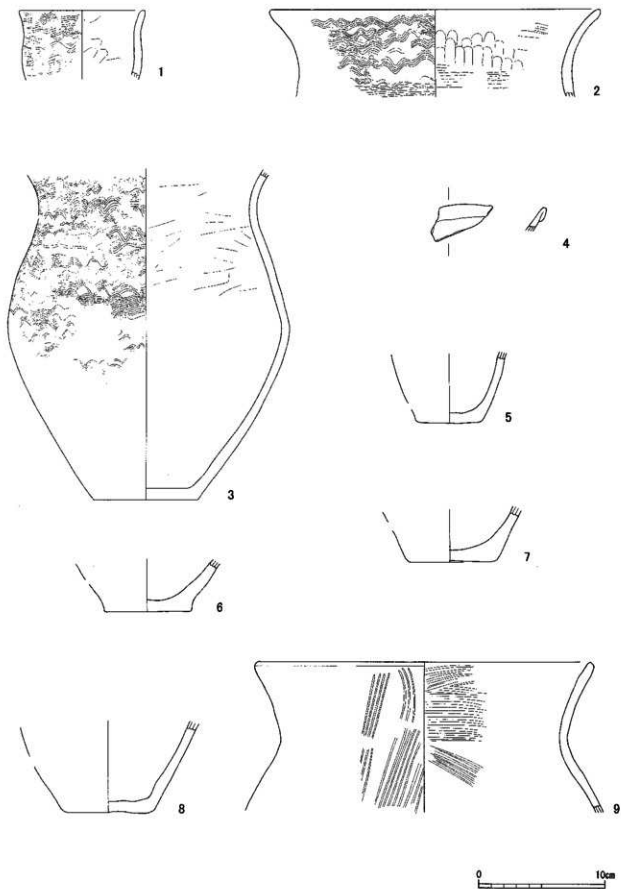


第96图 第69号住居址出土遺物実測図

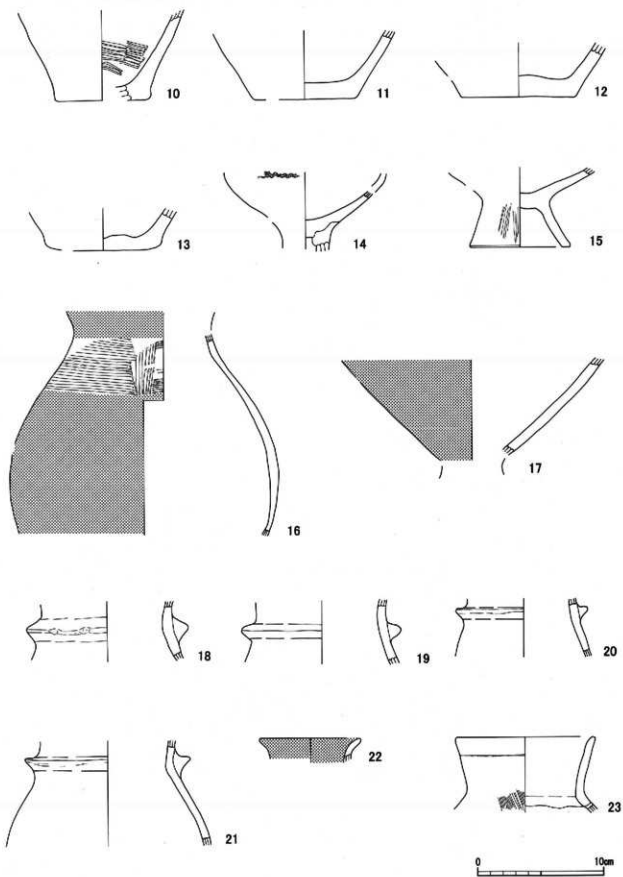


第97图 第70号住居址出土遺物実測図

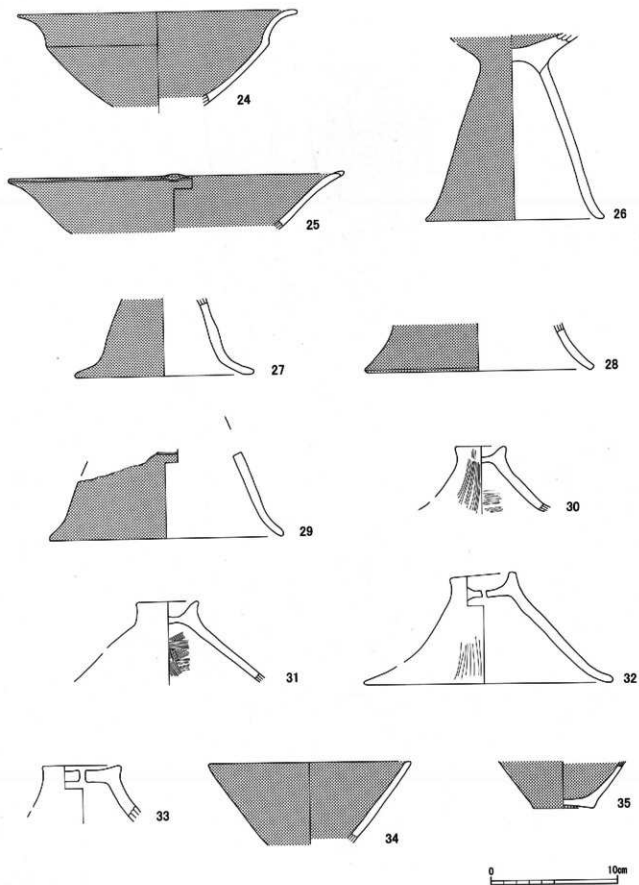
第98图 第71号住居址出土遺物実測図



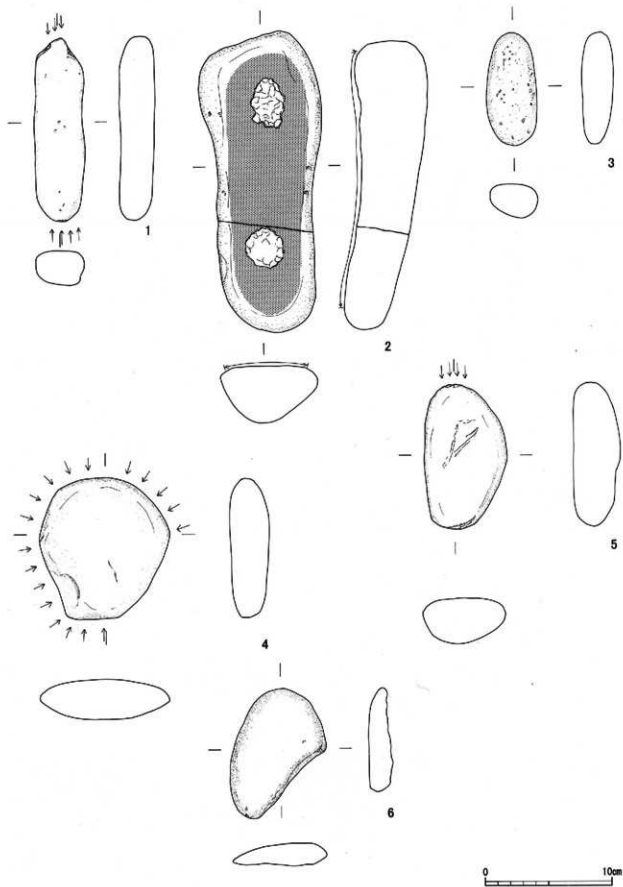
第99図 遺構外出土遺物実測図(1)



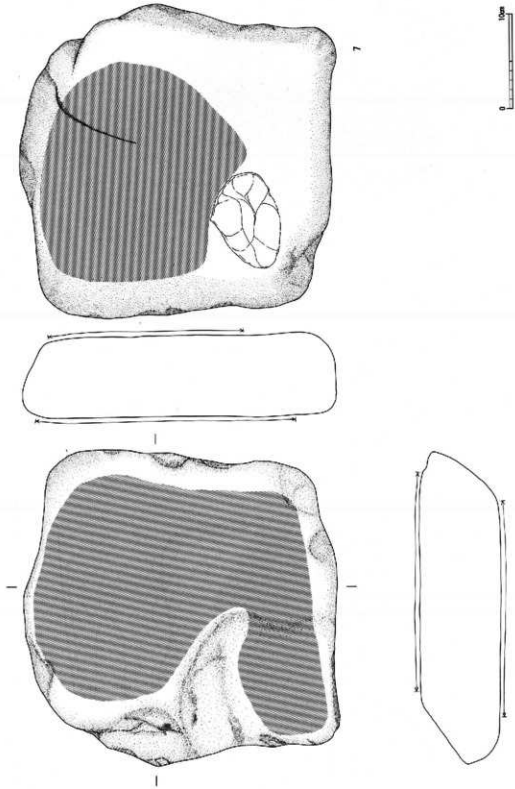
第100圖 遺構外出土遺物実測図(2)



第101図 遺構外出土遺物実測図(3)

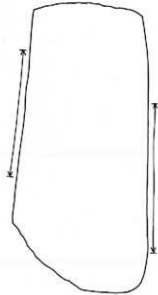
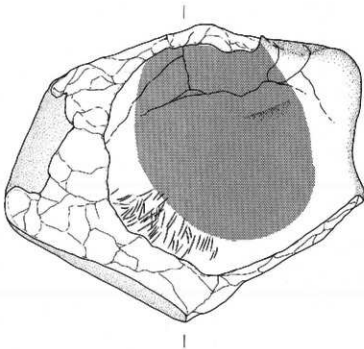
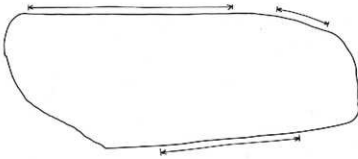
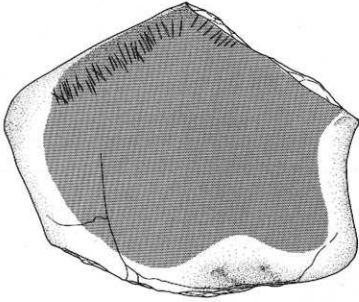


第103图 石器实测图(1)

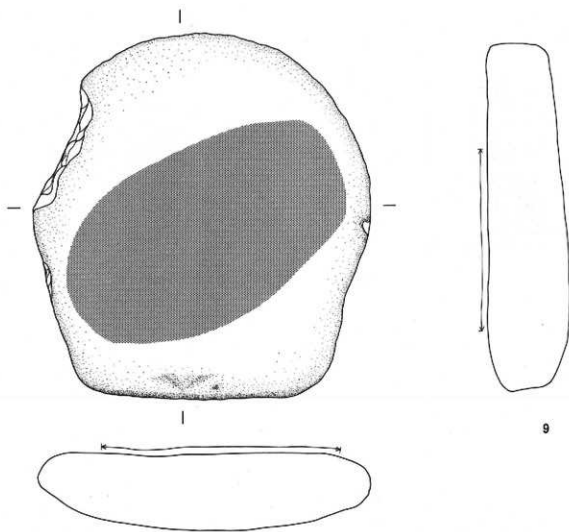


第104図 石器実測図(2)

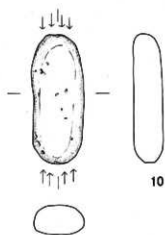
8



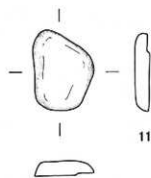
第105図 石器実測図(3)



9



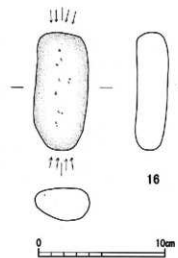
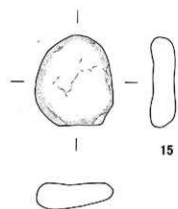
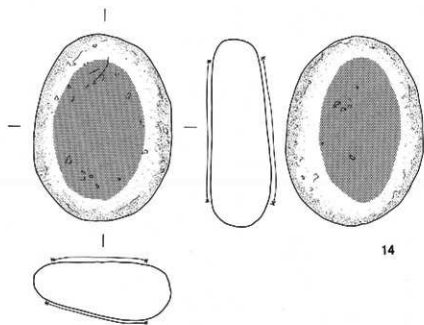
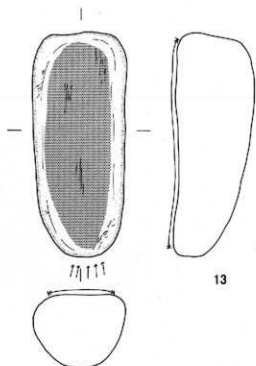
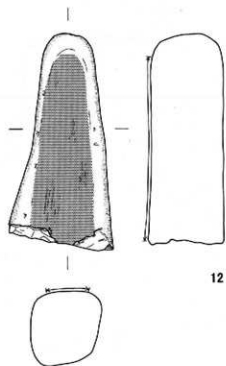
10



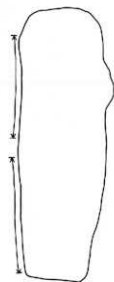
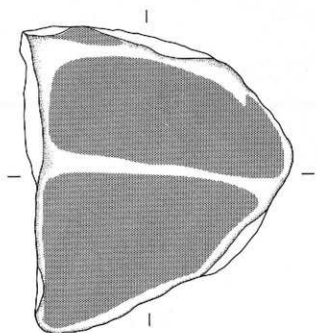
11



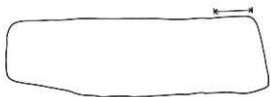
第106图 石器实测图(4)



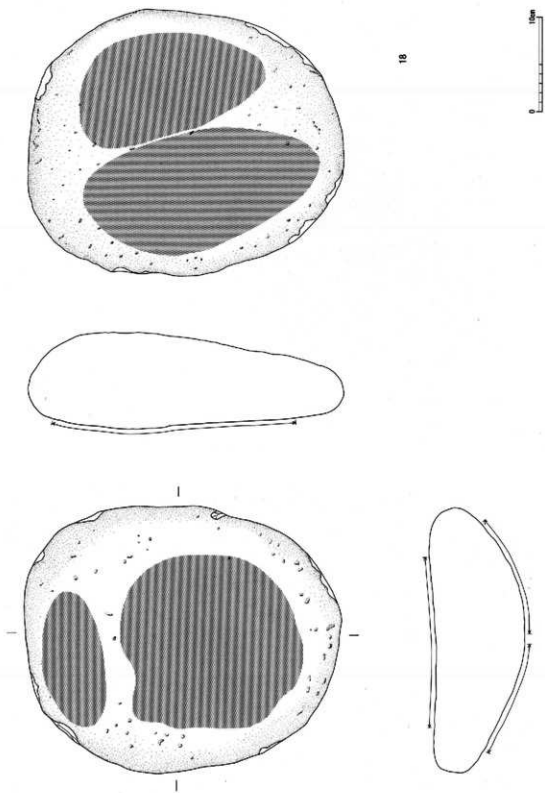
第107图 石器实测图(5)



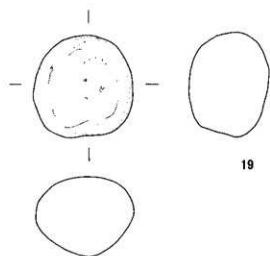
17



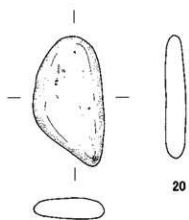
第108図 石器実測図(6)



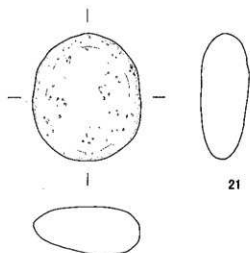
第109図 石器実測図(7)



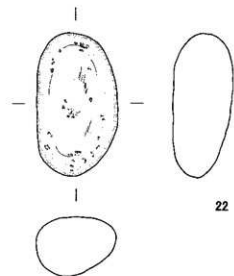
19



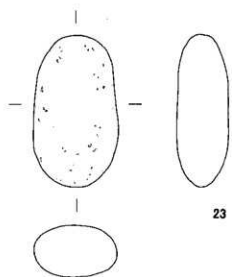
20



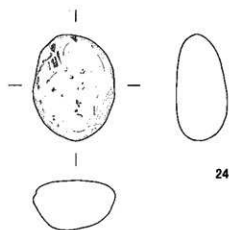
21



22



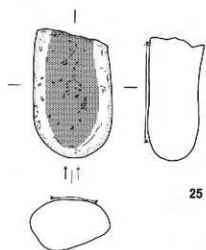
23



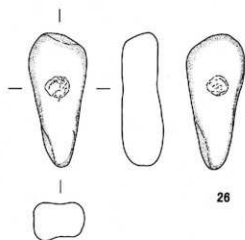
24



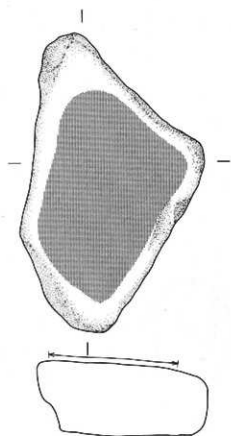
第110图 石器实测图(8)



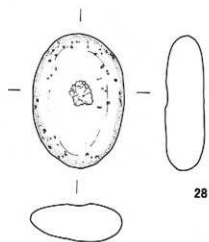
25



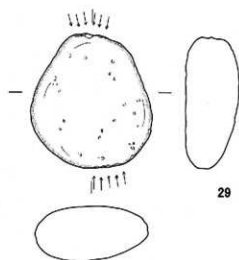
26



27



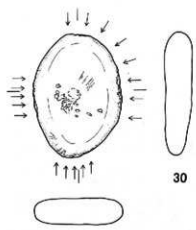
28



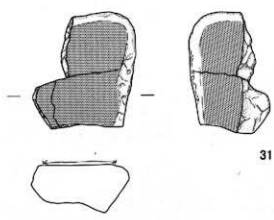
29



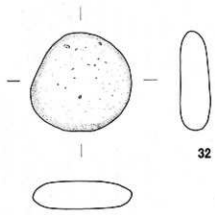
第111图 石器实测图(9)



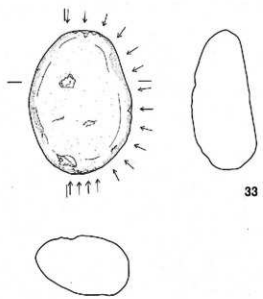
30



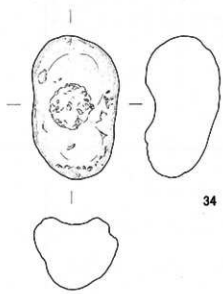
31



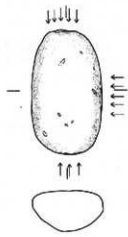
32



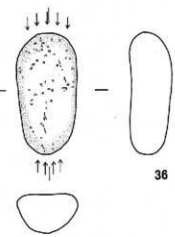
33



34



35



36



第112图 石器夹测图(10)

選種番号	商品番号	胡 羅	口径	強高	底径	鳴 存	色	調	胎 土	焼成	外面調整・施文	内 面 調 整	備 考
SB-42	1	変	11.8	(3.8)	1/4	外：5YR4/4緑赤褐色 内：5YR4/1暗灰色	外：5YR4/4緑赤褐色 内：5YR4/1暗灰色	石炭・重母・粗砂粒	良好	波状文・黒状文	黒へう磨き		
SB-42	2	変	12.6	(6.8)	1/2	外：7YR3/2黒褐色 内：7YR4/3褐色	外：7YR3/2黒褐色 内：7YR4/3褐色	石炭・重母・粗砂粒	良好	波状文・黒状文	黒へう磨き		
SB-42	3	変	12.0	(9.5)	1/3	外：10YR4/2灰黄褐色 内：10YR5/4緑い黄褐色	外：10YR4/2灰黄褐色 内：10YR5/4緑い黄褐色	石炭・重母・粗砂粒	良好	波状文・黒状文	黒へう磨き		
SB-42	4	変	16.5	(4.0)	口縁部1/5	外：内：5YR5/6明赤褐色	外：内：5YR5/6明赤褐色	石炭・重母・粗砂粒	良好	波状文	黒へう磨き		
SB-42	5	変	(5.0)	7.0	1/4	外：10YR5/3緑い黄褐色 内：7.5YR6/4緑い褐色	外：10YR5/3緑い黄褐色 内：7.5YR6/4緑い褐色	石炭・重母・粗砂粒	良好	波へう磨き	黒へう磨き		
SB-42	6	変	(6.8)	6.4	1/6	外：5YR4/6赤褐色 内：5YR5/4緑い赤褐色	外：5YR4/6赤褐色 内：5YR5/4緑い赤褐色	石炭・重母・粗砂粒	良好	波へう磨き	黒へう磨き		
SB-42	7	変	(9.3)	7.2	1/6	外：2.5YR5/4緑い赤褐色 内：2.5YR5/3緑い赤褐色	外：2.5YR5/4緑い赤褐色 内：2.5YR5/3緑い赤褐色	石炭・重母・粗砂粒	良好	波へう磨き	黒へう磨き		
SB-42	8	変	(4.8)	8.5	底部のみ	外：5YR5/4緑い赤褐色 内：5YR4/6赤褐色	外：5YR5/4緑い赤褐色 内：5YR4/6赤褐色	石炭・重母・粗砂粒	良好	波へう磨き	黒へう磨き		
SB-42	9	変	(5.5)	10.5	底部1/3	外：7.5YR5/4緑い褐色 内：7.5YR5/2黒褐色	外：7.5YR5/4緑い褐色 内：7.5YR5/2黒褐色	石炭・重母・粗砂粒	良好	斜・波刷毛調整	黒へう磨き		
SB-42	10	変	23.2	(9.0)	口縁部のみ	外：7.5YR6/6暗褐色 内：7.5YR5/4緑い褐色	外：7.5YR6/6暗褐色 内：7.5YR5/4緑い褐色	石炭・重母・粗砂粒	良好	波刷毛調整	黒へう磨き		
SB-42	11	鉢	12.8	(5.2)	口縁部1/4	外：内：10R4/5赤色	外：内：10R4/5赤色	重母・粗砂粒	良好	黒磨き	黒へう磨き		
SB-42	12	高坏	11.6	(11.6)	胴部1/3	外：2.5YR3/4暗赤褐色 内：5YR2/1黒褐色	外：2.5YR3/4暗赤褐色 内：5YR2/1黒褐色	重母・粗砂粒	良好	波状文	黒へう磨き		
SB-42	13	皿	5.2	(4.5)	抓み部のみ	外：N3/ 暗灰色 内：7.5YR5/4緑い褐色	外：N3/ 暗灰色 内：7.5YR5/4緑い褐色	石炭・重母・粗砂粒	良好	波へう磨き	黒へう磨き		
SB-42	14	蓋	4.8	(3.8)	抓み部1/6	外：10YR6/4緑い黄褐色 内：10YR5/3緑い黄褐色	外：10YR6/4緑い黄褐色 内：10YR5/3緑い黄褐色	石炭・重母・粗砂粒	良好	波へう磨き	黒へう磨き		
SB-42	15	片口鉢	(2.5)	(2.5)	口縁部1/8	外：内：5YR4/6赤褐色	外：内：5YR4/6赤褐色	重母・粗砂粒	良好	黒磨き	黒へう磨き		
SB-43	1	変	26.0	(6.1)	口縁部1/8	外：7.5YR5/6暗褐色 内：5YR5/6明赤褐色	外：7.5YR5/6暗褐色 内：5YR5/6明赤褐色	重母・粗砂粒	良好	黒磨き	黒へう磨き		
SB-43	2	変	22.2	(6.3)	口縁部1/8	外：7.5YR4/3褐色 内：7.5YR5/4緑い褐色	外：7.5YR4/3褐色 内：7.5YR5/4緑い褐色	重母・粗砂粒	良好	波状文・黒状文	黒へう磨き		
SB-43	3	変	25.6	(7.5)	口縁部1/8	外：7.5YR5/4緑い褐色 内：7.5YR5/6明褐色	外：7.5YR5/4緑い褐色 内：7.5YR5/6明褐色	重母・粗砂粒	良好	波状文	黒へう磨き		
SB-43	4	変	(5.0)	6.0	底部のみ	外：N4/ 灰色 内：10YR3/2黒褐色	外：N4/ 灰色 内：10YR3/2黒褐色	重母・粗砂粒	良好	黒磨き	黒へう磨き		
SB-43	5	変	(3.8)	6.0	底部のみ	外：内：5YR4/6赤褐色	外：内：5YR4/6赤褐色	重母・粗砂粒	良好	黒磨き	黒へう磨き		
SB-43	6	変	(6.2)	7.4	底部のみ	外：5YR4/6赤褐色 内：7.5YR3/2黒褐色	外：5YR4/6赤褐色 内：7.5YR3/2黒褐色	重母・粗砂粒	良好	黒磨き	黒へう磨き		
SB-43	7	変	(5.3)	8.7	底部のみ	外：5YR4/6赤褐色 内：5YR4/3赤褐色	外：5YR4/6赤褐色 内：5YR4/3赤褐色	重母・粗砂粒	良好	波へう磨き	黒へう磨き		
SB-43	8	変	(3.1)	8.3	底部のみ	外：7.5YR4/4褐色 内：5YR5/6明赤褐色	外：7.5YR4/4褐色 内：5YR5/6明赤褐色	重母・粗砂粒	良好	波へう磨き	黒へう磨き		
SB-43	9	変	(3.4)	(3.4)	胴部1/6	外：内：5YR5/6明赤褐色	外：内：5YR5/6明赤褐色	石炭・重母・粗砂粒	良好	波へう磨き	黒へう磨き		
SB-43	10	変	(3.4)	(3.4)	胴部1/3	外：内：5YR5/6明赤褐色	外：内：5YR5/6明赤褐色	石炭・重母・粗砂粒	良好	波へう磨き	黒へう磨き		
SB-43	11	変	(3.1)	(3.1)	一部	外：内：5YR5/6明赤褐色	外：内：5YR5/6明赤褐色	重母・粗砂粒	良好	黒磨き	黒へう磨き		
SB-43	12	変	(12.3)	17.6	1/8	外：内：10R4/5赤色	外：内：10R4/5赤色	重母・粗砂粒	良好	黒磨き	黒へう磨き		
SB-43	13	深鉢	13.0	(6.8)	1/8	外：内：10R4/5赤色	外：内：10R4/5赤色	重母・粗砂粒	良好	黒磨き	黒へう磨き		
SB-43	14	高坏	14.0	(9.0)	坏部1/4	外：内：10R4/5赤色	外：内：10R4/5赤色	重母・粗砂粒	良好	黒磨き	黒へう磨き		
SB-43	15	皿	12.3	7.1	5.3	外：5YR5/6明赤褐色 内：2.5YR5/6明赤褐色	外：5YR5/6明赤褐色 内：2.5YR5/6明赤褐色	石炭・重母・粗砂粒	良好	波状文・黒状文	黒へう磨き		
SB-44	1	変	18.5	(15.5)	1/2	外：7.5YR5/4緑い褐色 内：5YR6/6暗褐色	外：7.5YR5/4緑い褐色 内：5YR6/6暗褐色	石炭・重母・粗砂粒	良好	波状文・黒状文	黒へう磨き		
SB-44	2	変	20.0	(18.0)	1/5	外：7.5YR4/3 褐色 内：5YR5/6明赤褐色	外：7.5YR4/3 褐色 内：5YR5/6明赤褐色	石炭・重母・粗砂粒	良好	波状文・へう磨き	刷毛調整・へう磨き P03		
SB-44	3	変	(15.8)	(15.8)	1/3	外：5YR5/2灰褐色 内：5YR5/1暗灰色	外：5YR5/2灰褐色 内：5YR5/1暗灰色	石炭・重母・粗砂粒	良好	波状文・へう磨き	刷毛調整・へう磨き P02		
SB-44	4	変	(3.0)	(3.0)	底部のみ	外：内：5YR5/6明赤褐色	外：内：5YR5/6明赤褐色	石炭・重母・粗砂粒	良好	黒磨き	黒へう磨き		
SB-44	5	台付鉢	(5.1)	8.8	胴部1/4	外：10YR5/4緑い黄褐色 内：5YR4/6赤褐色	外：10YR5/4緑い黄褐色 内：5YR4/6赤褐色	石炭・重母・粗砂粒	良好	黒磨き	黒へう磨き		
SB-44	6	変	(4.8)	(4.8)	胴部1/7	外：5YR6/6暗褐色 内：5YR5/6明赤褐色	外：5YR6/6暗褐色 内：5YR5/6明赤褐色	石炭・重母・粗砂粒	良好	黒磨き	黒へう磨き		
SB-44	7	変	(13.9)	(13.9)	1/7	外：5YR6/6暗褐色 内：7.5YR6/4緑い褐色	外：5YR6/6暗褐色 内：7.5YR6/4緑い褐色	石炭・重母・粗砂粒	良好	波へう磨き	刷毛調整		

第5表 土器観察表(1)

選給番号	機台番号	器種	口径	器高	底径	奥容	色	調	胎土	焼成	外面調整・施文	内面調整	備考
SB-44	8	壺	(9.2)	7.0	1/6	外：5.5TB5/4焼い赤褐色 内：5.5TB7/2明褐色			石英・雲母・粗砂粒含	良好	撫で	撫で	
SB-44	9	壺	(5.1)	11.4	底部2/3	外・内：5.5TB6/6褐色			石英・雲母・粗砂粒含	良好	撫で	撫で	P04
SB-44	10	高坏	18.0	17.0	1/4	外・内：2.5TB4/4焼い褐色 内：2.5TB5/4焼い褐色			石英・雲母・粗砂粒含	良好	撫で	撫で	P01
SB-44	11	壺	(33.0)	11.9	1/4	外：2.5TB5/4焼い褐色 内：2.5TB4/4赤褐色			石英・雲母・粗砂粒含	良好	撫で	撫で	
SB-44	12	高坏	27.5	(23.4)		外：2.5TB5/6明赤褐色 内：10TB5/3焼い黄褐色			石英・雲母・粗砂粒含	良好	波状文・敷状文	撫で	
SB-45	1	壺	10.0	(5.4)		外：7.5TB5/2黒褐色 内：7.5TB4/2赤褐色			雲母・粗砂粒含	良好	波状文・敷状文	撫で	
SB-45	2	壺	13.6	4.5	4/5	外：7.5TB3/2黒褐色 内：7.5TB5/4焼い褐色			石英・雲母・粗砂粒含	良好	波状文・敷状文	撫で	
SB-45	3	壺	9.3	(11.0)		外：7.5TB3/2黒褐色 内：7.5TB4/4赤褐色			石英・雲母・粗砂粒含	良好	波状文・敷状文	撫で	P01
SB-45	4	壺	13.8	(6.2)		口縁部1/6 外：5TB5/6明赤褐色 内：5TB4/6赤褐色			石英・雲母・粗砂粒含	良好	波状文・敷状文	撫で	
SB-45	5	壺	15.8	19.0	6.3 4/5	外：5TB4/4焼い赤褐色 内：5TB5/6明赤褐色			石英・雲母・粗砂粒含	良好	波状文・敷状文	撫で	
SB-45	6	壺	23.0	(11.5)		口縁部1/4 外・内：5TB5/6明赤褐色			石英・雲母・粗砂粒含	良好	波状文・敷状文	撫で	
SB-45	7	壺	24.6	(7.6)		口縁部1/6 外・内：5TB5/6明赤褐色 内：5TB5/6明赤褐色			石英・雲母・粗砂粒含	良好	波状文・敷状文	撫で	
SB-45	8	壺	26.2	(9.3)		口縁部1/4 外・内：5TB5/6明赤褐色			石英・雲母・粗砂粒含	良好	波状文・敷状文	撫で	
SB-45	9	壺	(7.2)			一部 外・内：7.5TB5/6褐色			石英・粗砂粒含	良好	刷毛調塗		
SB-45	10	壺	(6.0)	7.2	底部1/2	外：5TB3/6明赤褐色 内：7.5TB3/2黒褐色			石英・粗砂粒含	良好	刷毛調塗		
SB-45	11	壺	(3.7)	8.0	底部のみ	外：5TB4/4焼い赤褐色 内：5TB4/6赤褐色			石英・雲母・粗砂粒含	良好	へら磨き	へら磨き	
SB-45	12	壺	(3.8)	9.2	底部2/3	外：5TB5/6明赤褐色 内：7.5TB4/6褐色			石英・粗砂粒含	良好	へら磨き	へら磨き	
SB-45	13	台付壺	(5.4)	11.4	脚台部1/4	外：5TB4/6赤褐色 内：7.5TB4/6褐色			雲母・粗砂粒含	良好	撫で	撫で	
SB-45	14	台付壺	(4.6)	8.4	脚台部のみ	外・内：7.5TB5/6明褐色			石英・雲母・粗砂粒含	良好	撫で	撫で	
SB-45	15	壺	29.2	(10.5)		口縁部1/3 外・内：5TB5/6明赤褐色			石英・雲母・粗砂粒含	良好	へら磨き	へら磨き	
SB-45	16	壺	20.3	(8.3)		口縁部1/3 外・内：5TB5/6明赤褐色			粗砂粒含	良好	T字文・へら磨き	撫で	P02
SB-45	17	壺	(18.4)		1/2	外・内：5TB5/6明赤褐色			石英・粗砂粒含	良好	へら磨き	へら磨き	
SB-45	18	壺	(6.5)	10.5	底部のみ	外：5TB5/6明赤褐色 内：7.5TB5/6明褐色			雲母・粗砂粒含	良好	へら磨き	へら磨き	
SB-45	19	壺	(4.0)	11.2	底部のみ	外・内：5TB5/6明赤褐色			石英・雲母・粗砂粒含	良好	へら磨き	へら磨き	
SB-45	20	高坏	21.2	(7.6)	杯部1/4	外・内：10B4/6赤色			石英・粗砂粒含	良好	へら磨き	へら磨き	
SB-45	21	高坏	(8.0)	8.6	脚部2/3	外：2.5TB4/6赤褐色 内：5TB5/6明赤褐色			石英・粗砂粒含	良好	へら磨き	へら磨き	
SB-45	22	高坏	(8.3)	9.8	脚部2/3	外：2.5TB4/6赤褐色 内：2.5TB5/6明赤褐色			雲母・粗砂粒含	良好	へら磨き	へら磨き	
SB-45	23	蓋	4.8	(6.2)		外・内：5TB4/6赤褐色			石英・粗砂粒含	良好	へら磨き	へら磨き	
SB-45	24	鉢	13.4	(5.5)		口縁部1/4 外・内：7.5TB5/4焼い褐色			雲母・粗砂粒含	良好	刷毛調塗	撫で	
SB-45	25	鉢	13.3	6.3	5.7 1/4	外：2.5TB4/4焼い赤褐色 内：2.5TB2/5暗赤褐色			雲母・粗砂粒含	良好	へら磨き	へら磨き	
SB-45	26	鉢	14.4	3.7		外・内：2.5TB4/4焼い褐色 内：7.5TB5/6明赤褐色			石英・雲母・粗砂粒含	良好	へら磨き	へら磨き	
SB-46	1	壺	14.0	15.0	5.0 1/2	外：7.5TB5/6明褐色 内：7.5TB5/2灰褐色			石英・雲母・粗砂粒含	良好	波状文	撫で	
SB-46	2	壺	(20.0)	9.6 1/3		口縁部1/5 外・内：2.5TB4/4焼い赤褐色			雲母・粗砂粒含	良好	波状文	撫で	
SB-46	3	壺	20.0	(11.3)		口縁部1/2 外：7.5TB5/6明赤褐色 内：5TB4/3褐色			石英・雲母・粗砂粒含	良好	波状文	撫で	
SB-46	4	壺	(16.9)		1/6	外：5TB5/6明赤褐色 内：5TB4/3焼い赤褐色			石英・雲母・粗砂粒含	良好	波状文	撫で	
SB-46	5	壺	22.4	(8.0)		外：7.5TB4/4褐色 内：5TB5/6明赤褐色			石英・雲母・粗砂粒含	良好	波状文	撫で	
SB-46	6	壺	(3.0)	8.0	底部のみ	外・内：5TB5/6明赤褐色			石英・雲母・粗砂粒含	良好	へら磨き	へら磨き	

第6表 土器観察表(2)

測器番号	呼称	口径	器高	底径	残存	色	調	胎土	焼成外面調整・施文	内面調整	備考
SB-46	7 壺	(3.3)	6.5	底部のみ	外・内：5TR3/1黒褐色	外・内：5TR4/6赤褐色	石黄・磁砂粒含	良好	へう磨き	へう磨り	
SB-46	8 壺	(10.0)	8.0	底部1/5	外：5TR4/4緑い赤褐色	内：5TR4/6赤褐色	石黄・磁砂粒含	良好	へう磨き	へう磨き	
SB-46	9 壺	(11.7)	8.0	底部のみ	外・内：5TR4/6赤褐色		石黄・磁砂粒含	良好	へう磨き	へう磨き	
SB-46	10 壺	25.4	(32.6)	1/2	外：5TR5/6明赤褐色	内：5TR4/6赤褐色	石黄・重母・磁砂粒含	良好	T字文・へう磨き	へう磨き・撫で	
SB-46	11 壺	27.7	(34.8)	1/2	外・内：5TR5/6明赤褐色		石黄・重母・磁砂粒含	良好	T字文・へう磨き	へう磨き・撫で	
SB-46	12 壺	24.8	(3.3)	口縁部1/6	外・内：2.5TR4/6赤褐色		石黄・重母・磁砂粒含	良好	へう磨き	へう磨き	
SB-46	13 壺	26.8	(11.0)	口縁部1/3	外：5TR5/6明赤褐色	内：5TR4/6赤褐色	重母・磁砂粒含	良好	刷毛調整	刷毛調整	
SB-46	14 壺	14.6	(18.7)	4/5	外・内：5TR5/6明赤褐色		重母・磁砂粒含	良好	へう磨き	へう磨き	
SB-46	15 壺	(5.2)		一部							
SB-46	16 壺	(5.5)	6.7	底部のみ	外：5TR5/6明赤褐色	内：10TR6/2灰黄褐色	重母・磁砂粒含	良好	へう磨き	刷毛調整	
SB-46	17 深鉢	14.0	16.4	5.8	ほぼ先存	外・内：2.5TR4/6赤褐色	石黄・重母・磁砂粒含	良好	へう磨き	へう磨き・撫で	P02
SB-46	18 高坏	21.8	(2.2)	口縁部1/6	外・内：2.5TR3/6赤褐色		石黄・重母・磁砂粒含	良好	へう磨き	へう磨き	
SB-46	19 台付壺	(4.0)	6.0	脚台部のみ	外：5TR5/4緑い赤褐色	内：10TR7/1黒褐色	重母・磁砂粒含	良好	撫で	へう磨り	
SB-46	20 台付壺	(4.5)	6.7	脚台部1/2	外：2.5TR5/6明赤褐色	内：10TR6/4緑い黄褐色	重母・磁砂粒含	良好	撫で	撫で	
SB-46	21 台付壺	(4.1)	7.4	脚台部1/2	外・内：5TR5/6明赤褐色		重母・磁砂粒含	良好	撫で	へう磨り	
SB-46	22 壺	3.8	(4.8)	1/2	外・内：5TR5/6明赤褐色		重母・磁砂粒含	良好	刷毛調整	刷毛調整	P01
SB-46	23 鉢	23.4	(9.0)	口縁部1/5	外：5TR5/4緑い赤褐色	内：5TR4/6赤褐色	重母・磁砂粒含	良好	へう磨き	へう磨き	
SB-46	24 鉢	23.6	(5.7)	口縁部1/5	外・内：2.5TR4/6赤褐色		石黄・重母・磁砂粒含	良好	へう磨き	へう磨き	
SB-47	1 壺	11.8	12.2	5.0	1/2	外：5TR3/3赤褐色	内：5TR3/1黒褐色	石黄・重母・磁砂粒含	良好	へう磨き	
SB-47	2 壺	15.5	(8.7)	口縁部1/3	外・内：5TR4/3赤褐色		石黄・重母・磁砂粒含	良好	波状文・磨状文	撫で	
SB-47	3 壺	20.8	(5.0)	口縁部1/5	外・内：5TR5/4緑い赤褐色		石黄・重母・磁砂粒含	良好	波状文・磨状文	へう磨き・撫で	
SB-47	4 壺	15.6	(4.1)	口縁部1/6	外・内：5TR4/1黒褐色	内：7.5TR5/3緑い褐色	石黄・重母・磁砂粒含	良好	波状文	撫で	
SB-47	5 壺	27.0	(6.5)	口縁部1/7	外・内：10TR5/2灰黄褐色		石黄・重母・磁砂粒含	良好	波状文	撫へう磨き	
SB-47	6 壺	(2.7)	6.9	底部1/2	外：10TR5/3緑い黄褐色	内：10TR6/2灰黄褐色	重母・磁砂粒含	良好	波状文	撫へう磨き	
SB-47	7 壺	(3.2)	7.2	底部1/2	外：7.5TR5/4緑い赤褐色	内：7.5TR6/2灰黄褐色	石黄・重母・磁砂粒含	良好	へう磨き	刷毛調整	
SB-47	8 壺	14.3	(10.5)	1/2	外：7.5TR5/4緑い赤褐色	内：7.5TR5/4緑い褐色	石黄・重母・磁砂粒含	良好	へう磨き	へう磨き	
SB-47	9 壺	(22.0)	9.6	胴部先存	外・内：5TR5/4緑い赤褐色		石黄・重母・磁砂粒含	良好	へう磨き	へう磨き	P01
SB-47	10 壺	(7.0)	3.4	器部先存	外・内：5TR5/6明赤褐色		石黄・重母・磁砂粒含	良好	T字文・へう磨き	撫で	
SB-47	11 深鉢	17.4	(4.8)	口縁部1/6	外・内：2.5TR5/6明赤褐色		石黄・重母・磁砂粒含	良好	へう磨き	へう磨き	
SB-47	12 高坏	(3.8)		接合部のみ	外：10TR4/4赤褐色	内：2.5TR5/4緑い赤褐色	石黄・重母・磁砂粒含	良好	へう磨き	へう磨き	
SB-47	13 高坏	13.5	(11.8)	2/3	外・内：10TR3/4赤褐色		石黄・重母・磁砂粒含	良好	撫へう磨き	へう磨き	
SB-47	14 鉢	15.6	7.6	3.8	1/2	外・内：5TR5/4緑い赤褐色		石黄・重母・磁砂粒含	良好	撫で	
SB-47	15 鉢	17.0	7.6	5.2	1/4	外：5TR4/4緑い赤褐色	内：5TR5/4緑い赤褐色	石黄・重母・磁砂粒含	良好	刷毛調整・撫で	
SB-47	16 皿	(5.3)	6.7	底部のみ	外・内：5TR5/4緑い赤褐色		石黄・重母・磁砂粒含	良好	波状文・磨状文	撫へう磨き	
SB-48	1 壺	14.1	(8.8)	口縁部1/4	外：5TR4/4緑い赤褐色	内：7.5TR3/2黒褐色	重母・磁砂粒含	良好	波状文・磨状文	へう磨り	
SB-48	2 壺	20.0	(10.3)	口縁部1/5	外：5TR5/6明赤褐色	内：5TR5/4緑い赤褐色	石黄・重母・磁砂粒含	良好	波状文	刷毛調整	
SB-48	3 壺	20.6	17.0	脚部1/3	外・内：5TR5/6明赤褐色		石黄・重母・磁砂粒含	良好	波状文	刷毛調整・撫で	

第7表 土器観察表(3)

機番 機番	機番	口径	砲高	底径	残存	色	調	動	土	機底	外面	砲蓋	内面	調整	備
S3-48	4	砲	(2.3)	5.6	底部2/3	外・内: 5TB4/6赤褐色		霏母・粗砂粒	良好	へう磨き	へう磨き				
S3-48	5	砲	(3.1)	6.7	底部のみ	外・内: 7.5TB5/6明褐色		霏母・粗砂粒	良好	へう磨き	へう磨き				
S3-48	6	砲	(5.6)	7.0	底部のみ	外・内: 5TB5/6明褐色		石英・霏母・粗砂粒	良好	へう磨き	へう磨き				
S3-48	7	砲	(7.2)	6.0	底部のみ	外・内: 2.5TB4/6赤褐色	内: 7.5TB5/4黒い褐色	金雲母・粗砂粒	良好	へう磨き	へう磨き				
S3-48	8	砲	(3.0)	9.8	底部1/2	外・内: 7.5TB5/6明褐色	内: 7.5TB6/6褐色	金雲母・粗砂粒	良好	へう磨き	へう磨き				
S3-48	9	台付砲	(4.1)	5.8	脚台部のみ	外・内: 5TB4/6赤褐色	内: 5TB4/4黒い赤褐色	金雲母・粗砂粒	良好	へう磨き	へう磨き				
S3-48	10	砲	(5.6)	8.2	底部のみ	外・内: 5TB5/6明褐色	内: 7.5TB6/4黒い褐色	金雲母・粗砂粒	良好	へう磨き	へう磨き				
S3-48	11	砲	22.2	(8.0)	底部のみ	外・内: 2.5TB4/6赤褐色		石英・霏母・粗砂粒	良好	へう磨き	へう磨き				
S3-48	12	高砲	5.7	(5.9)	弾頭のみ	外・内: 5TB5/6明褐色	内: 5TB4/6赤褐色	石英・霏母・粗砂粒	良好	へう磨き	へう磨き				
S3-48	13	砲	5.8	(2.5)	弾頭のみ	外・内: 10B4/6赤色		霏母・粗砂粒	良好	へう磨き	へう磨き				
S3-48	14	砲	15.4	(5.8)	弾頭部1/2	外・内: 2.5TB3/6明赤褐色	内: 2.5TB4/6赤褐色	金雲母・粗砂粒	良好	へう磨き	へう磨き				
S3-48	15	銃	17.0	10.2	6.2	1/4	外・内: 2.5TB4/6赤褐色		石英・霏母・粗砂粒	良好	へう磨き				
S3-48	17	砲	17.4	10.0	5.0	3/4	外・内: 5TB4/6赤褐色		石英・霏母・粗砂粒	良好	へう磨き				
S3-48	18	砲	(8.5)	4.7	底部のみ	外・内: 5TB4/6赤褐色		石英・霏母・粗砂粒	良好	へう磨き	へう磨き				
S3-49	1	砲	14.1	(8.6)	口径部1/4	外・内: 7.5TB5/3黒い赤褐色	内: 5TB5/4黒い褐色	石英・霏母・粗砂粒	良好	へう磨き	へう磨き				
S3-49	2	砲	31.4	(5.0)	口径部一部	外・内: 7.5TB6/6褐色	内: 5TB5/6明褐色	石英・霏母・粗砂粒	良好	へう磨き	へう磨き				
S3-49	3	台付砲	(5.8)	9.4	脚台部のみ	外・内: 5TB4/6赤褐色		霏母・粗砂粒	良好	へう磨き	へう磨き				
S3-49	4	台付砲	(3.3)	3.3	接合部のみ	外・内: 10B4/6赤色		霏母・粗砂粒	良好	遊状文	へう磨き				
S3-49	5	砲	21.8	(14.5)	弾頭のみ	外・内: 10B4/6赤色		霏母・粗砂粒	良好	遊状文	へう磨き				
S3-49	6	砲	(9.5)	9.5	口径部1/5	外・内: 10B4/6赤色		霏母・粗砂粒	良好	へう磨き	へう磨き				
S3-49	7	砲	(3.5)	8.7	底部1/2	外・内: 2.5TB4/6赤褐色	内: 5TB5/6明赤褐色	石英・霏母・粗砂粒	良好	へう磨き	へう磨き				
S3-49	8	銃	11.5	6.1	4.8	2/3	外・内: 10B4/6赤色		石英・霏母・粗砂粒	良好	へう磨き				
S3-49	9	高砲	(8.5)	15.7	弾頭部1/3	外・内: 10B4/6赤色		石英・霏母・粗砂粒	良好	へう磨き	へう磨き				
S3-49	10	高砲	(15.7)	18.5	弾頭部のみ	外・内: 10B4/6赤褐色	内: 5TB5/6明赤褐色	石英・霏母・粗砂粒	良好	へう磨き	へう磨き				
S3-49	11	砲	6.7	(10.2)	弾頭部のみ	外・内: 10B4/6赤色		石英・霏母・粗砂粒	良好	へう磨き	へう磨き				
S3-50	1	砲	13.4	(8.0)	1/8	外・内: 2.5TB4/6赤褐色	内: 10TB5/3黒い黄褐色	霏母・粗砂粒	良好	へう磨き	へう磨き				
S3-50	2	台付砲	(3.9)	6.8	脚台部1/2	外・内: 2.5TB4/6赤褐色	内: 5TB5/6明赤褐色	霏母・粗砂粒	良好	遊状文	へう磨き				
S3-50	3	砲	23.0	(9.2)	口径部1/2	外・内: 10B4/6赤色		霏母・粗砂粒	良好	へう磨き	へう磨き				
S3-50	4	砲	23.4	9.8	弾頭のみ	外・内: 10B4/6赤色		霏母・粗砂粒	良好	T字文・へう磨き	へう磨き				
S3-50	5	砲	(8.7)	5.3	4/5	外・内: 5TB5/6明赤褐色	内: 5TB5/6明赤褐色	金雲母・粗砂粒	良好	T字文・へう磨き	へう磨き				
S3-50	6	砲	(5.7)	8.4	底部1/2	外・内: 2.5TB4/6赤褐色	内: 5TB5/4黒い赤褐色	石英・霏母・粗砂粒	良好	へう磨き	へう磨き				
S3-50	7	砲	(2.3)	6.0	底部のみ	外・内: 10B3/6暗赤色	内: 10B4/6赤色	霏母・粗砂粒	良好	へう磨き	へう磨き				
S3-50	8	高砲	(5.5)	9.3	弾頭部のみ	外・内: 2.5TB4/6赤褐色	内: 10B4/6赤色	石英・霏母・粗砂粒	良好	へう磨き	へう磨き				
S3-50	9	高砲	(5.4)	10.2	弾頭部のみ	外・内: 2.5TB4/6赤褐色	内: 2.5TB4/4黒い赤褐色	石英・霏母・粗砂粒	良好	へう磨き	へう磨き				
S3-50	10	高砲	(5.8)	5.8	接合部のみ	外・内: 2.5TB4/6赤褐色	内: 5TB5/6明赤褐色	石英・霏母・粗砂粒	良好	へう磨き	へう磨き				
S3-50	11	高砲	(8.1)	8.1	弾頭部1/5	外・内: 10B4/6赤色	外: 5TB5/6明赤褐色	石英・霏母・粗砂粒	良好	へう磨き	へう磨き				

第8表 土器観察表(4)

第9表 土器観察表(5)

遺跡番号	検出番号	器種	口径	器高	底径	残存	色	土質	焼成	外面調整	施文	内面調整	備考
SB-50	13	高杯?	(4.0)			杯口部のみ	外・内: 5TE3/1黒褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へう磨き	へう磨き	へう磨き	
SB-50	12	蓋	4.6 (4.7)			杯口部のみ	外: 5TE5/6明赤褐色 内: 5TE3/2暗赤褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へう磨き	へう磨き	へう磨き	
SB-50	14	鉢	16.0 (4.6)			口縁部1/4	外: 10M4/4赤褐色 内: 10M4/5赤色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へう磨き	へう磨き	へう磨き	
SB-50	15	鉢	(6.5)	5.0		底部1/3	外: 5TE5/6明赤褐色 内: 2.5TE5/6明赤褐色	石英・粗砂粒含	良好	へう磨き	へう磨き	へう磨き	
SB-50	16	鉢	22.8 (13.0)	9.6 (5.0)	1/3	口縁部1/4	外・内: 5TE5/6明赤褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へう磨き	へう磨き	へう磨き	
SB-51	1	甕	20.8 (4.6)			口縁部1/4	外: 7.5TE4/2灰褐色 内: 7.5TE5/2灰褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	波状文	波状文	波状文	
SB-51	2	甕	23.0 (4.6)			口縁部1/4	外: 7.5TE4/4焼い褐色 内: 5TE5/4焼い赤褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	波状文	波状文	波状文	
SB-51	3	甕	(19.0)	8.0 (3.4)	1/3	口縁部1/2	外・内: 5TE5/6明赤褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	波へう磨き	波へう磨き	波へう磨き	
SB-51	4	甕	(3.0)	5.0 (7.2)		底部のみ	外: 5TE5/4焼い赤褐色 内: 2.5TE5/6明赤褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	波へう磨き	波へう磨き	波へう磨き	
SB-51	5	甕	(4.0)	7.4 (6.5)		底部のみ	外: 5TE5/4焼い褐色 内: 7.5TE5/6明赤褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	波へう磨き	波へう磨き	波へう磨き	
SB-51	6	甕	(4.0)	7.4 (6.5)		底部のみ	外: 7.5TE5/4焼い褐色 内: 7.5TE5/6明赤褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	波へう磨き	波へう磨き	波へう磨き	
SB-51	7	台付甕	(6.5)	9.3 (4.8)		胴部のみ	外: 7.5TE5/4焼い褐色 内: 7.5TE5/4焼い褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	波へう磨き	波へう磨き	波へう磨き	
SB-51	8	壺	(4.8)			胴部のみ	外・内: 7.5TE5/4焼い褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	T字文・波へう磨き	T字文・波状文	波状文	
SB-51	9	甕	(6.6)		(8.1)	胴部のみ	外・内: 10M4/4赤褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へう磨き	へう磨き	へう磨き	
SB-51	10	甕	(8.1)			胴部一部	外: 10TE4/4赤褐色 内: 5TE6/6暗褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	波へう磨き	波へう磨き	波へう磨き	
SB-51	11	高杯	22.2 (7.2)			杯部1/3	外・内: 10TE3/4暗赤色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	波へう磨き	波へう磨き	波へう磨き	
SB-51	12	鉢	15.7 (5.4)	4.5 (1/2)		杯部1/3	外・内: 7.5TE4/6赤色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	波へう磨き	波へう磨き	波へう磨き	
SB-53	1	台付甕	11.4 (8.5)		1/5	外: 5TE5/1焼い褐色 内: 5TE5/2灰褐色	外: 5TE5/1焼い褐色 内: 5TE5/2灰褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	波状文・黒状文	波状文・黒状文	波状文	
SB-53	2	台付甕	11.8 (5.0)	7.7 (7.7)		ほぼ完全	外・内: 5TE5/6明赤褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	波状文・黒状文	波状文・黒状文	波状文	
SB-53	3	甕	17.0 (8.0)			口縁部1/5	外: 5TE5/6明赤褐色 内: 5TE6/6暗褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	波状文・黒状文	波状文・黒状文	波状文	
SB-53	4	甕	17.0 (11.5)		1/3	外: 7.5TE5/4焼い褐色 内: 7.5TE4/1焼い褐色	外: 7.5TE5/4焼い褐色 内: 5TE4/4焼い赤褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	波状文	波状文	波状文	
SB-53	5	甕	22.5 (6.0)			口縁部1/6	外: 7.5TE3/2黒褐色 内: 7.5TE4/4褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	波状文	波状文	波状文	
SB-53	6	甕	21.4 (3.3)			口縁部1/8	外: 10TE5/4焼い褐色 内: 7.5TE5/4焼い褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	波状文	波状文	波状文	
SB-53	7	甕	25.6 (8.0)			口縁部のみ	外・内: 5TE4/6赤褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へう磨き	へう磨き	へう磨き	
SB-53	8	甕	(3.3)	5.5 (2.4)		底部のみ	外: 5TE4/4焼い赤褐色 内: 2.5TE4/4焼い赤褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へう磨き	へう磨き	へう磨き	
SB-53	9	甕	(2.4)	5.8 (2.8)		底部1/2	外: 5TE4/4焼い赤褐色 内: 2.5TE4/4焼い赤褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へう磨き	へう磨き	へう磨き	
SB-53	10	甕	(2.8)	5.8 (2.3)		底部1/2	外・内: 5TE4/6赤褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へう磨き	へう磨き	へう磨き	
SB-53	11	甕	(3.2)	6.5 (5.3)		底部のみ	外・内: 5TE4/6赤褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へう磨き	へう磨き	へう磨き	
SB-53	12	甕	(5.3)	8.0 (3.0)		底部のみ	外・内: 5TE4/6赤褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へう磨き	へう磨き	へう磨き	
SB-53	13	甕	(3.0)	8.2 (3.5)		底部のみ	外・内: 5TE4/6赤褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へう磨き	へう磨き	へう磨き	
SB-53	14	甕	(3.5)	11.7 (10.0)		底部のみ	外: 5TE5/6明赤褐色 内: 7.5TE6/6暗褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へう磨き	へう磨き	へう磨き	
SB-53	15	壺	16.5 (10.0)			外・内: 10M4/6赤色	外・内: 10M4/6赤色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	T字文・へう磨き	T字文・へう磨き	へう磨き	
SB-53	16	壺	(3.1)	7.3 (6.8)		底部1/2	外: 10M4/6赤色 内: 2.5TE3/1暗赤灰色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へう磨き	へう磨き	へう磨き	
SB-53	17	壺	(6.8)	5.5 (6.7)		底部のみ	外: 10M4/6赤色 内: 2.5TE6/1灰灰色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へう磨き	へう磨き	へう磨き	
SB-53	18	台付甕	(6.7)	9.4 (10.0)		胴部のみ	外: 2.5TE4/4焼い赤褐色 内: 5TE4/6赤褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へう磨き	へう磨き	へう磨き	
SB-53	19	高杯	(10.0)	5.0 (11.3)		杯部1/3	外: 10M4/6赤色 内: 5TE3/3暗赤褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へう磨き	へう磨き	へう磨き	
SB-53	20	高杯	28.8 (11.3)			杯部2/3	外: 10M4/6赤色 内: 10M3/6暗赤色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へう磨き	へう磨き	へう磨き	穿孔

選種番号	種別	器高	口径	底圧	種厚	色	調	土	物成	外面調整	施文	内面調整	備考	
SP-53	21	高杯	(6.1)	1/2	胴部1/2	外：10&3/6暗赤 内：5YR4/2灰褐色		石英・重母・粗砂粒含	良好	へう磨き		刷毛調整		
SP-53	22	高杯	(6.2)	7.8	胴部1/2	外：2.5Y7.5/8明赤褐色 内：2.5Y6.5/6明赤褐色		石英・重母・粗砂粒含	良好	へう磨き		撫で		
SP-53	23	高杯	(5.0)		接合部のみ	外：10&4/6赤色 内：7.5YR4/6赤褐色		石英・重母・粗砂粒含	良好	へう磨き		撫で		
SP-53	24	高杯	(15.5)	17.0	胴部のみ	外：10&4/6赤色 内：2.5YR4/6赤褐色		石英・重母・粗砂粒含	良好	へう磨き		刷毛調整		
SP-53	25	蓋	4.0	5.2	1/3	外・内：5YR4/6赤褐色		石英・重母・粗砂粒含	良好	へう磨き		へう磨き		
SP-53	26	蓋	5.3	(3.0)	胴部のみ	外：5Y6.5/6明赤褐色 内：5YR3/1黒褐色		石英・重母・粗砂粒含	良好	へう磨き		へう磨き		
SP-53	27	蓋	(4.3)	6.0	底面のみ	外：5YR4/4黄い赤褐色 内：2.5YR4/6赤褐色		石英・重母・粗砂粒含	良好	遊状文		撫で	へう磨き	
SP-54	1	壺	25.9	(21.4)	1/3	外・内：5Y6.5/4黄い赤褐色		石英・重母・粗砂粒含	良好	遊状文・刷状文		撫で	へう磨き	
SP-54	2	壺	15.5	(9.7)	1/2	外：5YR4/3黄い赤褐色 内：5Y6.5/6明赤褐色		石英・重母・粗砂粒含	良好	撫で		撫で		
SP-54	3	壺	(9.4)	7.0	1/2	外・内：5YR4/6赤褐色		石英・重母・粗砂粒含	良好	撫で		撫で		
SP-54	4	壺	15.4	(5.1)	口縁部1/4	外：5YR4/3黄い赤褐色 内：5Y6.5/4黄い赤褐色		石英・重母・粗砂粒含	良好	へう磨き		刷毛調整		
SP-54	5	壺	(5.7)	12.0	底面のみ	外：5Y6.5/6褐色 内：5Y6.5/6黄い褐色		石英・重母・粗砂粒含	良好	へう磨き		刷毛調整		
SP-55	1	壺	(15.3)	8.7	1/3	外・内：5Y6.5/6明赤褐色		石英・重母・粗砂粒含	良好	へう磨き		へう磨き		
SP-55	2	壺	(22.3)	8.7	2/3	外：5YR4/8赤褐色 内：5YR4/6赤褐色		石英・重母・粗砂粒含	良好	へう磨き		へう磨き		
SP-55	3	台付蓋	13.2	(15.0)	ほぼ完存	外・内：10&4/6赤色		石英・重母・粗砂粒含	良好	へう磨き		へう磨き		
SP-55	4	深鉢	15.2	16.1	6.5	1/2	外・内：10&3/6暗赤色		石英・重母・粗砂粒含	良好	へう磨き		へう磨き	
SP-55	5	高杯	(6.7)		接合部のみ	外：10&4/6赤色 内：5YR4/6赤褐色		石英・重母・粗砂粒含	良好	へう磨き		へう磨き		
SP-55	6	深鉢	(3.0)	6.4	底面のみ	外：2.5YR3/2暗赤褐色 内：7.5YR4/4褐色		重母・粗砂粒含	良好	へう磨き		へう磨き		
SP-55	7	深鉢	5.4	8.8	23.3	2/3	外：10&2/6暗赤色 内：10&4/4赤褐色		重母・粗砂粒含	良好	へう磨き		へう磨き	
SP-55	8	壺	(8.1)	6.0	2/3	外：7.5Y6.5/4黄い褐色 内：5YR4/6赤褐色		重母・粗砂粒含	良好	へう磨き		へう磨き		
SP-56	1	壺	12.0	(15.4)	6.0	1/3	外・内：5YR4/4黄い赤褐色		石英・重母・粗砂粒含	良好	遊状文		撫で	
SP-56	2	壺	27.6	(5.3)	口縁部1/4	外・内：5Y6.5/6褐色		石英・重母・粗砂粒含	良好	へう磨き		へう磨き		
SP-57	1	壺	(2.2)	5.0	底面1/4	外：7.5Y6.5/4黄い褐色 内：7.5YR4/6赤褐色		石英・重母・粗砂粒含	良好	へう磨き		へう磨き		
SP-57	2	壺	(4.8)	7.0	1/4	外：7.5Y6.5/4黄い褐色 内：5Y6.5/6明赤褐色		石英・重母・粗砂粒含	良好	遊状文		撫で		
SP-58	1	壺	21.4	(7.1)	口縁部1/6	外：7.5Y6.5/4黄い褐色 内：7.5Y6.5/3黄い褐色		石英・重母・粗砂粒含	良好	遊状文		撫で		
SP-58	2	壺	(2.0)	6.0	底面のみ	外：7.5YR4/1暗灰色 内：7.5Y6.5/4黄い褐色		石英・重母・粗砂粒含	良好	へう磨き		へう磨き		
SP-58	3	壺	(3.8)	6.4	底面のみ	外：5YR4/6赤褐色 内：5Y6.5/4黄い褐色		石英・重母・粗砂粒含	良好	へう磨き		へう磨き		
SP-58	4	深鉢	(2.4)	6.8	底面のみ	外：5Y6.5/4黄い赤褐色 内：5Y6.5/6褐色		石英・重母・粗砂粒含	良好	へう磨き		へう磨き		
SP-58	5	高杯	28.3	(7.1)	胴部1/4	外：10&4/6赤色 内：10&4/4赤褐色		石英・重母・粗砂粒含	良好	へう磨き		へう磨き		
SP-58	6	高杯	27.2	(8.3)	肩部1/4	外・内：10&4/6赤色		石英・重母・粗砂粒含	良好	へう磨き		へう磨き		
SP-58	7	蓋	3.5	(5.0)	胴部のみ	外：5Y6.5/6明赤褐色 内：5Y6.5/6褐色		石英・重母・粗砂粒含	良好	へう磨き		へう磨き		
SP-58	8	蓋	5.4	(6.4)	胴部のみ	外：5Y6.5/6明赤褐色 内：5YR3/1黒褐色		石英・重母・粗砂粒含	良好	へう磨き		へう磨き		
SP-58	9	蓋	4.9	(7.2)	胴部のみ	外・内：5Y6.5/6明赤褐色		石英・重母・粗砂粒含	良好	へう磨き		へう磨き		
SP-58	10	蓋	5.5	(7.3)	胴部のみ	外：7.5YR4/2灰褐色 内：5Y6.5/4黄い赤褐色		石英・重母・粗砂粒含	良好	へう磨き		へう磨き		
SP-58	11	壺	(11.2)	6.2	1/3	外・内：5Y6.5/4黄い赤褐色		石英・重母・粗砂粒含	良好	遊状文		へう磨き		
SP-59	1	台付蓋	13.5	15.8	8.7	完存	外：5Y6.5/6明赤褐色 内：5Y6.5/6褐色		石英・重母・粗砂粒含	良好	遊状文		へう磨き	
SP-59	2	壺	14.0	(8.5)	1/3	外：7.5Y6.5/4黄い褐色 内：5Y6.5/6明赤褐色		石英・重母・粗砂粒含	良好	遊状文		へう磨き		

第10表 土器観察表(5)

通称番号	種類番号	器種	口径	器高	底径	残存	色	刷	胎	土	施文	外周調整・施文	内周調整	備考
SB-59	3	甕	12.8	(11.5)		4/5	外：5TB4/6赤褐色 内：5TB4/4焼い赤褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		へら磨き	
SB-59	4	甕	18.4	(11.5)	3/4		外・内：2.5TB4/4焼い赤褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		へら磨き	
SB-59	5	甕	12.8	(16.3)	4/5		外・内：2.5TB5/6明赤褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		磨で	P01
SB-59	6	甕	16.4	19.0	0.0	ほぼ完全	外：2.5TB4/4焼い赤褐色 内：2.5TB5/6明赤褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		へら磨き	
SB-59	7	甕	16.0	(19.8)	1/3		外・内：7.5TB5/3焼い褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		へら磨き	
SB-59	8	甕	18.7	24.3	6.3	ほぼ完全	外：2.5TB5/6明赤褐色 内：2.5TB4/6赤褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		へら磨き	P04
SB-59	9	甕	17.8	26.4	7.8	ほぼ完全	外：2.5TB5/6明赤褐色 内：2.5TB4/6赤褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		へら磨き	P02
SB-59	10	甕	19.3	(7.7)		口縁部 3/4	外・内：2.5TB5/6明赤褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		へら磨き	
SB-59	11	甕	25.6	(18.1)	1/4		外：2.5TB4/6赤褐色 内：2.5TB5/6明赤褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		刷毛磨で、へら磨き	
SB-59	12	甕	(11.3)		7.7	1/4	外：5TB5/4焼い赤褐色 内：5TB5/2赤褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		磨で	
SB-59	13	甕	(4.3)	12.0		底部のみ	外：5TB5/4焼い赤褐色 内：5TB5/4焼い赤褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		磨で	
SB-59	14	甕	(4.6)	5.4		底部のみ	外・内：5TB5/4焼い赤褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		磨で	
SB-59	15	甕	(5.7)	6.2		底部のみ	外：7.5TB4/2赤褐色 内：7.5TB5/4焼い褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		磨で	
SB-59	16	甕	(17.5)			胴部のみ	外：7.5TB4/4焼い褐色 内：5TB5/6明赤褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	T字文、波状文		磨で	
SB-59	17	甕	(6.8)	10.7		底部 1/2	外：7.5TB5/4焼い褐色 内：7.5TB4/1焼灰色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		磨で	
SB-59	18	甕	(6.8)	7.4		底部 1/2	外：10TB3/6赤褐色 内：5TB5/4焼い赤褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		磨で	
SB-59	19	中付甕	(6.8)	9.0		脚台部 1/3	外：5TB5/4焼い赤褐色 内：5TB5/6明赤褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		へら磨き	
SB-59	20	高坏	(6.5)			接合部のみ	外：10M4/6赤色 内：7.5TB6/3焼い褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		磨で	
SB-59	21	高坏	(7.0)				接合部のみ	外：10M4/6赤色 内：7.5TB6/4焼い褐色	石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		磨で	
SB-59	22	高坏	(8.6)			脚部 3/4	外：7.5TB5/4焼い褐色 内：7.5TB5/6明赤褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		磨で	
SB-59	23	高坏	(16.8)	17.5		脚部 2/3	外：2.5TB4/6赤褐色 内：5TB5/4焼い赤褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		磨で	
SB-59	24	甕	5.0	5.3	12.8	3/4	外：5TB5/6赤褐色 内：5TB5/6明赤褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		磨で	
SB-59	25	鉢	(2.9)	6.8		底部のみ	外：2.5TB3/4焼赤褐色 内：2.5TB5/4焼い赤褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		磨で	P05
SB-60	1	中付甕	12.0	(9.1)		2/3	外：5TB4/3焼い赤褐色 内：5TB4/6赤褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		磨で	
SB-60	2	甕	10.7	11.6	6.2	3/4	外：5TB4/4焼い赤褐色 内：5TB4/6赤褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		磨で	
SB-60	3	甕	(2.5)	7.8		底部 1/3	外・内：5TB5/6明赤褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		磨で	
SB-60	4	高坏	(2.5)	7.7		脚台部 1/4	外：2.5TB2/6明赤褐色 内：7.5TB5/4焼い褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		磨で	
SB-61	1	甕	34.5	(21.9)		1/4	外・内：2.5TB5/6明赤褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		磨で	
SB-61	2	甕	17.0	(12.0)		口縁部一部	外：5TB5/6明赤褐色 内：5TB4/4焼い赤褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		磨で	
SB-61	3	甕	(2.8)			口縁部 1/6	外：7.5TB5/6明赤褐色 内：10TB4/1焼灰色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		磨で	
SB-61	4	甕	19.0	(3.6)			外：7.5TB5/6明赤褐色 内：10TB3/1黒褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		磨で	
SB-61	5	甕	(3.1)	5.8		底部のみ	外・内：10TB3/1黒褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		磨で	
SB-61	6	甕	(7.5)	6.4		底部 1/2	外：5TB5/6明赤褐色 内：5TB5/4焼い赤褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		磨毛調整	
SB-61	7	甕	(7.7)	6.8		底部のみ	外：5TB5/6明赤褐色 内：7.5TB4/3褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		へら磨き	
SB-61	8	甕	(7.7)	6.7		底部 1/2	外：N3/1焼灰色 内：5TB5/6明赤褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		へら磨き	
SB-61	9	甕	(5.3)	7.6		底部のみ	外・内：5TB4/6赤褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		へら磨き	
SB-61	10	甕	(3.0)	7.0		底部のみ	外：5TB4/4焼い赤褐色 内：5TB5/4焼い赤褐色		石灰・雲母・磁砂粒	良好	波状文		へら磨き	

第11表 土器観察表(7)

通稱番号・準国番号	器種	口径	器高	底径	残存	色	調	胎土	焼成	外面調整・施文	内面調整	備考
SP-61 11	壺	(8.0)	(8.0)	7.6	底部分1/3	外・内：5YR4/6赤褐色		石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き	撫で	
SP-61 12	甕	(2.8)	(2.8)	7.5	底部分のみ	外・内：5YR4/6赤褐色		石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き	へろ磨き	
SP-61 13	甕	(8.0)	(8.0)	7.2	底部分のみ	外：5YR4/6赤褐色 内：5YR4/2鈍い赤褐色		石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き	へろ磨き	
SP-61 14	甕	(3.1)	(3.1)	8.5	底部分のみ	外：7.5YR3/4暗褐色 内：5YR5/6明赤褐色		石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き	へろ磨き	
SP-61 15	台付甕	(6.6)	(6.6)	9.2	接合部分のみ	外・内：5YR4/6赤褐色		石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き	へろ磨き	PO1
SP-61 16	台付甕	(7.2)	(7.2)	8.2	胴部分3/4	外・内：5YR4/6赤褐色		石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き	へろ磨き	
SP-61 17	甕	8.2	8.2	5.4	完全	外・内：5YR5/6明赤褐色		石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き	へろ磨き	
SP-61 18	甕	8.5	13.1	6.2	3/4	外・内：5YR5/6明赤褐色		石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き	へろ磨き	
SP-61 19	甕	13.0	(6.5)		口縁部分1/4	外・内：5YR5/6明赤褐色		石英・雲母・粗砂粒含	良好	T字文		繫紐孔
SP-61 20	甕	(7.8)	(7.8)	10.2	胴部分1/3	外：10R4/6赤褐色 内：5YR5/6明赤褐色		石英・雲母・粗砂粒含	良好	T字文		
SP-61 21	甕	26.5	(19.4)		口縁部分1/5	外・内：2.5YR4/6赤褐色		石英・雲母・粗砂粒含	良好	T字文		
SP-61 22	甕	(28.0)	(28.0)	1/2	外・内：10R4/6赤褐色			石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き	へろ磨き	
SP-61 23	甕	(6.6)	(6.6)	8.8	底部分のみ	外：2.5YR4/6赤褐色 内：5YR5/6明赤褐色		石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き	へろ磨き	
SP-61 24	甕	(6.0)	(11.4)	11.0	底部分のみ	外・内：5YR5/6明赤褐色		石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き	へろ磨き	PO3
SP-61 25	甕	(10.2)	(10.2)	11.0	底部分のみ	外・内：5YR4/6赤褐色		石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き	へろ磨き	PO2
SP-61 26	甕	(3.7)	(3.7)	6.4	底部分のみ	外：10R4/6赤褐色 内：2.5YR4/6赤褐色		石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き	へろ磨き	
SP-61 27	甕	(3.6)	(3.6)	6.7	底部分のみ	外：2.5YR4/6赤褐色 内：N3/暗灰色		石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き	へろ磨き	
SP-61 28	甕	(5.8)	(5.8)	5.4	底部分のみ	外：2.5YR4/6赤褐色 内：5YR4/4鈍い赤褐色		石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き	へろ磨き	
SP-61 29	高坏	(10.5)	(10.5)		坏部分3/4	外・内：10R4/6赤褐色		石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き	へろ磨き	PO4
SP-61 30	高坏	(13.4)	(13.4)	1/2	外・内：10R4/6赤褐色			石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き	へろ磨き	
SP-61 31	高坏	(9.5)	(9.5)		坏部分2/3	外・内：10R4/6赤褐色		石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き	へろ磨き	
SP-61 32	高坏	(5.0)	(5.0)		接合部分のみ	外：10R4/6赤褐色 内：7.5YR5/4鈍い褐色		石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き	へろ磨き	
SP-61 33	高坏	(13.8)	(13.8)	16.4	胴部分のみ	外：10R4/6赤褐色 内：5YR5/6明赤褐色		石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き	へろ磨き	
SP-61 34	高坏	(10.0)	(10.0)		胴部分1/4	外：2.5YR4/6赤褐色 内：7.5YR5/6明赤褐色		石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き	へろ磨き	
SP-61 35	高坏	(8.6)	(8.6)		胴部分2/3	外：10R4/6赤褐色 内：7.5YR5/4鈍い褐色		石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き	へろ磨き	
SP-61 36	高坏	(12.4)	(12.4)		胴部分1/3	外：10R4/6赤褐色 内：7.5YR5/4鈍い褐色		石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き	へろ磨き	
SP-61 37	高坏	3.7	(4.8)	2/3	外・内：7.5YR4/1暗灰色			石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き	へろ磨き	
SP-61 38	蓋	6.2	(4.7)		蓋部分のみ	外：10YR5/2灰黄褐色 内：7.5YR5/4鈍い褐色		石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き	へろ磨き	
SP-61 39	蓋	6.0	9.4	2/3	外：10R4/6赤褐色 内：2.5YR4/6赤褐色			石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き	へろ磨き	
SP-61 40	蓋	(10.6)	(10.6)	2/3	外・内：10R4/6赤褐色			石英・雲母・粗砂粒含	良好	横線文・へろ磨き	へろ磨き	
SP-61 41	鉢	13.6	6.2	5.4	1/2	外・内：10R4/6赤褐色		石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き	へろ磨き	
SP-61 42	鉢	14.7	9.5	6.8	1/2	外・内：10R4/6赤褐色		石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き	へろ磨き	
SP-61 43	鉢	(2.8)	(2.8)	6.2	底部分のみ	外：5YR6/6褐色 内：5YR6/6褐色		石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き	へろ磨き	
SP-65 1	高坏	(4.7)	(4.7)		接合部分のみ	外：10R4/6赤褐色 内：2.5YR5/6明赤褐色		石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き	へろ磨き	
SP-65 2	片口鉢	13.2	12.7	6.8	2/3	外：5YR4/6赤褐色 内：5YR5/6明赤褐色		石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き	へろ磨き	
SP-66 1	甕	14.8	(12.0)	1/3	外：2.5YR4/6赤褐色 内：2.5YR5/6明赤褐色			石英・雲母・粗砂粒含	良好	波状文・繫紐文	撫で	
SP-66 2	甕	19.0	(7.3)		口縁部分1/3	外：5YR5/6明赤褐色 内：2.5YR5/6明赤褐色		石英・雲母・粗砂粒含	良好	波状文・繫紐文	へろ磨き	

第12表 土器観察表(8)

通観番号	神田番号	器種	口径	器高	底径	残存	色	胎土	焼成	外面調整・施文	内面調整	備考
SB-66 3	深鉢	(2.5)	5.7	底部のみ	外: 10R4/6赤褐色 内: 10Y65/3黄い・黄褐色	石灰・黒母・粗砂粒含	良好	焼成	滑			
SB-66 4	杵	(2.5)	6.7	底部のみ	外: 5YR4/4黄い・赤褐色 内: 5YR4/6赤褐色	石灰・黒母・粗砂粒含	良好	焼成	滑			
SB-66 5	杵	(9.4)	7.0	底部のみ	外: 5YR5/4黄い・赤褐色 内: 7.5YR5/3黄い・褐色	石灰・黒母・粗砂粒含	良好	焼成	滑			
SB-66 6	杵	(8.0)	12.0	1/3	外: 内: 5YR6/4黄い・褐色	石灰・黒母・粗砂粒含	良好	焼成	滑			
SB-66 7	高坏	(8.7)		接合部のみ	外: 内: 10R4/4赤褐色	石灰・黒母・粗砂粒含	良好	焼成	滑			POI
SB-66 8	高坏	25.6	16.0	2/3	外: 内: 2.5YR4/6赤褐色 内: 7.5YR5/4黄い・褐色	石灰・黒母・粗砂粒含	良好	焼成	滑			
SB-66 9	高坏	(10.0)	16.8	胴部2/3	外: 10R4/6赤褐色 内: 2.5YR4/6赤褐色	石灰・黒母・粗砂粒含	良好	焼成	滑			
SB-66 10	蓋	4.8	(4.5)	胴部のみ	外: 5YR5/6褐色 内: 5YR5/4黄い・褐色	石灰・黒母・粗砂粒含	良好	焼成	滑			
SB-66 11	蓋	4.7	6.8	15.2	4/5	外: 5YR5/6明赤褐色 内: 5YR6/4黄い・褐色	石灰・黒母・粗砂粒含	良好	焼成	滑		
SB-66 12	蓋	(8.0)	18.0	1/2	外: 内: 5YR4/6赤褐色	石灰・黒母・粗砂粒含	良好	焼成	滑			
SB-66 13	鉢	15.0	7.7	4.8	1/3	外: 2.5YR3/3赤褐色 内: 10R4/6赤褐色	石灰・黒母・粗砂粒含	良好	焼成	滑		
SB-66 14	鉢	16.8	8.8	5.6	ほぼ全体	外: 10R4/4赤褐色 内: 5YR5/4黄い・赤褐色	石灰・黒母・粗砂粒含	良好	焼成	滑		
SB-66 15	甗	19.9	(12.2)	6.2	底部3/4	外: 5YR4/4黄い・赤褐色 内: 5YR5/4黄い・赤褐色	石灰・黒母・粗砂粒含	良好	焼成	滑		
SB-66 16	甗	22.5	10.8	6.0	1/2	外: 5YR4/4黄い・赤褐色 内: 5YR5/4黄い・赤褐色	石灰・黒母・粗砂粒含	良好	焼成	滑		
SB-66 17	甗	(1.8)	3.8	底部1/2	外: 内: 10R4/6赤色	石灰・黒母・粗砂粒含	良好	焼成	滑			
SB-66 18	甗	(6.1)	6.2	底部のみ	外: 7.5YR5/4黄い・褐色 内: N3/暗灰色	石灰・黒母・粗砂粒含	良好	焼成	滑			
SB-68 1	甗	(9.3)		胴部一部	外: 7.5YR5/6暗褐色 内: 7.5YR5/4黄い・褐色	石灰・黒母・粗砂粒含	良好	焼成	滑			
SB-68 2	甗	27.8	(18.0)	胴部一部	外: 5YR5/6褐色 内: 5YR4/6赤褐色	石灰・黒母・粗砂粒含	良好	焼成	滑			
SB-69 1	甗	13.4	(8.4)	口縁部1/2	外: 5YR5/4黄い・褐色 内: 10YR5/2灰黄褐色	石灰・黒母・粗砂粒含	良好	焼成	滑			
SB-69 3	杵	(6.7)	9.5	底部のみ	外: 5YR5/6褐色 内: 5YR5/6明赤褐色	石灰・黒母・粗砂粒含	良好	焼成	滑			
SB-69 4	台付鉢	(2.2)	(4.4)	胴部1/5	外: 7.5YR5/4黄い・褐色 内: 7.5YR4/1黄灰色	石灰・黒母・粗砂粒含	良好	焼成	滑			
SB-69 5	高坏	18.9	(5.5)	5.4	ほぼ全体	外: 内: 10R4/6赤色	石灰・黒母・粗砂粒含	良好	焼成	滑		
SB-70 1	鉢	18.0	9.6	1/3	外: 5YR4/6赤褐色 内: 2.5YR5/6明赤褐色	石灰・黒母・粗砂粒含	良好	焼成	滑			
SB-71 1	甗	19.8	(13.8)	1/3	外: 5YR4/6赤褐色 内: 2.5YR5/6明赤褐色	石灰・黒母・粗砂粒含	良好	焼成	滑			
SB-71 2	甗	10.0	(5.5)	1/3	外: 2.5YR4/6赤褐色 内: 2.5YR5/6明赤褐色	石灰・黒母・粗砂粒含	良好	焼成	滑			
通観外 2	甗	26.2	(6.9)	1/5	外: 2.5YR4/6赤褐色 内: 2.5YR5/6明赤褐色	石灰・黒母・粗砂粒含	良好	焼成	滑			
通観外 3	甗	(26.2)		4/5	外: 内: 2.5YR4/6赤褐色	粗砂粒含	良好	焼成	滑			
通観外 4	甗	(2.2)		口縁部1/6	外: 内: 5YR5/6明赤褐色	粗砂粒含	良好	焼成	滑			
通観外 5	甗	(5.6)	5.4	底部1/2	外: 2.5YR4/6赤褐色 内: 7.5YR3/2黒褐色	石灰・黒母・粗砂粒含	良好	焼成	滑			
通観外 6	甗	(4.1)	6.8	底部のみ	外: 内: 5YR4/3黄い・赤褐色	石灰・黒母・粗砂粒含	良好	焼成	滑			
通観外 7	甗	(7.0)	7.0	底部のみ	外: 5YR5/6明赤褐色 内: 5YR4/4黄い・赤褐色	石灰・黒母・粗砂粒含	良好	焼成	滑			
通観外 8	甗	(7.2)	7.0	底部のみ	外: 2.5YR5/6明赤褐色 内: 5YR5/6明赤褐色	石灰・黒母・粗砂粒含	良好	焼成	滑			
通観外 9	甗	26.8	(12.0)	1/3	外: 5YR5/6明赤褐色 内: 7.5YR6/6褐色	石灰・黒母・粗砂粒含	良好	焼成	滑			
通観外 10	甗	(7.2)	7.5	底部1/4	外: 内: 5YR5/6明赤褐色	粗砂粒・礫含	良好	焼成	滑			

第13表 土器観察表(9)

通機番号	機種	口径	駆高	底径	残存	色	調	助	土	柄	外面調整	馬文	内面調整	備考
選機外 11	蓋	(5.5)	8.4	底部3/4	外: 5YR4/8赤褐色 内: 10YR2/3暗褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き						
選機外 12	蓋	(4.2)	9.2	底部のみ	外: 2.5YR4/6赤褐色 内: 7.5YR4/3褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き						
選機外 13	蓋	(3.3)	9.3	底部1/4	外: 内: 5YR5/6明赤褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き						
選機外 14	台付壁	(6.2)		接合部1/2	外: 5YR4/6赤褐色 内: 5YR5/6明赤褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	破状文・へろ磨き						
選機外 15	台付蓋	(6.3)	7.8	脚台部の外	外: 5YR5/4暗赤褐色 内: 5YR5/6明赤褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き						
選機外 16	蓋	(17.8)		脚部1/2	外: 10R4/6赤色 内: 5YR6/4暗い褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	丁字文・へろ磨き						
選機外 17	台付壁	(8.0)		脚部1/3	外: 10R4/6赤色 内: 7.5YR5/4暗い褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き						
選機外 18	蓋	(4.7)		頸部1/5	外: 内: 5YR4/6赤褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き						
選機外 19	蓋	(5.3)		頸部1/6	外: 内: 5YR5/6明赤褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き						
選機外 20	蓋	(4.6)		頸部1/6	外: 内: 5YR5/6明赤褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き						
選機外 21	蓋	(8.3)		頸部1/2	外: 内: 5YR4/6赤褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き						
選機外 22	蓋	8.2	(2.0)	口縁部1/6	外: 7.5YR5/4暗赤色 内: 7.5R4/6赤色	雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き						
選機外 23	蓋	11.0	(6.0)	口縁部1/3	外: 5YR5/6明赤褐色 内: 5YR4/6赤褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き						
選機外 24	高环	22.0	(8.0)	环部1/3	外: 7.5YR5/4暗い褐色 内: 5YR6/6暗褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き						
選機外 25	高环	26.3	(4.4)	口縁部1/4	外: 内: 10R4/6赤色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き						
選機外 26	高环	(14.7)	14.1	脚部のみ	外: 7.5YR4/4暗い赤色 内: 7.5YR7/4暗い褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き						
選機外 27	高环	(6.2)	14.0	脚部1/4	外: 10R4/6赤色 内: 5YR5/6明赤褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き						
選機外 28	高环	(3.7)	18.2	脚部1/5	外: 2.5YR5/6暗赤褐色 内: 5YR6/6暗褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き						
選機外 29	高环	(6.4)	18.6	脚部1/5	外: 10R4/6赤色 内: 7.5YR6/4暗い褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き						
選機外 30	蓋	4.0	(5.3)	1/3	外: 7.5YR6/6暗褐色 内: 7.5YR5/4暗い褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き						
選機外 31	蓋	5.0	(6.5)	1/2	外: 10YR4/1暗褐色 内: 5YR5/6明赤褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き						
選機外 32	蓋	6.2	(4.5)	環部のみ	外: 5YR4/4暗い赤褐色 内: 5YR4/3褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き						
選機外 33	蓋	5.1	8.8	2/3	外: 内: 7.5YR4/4暗褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き						
選機外 34	鉢	16.0	(6.4)	口縁部1/7	外: 内: 10R4/6赤色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き						
選機外 35	鉢	(3.7)	4.8	底部1/3	外: 内: 10R4/4赤褐色	石英・雲母・粗砂粒含	良好	へろ磨き						

第14表 土器観察表(10)

通機番号	機種	口径	駆高	底径	残存	色	調	助	土	柄	外面調整	馬文	内面調整	備考
選機外 27	鉢	6.3	1.2	(22.9)	1/2	5YR4/6赤褐色			石英・粗砂粒含	良好				

第15表 土製品観察表

遺構番号	挿図番号	種類	長さ	幅	厚さ	重量	材質	備考
SB-42	1	敲石	14.5		4.0	2.7	310	安山岩
SB-43	2	凹・砥石	23.8		9.6	5.7	1,840	安山岩
SB-43	3	磨石	9.0		3.9	2.7	150	安山岩
SB-43	4	敲・磨石	11.2		10.5	3.4	575	玄武岩
SB-43	5	敲・磨石	11.5		6.7	3.8	470	安山岩
SB-48	6	磨石	9.3		7.3	1.7	170	安山岩
SB-45	7	砥石	33.0		33.3	8.5	17,900	安山岩
SB-46	8	砥石	28.5		23.1	10.8	10,600	安山岩
SB-50	9	砥石	26.3		29.0	6.0	8,600	安山岩
SB-50	10	敲石	10.2		4.1	2.3	185	安山岩
SB-50	11	磨石	6.2		4.8	1.2	60	玄武岩
SB-50	12	砥石	16.7		8.0	5.8	1,340	安山岩
SB-50	13	敲・砥石	17.8		7.4	6.2	1,510	閃綠石
SB-51	14	砥石	14.7		10.8	4.8	1,220	流紋岩
SB-51	15	磨石	7.2		6.1	2.0	150	安山岩
SB-51	16	敲石	9.3		4.2	2.5	190	安山岩
SB-51	17	砥石	23.0		20.0	6.0	3,500	砂
SB-53	18	砥石	33.2		28.0	9.2	13,400	流紋岩
SB-59	19	磨石	8.0		7.9	6.3	570	安山岩
SB-59	20	磨石	9.9		5.6	1.7	600	安山岩
SB-59	21	磨石	10.0		8.6	3.8	560	安山岩
SB-59	22	磨石	11.4		6.4	4.7	560	安山岩
SB-59	23	磨石	12.0		6.5	4.2	580	安山岩
SB-59	24	磨石	8.3		6.6	3.9	325	安山岩
SB-61	25	敲・砥石	9.8		6.2	3.9	470	安山岩
SB-61	26	凹・磨石	10.5		4.6	3.2	240	玄武岩
SB-65	27	砥石	23.5		13.6	5.8	2,500	安山岩
SB-66	28	凹・磨石	10.7		7.2	3.0	420	安山岩
SB-66	29	敲・磨石	10.5		9.5	4.4	650	安山岩
SB-66	30	敲・凹石	9.7		7.0	2.1	245	安山岩
SB-66	31	砥石	9.0		7.5	3.8	320	流紋岩
SB-69	32	磨石	7.8		7.8	2.4	260	安山岩
遺構外	33	敲・凹石	11.4		8.1	4.8	640	安山岩
遺構外	34	凹石	11.4		6.7	5.9	510	安山岩
遺構外	35	敲石	9.8		5.5	3.1	300	安山岩
遺構外	36	敲石	9.7		4.7	3.2	220	安山岩

第16表 石器観察表

写 真 图 版



調査地区周辺



調査地区全域 (南西より)



SB-42 (南より)



SB-44 炉 (南東より)



SB-43 (南より)



SB-45 (北より)



SB-43 炉 (南より)



SB-46 (北西より)



SB-44 (南東より)



SB-47 (南西より)



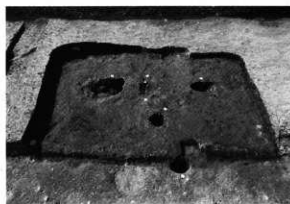
SB-48 (南東より)



SB-53 (南東より)



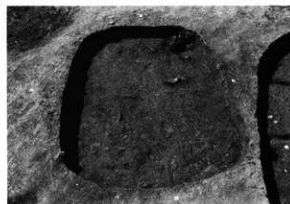
SB-49 (南東より)



SB-54 (南東より)



SB-50・51 (南東より)



SB-55 (北東より)



SB-52 (南より)



SB-56 (西より)



SB-57 (南より)



SB-60 (南東から)



SB-58 (南西より)



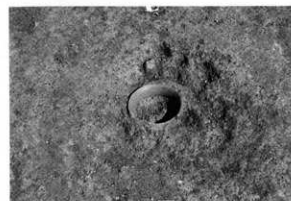
SB-61 (南西より)



SB-59 (北東より)



SB-61 炉 (南より)



SB-59 炉 (南より)



SB-62 (北西より)



SB-63・70 (北より)



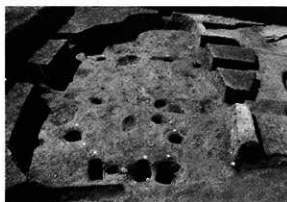
SB-68 (南より)



SB-65 (南より)



SB-71 (北より)



SB-66 (東より)



SX (南より)



SB-67 (南東より)



作業風景



SB-42
2



SB-44
1



SB-42
3



SB-44
2



SB-42
10



SB-44
3



SB-43
11



SB-44
7



SB-43
12



SB-44
8



SB-43
15



SB-44
10



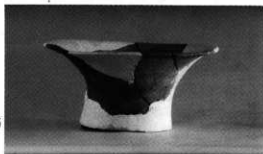
SB-44
11



SB-45
9



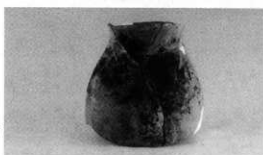
SB-44
12



SB-45
16



SB-45
1. 2. 4. 6. 7



SB-45
17



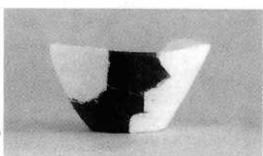
SB-45
3



SB-45
23



SB-45
5



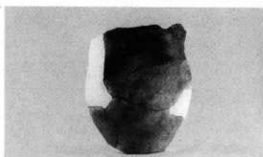
SB-45
25



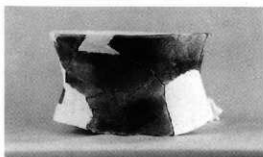
SB-45
27



SB-46
1



SB-46
2



SB-46
3



SB-46
4



SB-46
7



SB-46
13



SB-46
10



SB-46
11



SB-46
14



SB-46
17



SB-47
1



SB-47
14



SB-47
2



SB-47
15



SB-47
8



SB-48
1.2



SB-47
9



SB-48
3



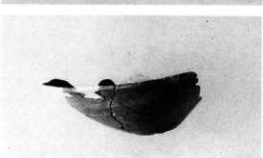
SB-47
10



SB-48
10



SB-47
13



SB-48
12



SB-48
13



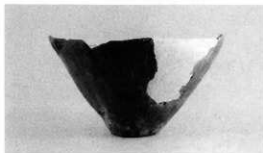
SB-50
1



SB-48
16



SB-50
3



SB-48
17



SB-50
4



SB-49
5



SB-50
5



SB-49
6



SB-50
13



SB-49
10



SB-50
16



SB-51
3



SB-53
4



SB-51
8



SB-53
15



SB-51
9



SB-53
19



SB-51
11



SB-53
20



SB-53
1, 3, 5, 6, 7



SB-53
24



SB-53
2



SB-53
25



SB-54

1



SB-55

7



SB-54

2



SB-55

8



SB-55

1



SB-57

2



SB-55

2



SB-58

9



SB-55

3



SB-58

10



SB-55

4

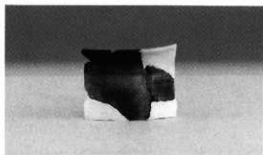


SB-58

11



SB-59
1



SB-59
2



SB-59
3



SB-59
4



SB-59
5



SB-59
6



SB-59
7



SB-59
8



SB-59
9



SB-59
10



SB-59
11



SB-59
12



SB-59
16



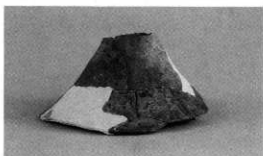
SB-60
1



SB-59
21



SB-60
2



SB-59
22



SB-61
1



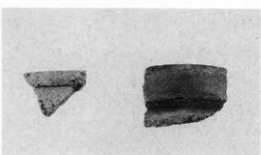
SB-59
23



SB-61
2



SB-59
24



SB-61
3, 4



SB-59
25



SB-61
7



SB-61
13



SB-61
16



SB-61
17



SB-61
18



SB-61
20



SB-61
21



SB-61
22



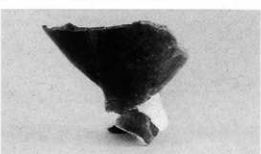
SB-61
24



SB-61
25



SB-61
29



SB-61
30



SB-61
31



SB-61
42



SB-61
33



SB-61
43



SB-61
37



SB-65
2



SB-61
39



SB-66
1



SB-61
40



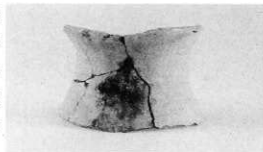
SB-66
2



SB-61
41



SB-66
5



SB-66
6



SB-66
13



SB-66
7



SB-66
14



SB-66
8



SB-66
15



SB-66
9



SB-66
16



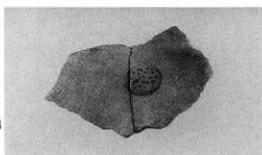
SB-66
11



SB-66
1



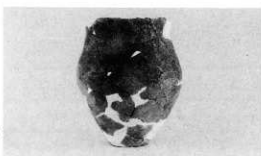
SB-66
12



SB-66
2



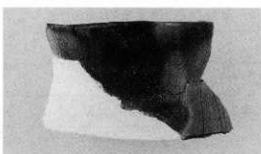
SB-69
1



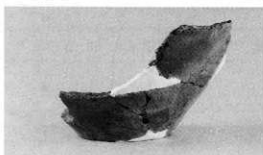
遺構外
3



SB-69
2



遺構外
9



SB-69
3



遺構外
16



SB-69
4



遺構外
18. 19. 20



SB-70
1



遺構外
21



SB-71
1



遺構外
33

報告書抄録

ふりがな	ときいりいせきぐん しもまちだいせき3						
書名	常入遺跡群 下町田遺跡Ⅲ						
副書名	上田市産学官連携支援施設建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書						
シリーズ名	上田市文化財調査報告書						
シリーズ番号	第91集						
編著者名	塩崎 幸夫						
編集機関	上田市教育委員会						
所在地	〒386-0025 長野県上田市天神二丁目4番74号 In.0268-22-4100						
発行年月日	西暦2003年 3月31日						
所収遺跡名	所在地	市町村コード	北緯°'〃	東経°'〃	調査期間	調査面積	調査原因
常入遺跡群 下町田遺跡	上田市大字常入 字下町田	20203	36° 23' 18"	138° 16' 1"	平成13年2月15日～ 平成13年3月30日	837㎡	上田市産学官連携 支援施設建設工事
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
常入遺跡群 下町田遺跡	集落	弥生時代	竪穴住居跡 32 集石遺構 1 土坑 9	弥生土器 土製品(紡錘車) 石器			

上田市文化財調査報告書第91集

常入遺跡群

下町田遺跡Ⅲ

上田市産学官連携支援施設建設工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

発行日 平成15年3月31日

発行 上田市教育委員会
長野県上田市天神二丁目4番74号
TEL.0268(22)4100

印刷 (株)上田ワードプロセス企画

